

子どもの生活実態調査  
市民アンケート  
中間報告

札幌市

# 目次

<b>集計方法等について</b> .....	5
1 所得階層について .....	5
2 世帯類型について .....	5
3 集計結果の示し方について .....	6
<b>第一部 保護者回答結果より</b> .....	8
1 調査回答世帯について（単純集計） .....	8
・学年　・世帯類型　・所得階層　・回答者とお子さんとの関係	
・回答者の年齢　・家族に含まれる人の組み合わせ	
2 働き方について .....	13
・母親の就業状況　・父親の就業状況	
3 家計・生活不安について .....	17
・家計の状況　・電気、ガス、水道の支払い滞納状況　・今後の生活への不安	
4 健康について .....	24
・保護者の健康状況　・保護者の心の健康状態　・子どもの健康状況	
・子どもに必要な病院受診をさせなかった経験	
・自身が必要な病院受診をしなかった経験	
5 進学について .....	34
・子どもにどの段階まで教育を受けさせたいか（小5・中2保護者）	
・高校卒業後の進路についてどのように考えているか（高2の保護者）	
・教育を受けさせるためのお金の準備（小5・中2保護者）	
6 相談相手・制度の利用について .....	41
・子ども、子育てについての悩みを相談する相手	
・子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）	
・子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）	
・手当等の制度利用（生活保護）　・手当等の制度利用（就学援助）	
7 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について .....	51
・母親の仕事への影響　・父親の仕事への影響　・回答者自身への影響	
・子どもへの影響　・家庭の家計への影響	

<b>第二部 子ども回答結果より</b> .....	<b>68</b>
<b>1 自分の家の暮らし向き</b> .....	<b>68</b>
・自分の家の暮らし向き	
<b>2 居場所・相談相手・食事等について</b> .....	<b>71</b>
・平日の放課後一緒に過ごす相手（一人でいる）　・ほっとできる場所	
・悩みごとの相談相手　・平日に夕食をだれと食べるか	
<b>3 進学・勉強時間・成績について</b> .....	<b>79</b>
・どの段階まで進学したいか	
・どの段階まで進学したかという間に「高校まで」と答えた理由	
・授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）	
・成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うか	
<b>4 健康（精神衛生）について</b> .....	<b>87</b>
・抑うつ尺度　・自分の家の暮らし向きと抑うつ尺度のクロス集計	

# 調査概要

# 集計方法等について

## 1 所得階層について

### 【所得階層（表3）の算出方法】

本報告書で用いられる5区分の所得階層は、2019年の国民生活基礎調査における貧困率の推計に用いられる「相対所得貧困線」を基準線として用い、その倍率に準じて設定している。該当する倍率は、「低所得層Ⅰ」：1.0倍未満、「低所得層Ⅱ」：1.0～1.4倍未満、「中間所得層Ⅰ」：1.4～1.8倍未満、「中間所得層Ⅱ」：1.8～2.5倍未満、「上位所得層」2.5倍以上である。基準線（相対所得貧困線）は、一人当たり等価可処分所得の中央値の50%であり、2019年国民生活基礎調査では127万円である。これに世帯人数の平方根を掛けて、世帯人数ごとの基準線を設定した。

調査では、50万刻みの選択肢（800万以上は100万刻み）で年間所得の回答を求めており。これは当初所得なので、可処分所得に変換する必要がある。国民生活基礎調査では、所得5分位階層ごとに、所得範囲と平均所得（a）、平均可処分所得（b）を示している。これによって、それぞれの所得分位（所得範囲）ごとの平均所得と平均可処分所得の比を求めることができる。この比を係数として用い、当該世帯の可処分所得の推計値を算出し、該当する上記の所得階層区分を当てはめた。

本調査では、基本的に50万刻みの選択肢で「所得の幅」把握しているので、選択肢の区分線と所得階層区分線が一致しない場合が生ずる。これについては、ずれの幅の小さいほうの所得階層に区分することとした。

※ 国の子どもの貧困率等の基となる国民生活基礎調査では、詳しい聞き取りの方法により可処分所得の回答を得ているが、本アンケート調査では、年間収入から可処分所得を推計しており、調査・集計方法が異なるため単純な比較はできない。

## 2 世帯類型について

世帯類型は、「父+母+子」と「父+母+子+祖父母」（祖父のみ、祖母のみの場合を含む。以下同様）を「ふたり親世帯」とし、「母+子」、「母+子+祖父母」、「父+子」、「父+子+祖父母」を「ひとり親世帯」として、調査結果を示している。

### 3 集計結果の示し方について

- ・この集計では、一部を除き、各設問ごとに、学年、世帯類型、所得階層とのクロス集計を示している。
- ・集計は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・回答割合(%)は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。
- ・文章中及び図表内の「n=○○」はその設問についての回答者数を示している。
- ・集計した表には「不明」(無回答・無効回答を合わせたもの)を記載しているが、グラフには「不明」を表記していない。このため、グラフ内の数値を合計しても100.0%とならない。

# 第一部

## 保護者回答結果より

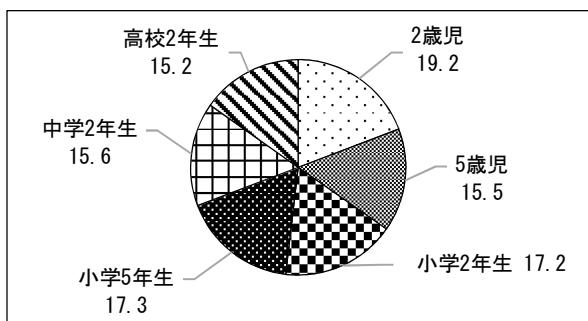
# 第一部 保護者回答結果より

## 1 調査回答世帯について（単純集計）

表1 学年

No.	カテゴリー名	n	%
1	2歳児	1398	19.2%
2	5歳児	1131	15.5%
3	小学2年生	1249	17.2%
4	小学5年生	1263	17.3%
5	中学2年生	1133	15.6%
6	高校2年生	1108	15.2%
	全体	7282	100.0%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

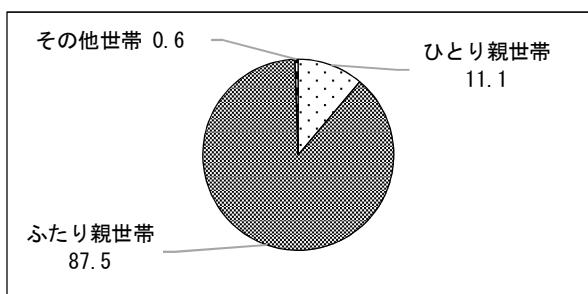


※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

表2 世帯類型

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとり親世帯	805	11.1%
2	ふたり親世帯	6371	87.5%
3	その他世帯	41	0.6%
	不明	65	0.9%
	全体	7282	100.0%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

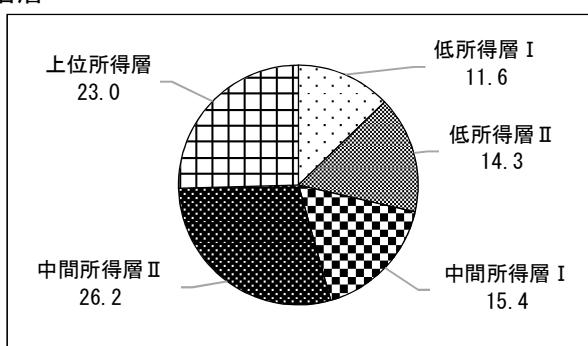


※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

表3 所得階層

No.	カテゴリー名	n	%
1	低所得層Ⅰ	842	11.6%
2	低所得層Ⅱ	1040	14.3%
3	中間所得層Ⅰ	1122	15.4%
4	中間所得層Ⅱ	1905	26.2%
5	上位所得層	1672	23.0%
	不明	701	9.6%
	全体	7282	100.0%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

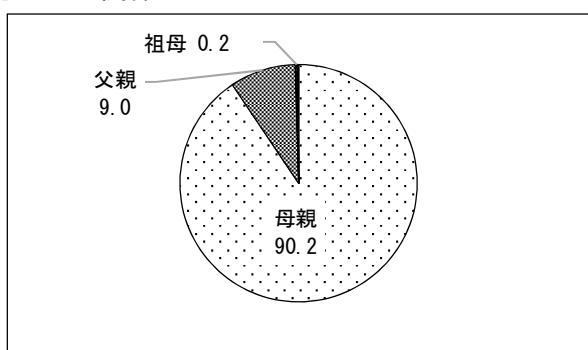


※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

表4 回答者とお子さんとの関係

No.	カテゴリー名	n	%
1	母親	6571	90.2%
2	父親	652	9.0%
3	きょうだい	6	0.1%
4	祖母	16	0.2%
5	祖父	1	0.0%
6	その他	9	0.1%
	不明	27	0.4%
	全体	7282	100.0%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

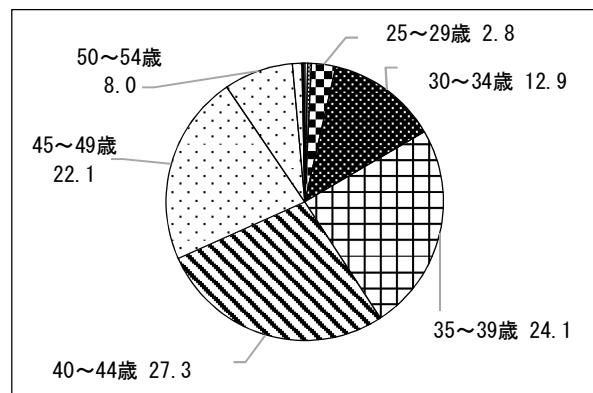


※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

表5 回答者の年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	~19歳	25	0.3%
2	20~24歳	32	0.4%
3	25~29歳	204	2.8%
4	30~34歳	939	12.9%
5	35~39歳	1755	24.1%
6	40~44歳	1989	27.3%
7	45~49歳	1606	22.1%
8	50~54歳	584	8.0%
9	55~59歳	81	1.1%
10	60~64歳	11	0.2%
11	65歳以上	12	0.2%
	不明	44	0.6%
	全体	7282	100.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

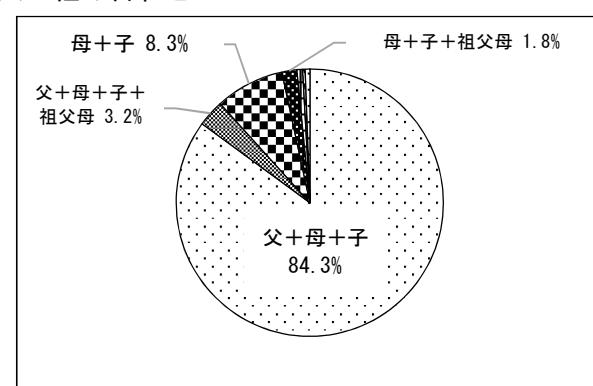


※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表6 家族に含まれる人の組み合わせ

No.	カテゴリー名	n	%
1	父+母+子	6139	84.3%
2	父+母+子+祖父母	232	3.2%
3	母+子	604	8.3%
4	母+子+祖父母	130	1.8%
5	父+子	51	0.7%
6	父+子+祖父母	20	0.3%
7	その他	41	0.6%
	不明	65	0.9%
	全体	7282	100.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

この中間報告では、子どもの学年別、世帯類型別、所得階層別に主な調査結果を確認していく。そこではじめに、子どもの学年（年齢）、世帯類型、所得階層別の回答者分布および、回答者が誰か（子どもからみた関係）、回答者の年齢を確認しておく。

表1の学年は、保護者の回答にもとづいている。小学5年生以上の学年では、保護者のみ、あるいは子どものみが回答した世帯もある（詳細は「調査概要」の回収率の説明を参照）。したがって、第2部の子ども調査の結果で示す母数と一致していない部分がある。

表6は、「家族に含まれる人の組み合わせ」の回答結果である。このうち、「父+母+子」と「父+母+子+祖父母」（祖父のみ、祖母のみの場合を含む。以下同様）を「ひとり親世帯」とし、「母+子」、「母+子+祖父母」、「父+子」、「父+子+祖父母」を「ひとり親世帯」として、以下、調査結果を示していく（表2）。

この中間報告では、世帯人数と世帯収入に応じた5区分の所得階層を設定した。所得階層区分による調査回答世帯の分布は表3のとおり（\*所得階層区分の算出方法は、

調査結果中間報告「1 所得階層について」を参照)。

回答者のおよそ9割(90.2%)が子どもの母親である(表4)。回答者の年齢の分布は表5のとおりである。

表7 学年と世帯類型のクロス

		合計	世帯類型			
			ひとり親世帯	ふたり親世帯	その他世帯	不明
全体		7282	805	6371	41	65
		100.0%	11.1%	87.5%	0.6%	0.9%
学年	2歳児	1398	71	1313	10	4
		100.0%	5.1%	93.9%	0.7%	0.3%
	5歳児	1131	82	1038	3	8
		100.0%	7.3%	91.8%	0.3%	0.7%
	小学2年生	1249	119	1120	4	6
		100.0%	9.5%	89.7%	0.3%	0.5%
	小学5年生	1263	177	1060	4	22
		100.0%	14.0%	83.9%	0.3%	1.7%
	中学2年生	1133	174	936	7	16
		100.0%	15.4%	82.6%	0.6%	1.4%
	高校2年生	1108	182	904	13	9
		100.0%	16.4%	81.6%	1.2%	0.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

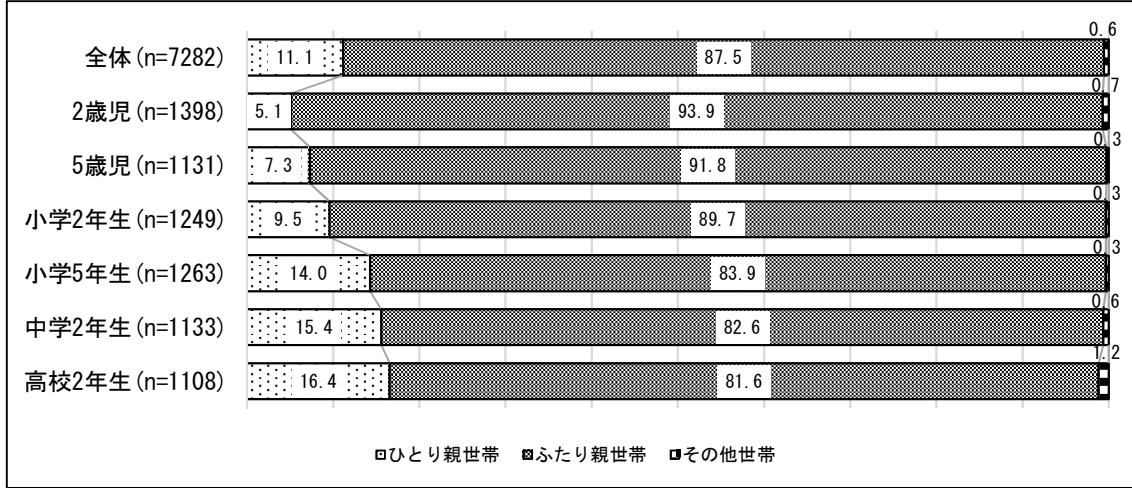


表8 学年と所得階層のクロス

		合計	所得階層					
			低所得層 I	低所得層 II	中間所得層 I	中間所得層 II	上位所得層	不明
全体		7282	842	1040	1122	1905	1672	701
		100.0%	11.6%	14.3%	15.4%	26.2%	23.0%	9.6%
学年	2歳児	1398	139	241	264	392	284	78
		100.0%	9.9%	17.2%	18.9%	28.0%	20.3%	5.6%
	5歳児	1131	116	172	179	326	230	108
		100.0%	10.3%	15.2%	15.8%	28.8%	20.3%	9.5%
	小学2年生	1249	140	173	193	298	314	131
		100.0%	11.2%	13.9%	15.5%	23.9%	25.1%	10.5%
	小学5年生	1263	158	175	193	305	317	115
		100.0%	12.5%	13.9%	15.3%	24.1%	25.1%	9.1%
	中学2年生	1133	140	148	170	295	254	126
		100.0%	12.4%	13.1%	15.0%	26.0%	22.4%	11.1%
	高校2年生	1108	149	131	123	289	273	143
		100.0%	13.4%	11.8%	11.1%	26.1%	24.6%	12.9%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

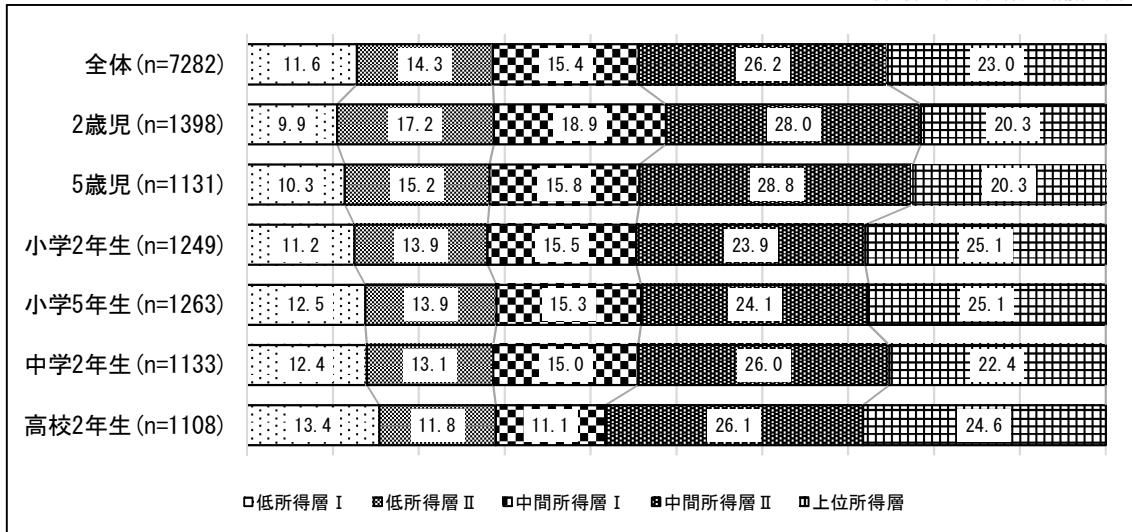
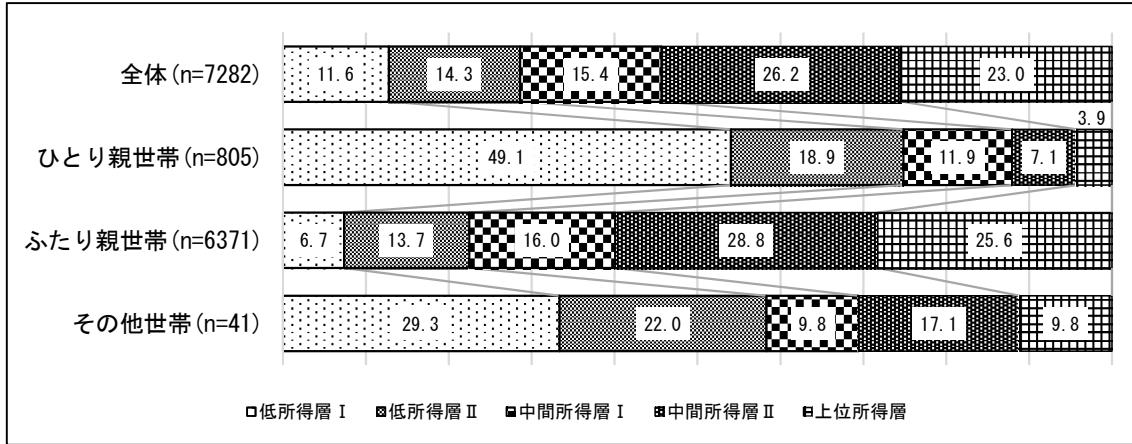


表9 世帯類型と所得階層のクロス

		合計	所得階層					
			低所得層 I	低所得層 II	中間所得層 I	中間所得層 II	上位所得層	不明
全体		7282	842	1040	1122	1905	1672	701
世帯 類型	ひとり親世帯	805	395	152	96	57	31	74
		100.0%	49.1%	18.9%	11.9%	7.1%	3.9%	9.2%
	ふたり親世帯	6371	426	873	1017	1833	1633	589
		100.0%	6.7%	13.7%	16.0%	28.8%	25.6%	9.2%
その他世帯		41	12	9	4	7	4	5
不明		65	9	6	5	8	4	33
		100.0%	13.8%	9.2%	7.7%	12.3%	6.2%	50.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

学年ごとの世帯類型および所得階層の分布についても確認しておくと、学年が上がるほどひとり親世帯の割合が高くなる（2歳児保護者では5.1%、高2保護者では16.4%）。（表7）。所得階層の分布については、学年によって大きな違いはみられない（表8）。

ひとり親世帯とふたり親世帯それぞれの所得階層分布をみると、ひとり親世帯の49.1%が低所得層Iであるところ、ふたり親世帯の低所得層Iは6.7%である。また、全体的にふたり親世帯よりも所得が低い方に分布している（表9）。ただし、ひとり親世帯とふたり親世帯の母数（回答世帯数）には8倍近い開きがある。実数でみると、低所得層Iに含まれる世帯数はふたり親世帯（426世帯）がひとり親世帯（395世帯）をやや上回る。

## 2 働き方について

表 10 学年と母親の就業状況のクロス

		合計	母親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	
全体		7119	1857	2557	419	85	257	31	85	1779	6	43
		100.0%	26.1%	35.9%	5.9%	1.2%	3.6%	0.4%	1.2%	25.0%	0.1%	0.6%
学年	2歳児	1388	493	265	77	15	32	6	25	466	0	9
		100.0%	35.5%	19.1%	5.5%	1.1%	2.3%	0.4%	1.8%	33.6%	0.0%	0.6%
	5歳児	1114	284	369	41	10	47	6	11	339	0	7
		100.0%	25.5%	33.1%	3.7%	0.9%	4.2%	0.5%	1.0%	30.4%	0.0%	0.6%
	小学2年生	1233	302	467	62	19	48	3	15	311	1	5
		100.0%	24.5%	37.9%	5.0%	1.5%	3.9%	0.2%	1.2%	25.2%	0.1%	0.4%
	小学5年生	1224	259	494	83	17	53	9	15	288	0	6
		100.0%	21.2%	40.4%	6.8%	1.4%	4.3%	0.7%	1.2%	23.5%	0.0%	0.5%
	中学2年生	1093	277	471	74	8	51	3	7	191	2	9
		100.0%	25.3%	43.1%	6.8%	0.7%	4.7%	0.3%	0.6%	17.5%	0.2%	0.8%
	高校2年生	1067	242	491	82	16	26	4	12	184	3	7
		100.0%	22.7%	46.0%	7.7%	1.5%	2.4%	0.4%	1.1%	17.2%	0.3%	0.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

表 11 世帯類型と母親の就業状況のクロス

		合計	母親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	
全体		7119	1857	2557	419	85	257	31	85	1779	6	43
		100.0%	26.1%	35.9%	5.9%	1.2%	3.6%	0.4%	1.2%	25.0%	0.1%	0.6%
世帯類型	ひとり親世帯	734	282	222	82	7	29	3	11	88	2	8
		100.0%	38.4%	30.2%	11.2%	1.0%	4.0%	0.4%	1.5%	12.0%	0.3%	1.1%
	ふたり親世帯	6371	1572	2330	336	78	226	28	74	1688	4	35
		100.0%	24.7%	36.6%	5.3%	1.2%	3.5%	0.4%	1.2%	26.5%	0.1%	0.5%
その他世帯		14	3	5	1	0	2	0	0	3	0	0
		100.0%	21.4%	35.7%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

表12 所得階層と母親の就業状況のクロス

		合計	母親の就業状況								
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない
全体		7119	1857	2557	419	85	257	31	85	1779	6
		100.0%	26.1%	35.9%	5.9%	1.2%	3.6%	0.4%	1.2%	25.0%	0.1%
所得階層	低所得層Ⅰ	815	150	359	78	10	47	4	12	147	1
		100.0%	18.4%	44.0%	9.6%	1.2%	5.8%	0.5%	1.5%	18.0%	0.1%
	低所得層Ⅱ	1018	190	421	57	9	41	6	11	275	0
		100.0%	18.7%	41.4%	5.6%	0.9%	4.0%	0.6%	1.1%	27.0%	0.0%
	中間所得層Ⅰ	1100	234	440	71	6	32	5	14	294	1
		100.0%	21.3%	40.0%	6.5%	0.5%	2.9%	0.5%	1.3%	26.7%	0.1%
中間所得層Ⅱ	1879	510	702	110	16	52	11	17	453	1	7
		100.0%	27.1%	37.4%	5.9%	0.9%	2.8%	0.6%	0.9%	24.1%	0.1%
上位所得層	1648	669	384	78	39	51	4	20	398	1	4
		100.0%	40.6%	23.3%	4.7%	2.4%	3.1%	0.2%	1.2%	24.2%	0.1%
不明		659	104	251	25	5	34	1	11	212	2
		100.0%	15.8%	38.1%	3.8%	0.8%	5.2%	0.2%	1.7%	32.2%	0.3%
											2.1%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

学年別に母親の働き方をみると、学年が上がるほど働いていない人の割合は減少する（2歳児保護者では33.6%、高2保護者では17.2%）。一方で、パート・アルバイトで働いている人の割合が増加する（2歳児保護者では19.1%、高2保護者では46.0%）。正規の職員・従業員は2歳児保護者で最も高い（35.5%）（表10）。

世帯類型別に母親の働き方をみると、ひとり親世帯の方がふたり親世帯より母親が働いていない割合が少ない（ひとり親世帯では12.0%、ふたり親世帯では26.5%）。一方でひとり親世帯の方が正規の職員・従業員である割合が高い（ひとり親世帯では38.4%、ふたり親世帯では24.7%）。パート・アルバイトでは大きな差はみられない（ひとり親世帯では30.2%、ふたり親世帯では36.6%）。また、ひとり親世帯の方がふたり親世帯より派遣社員・契約社員・嘱託である人の割合も多い（ひとり親世帯では11.2%、ふたり親世帯では5.3%）。（表11）。

所得階層別に母親の働き方をみると、上位所得層では40.6%の母親が正規の職員・従業員である。一方で、低所得層Ⅰでも18.4%の母親が正規の職員・従業員として働いている。また、上位所得層を除いた4つの所得階層ではいずれもパート・アルバイトの働き方が最も多く4割前後となっている。働いていない母親の割合は、低所得層Ⅰが最も低い（18.0%）（表12）。

表 13 学年と父親の就業状況のクロス

		合計	父親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	
全体		6449	5243	46	109	360	548	2	35	50	9	47
		100.0%	81.3%	0.7%	1.7%	5.6%	8.5%	0.0%	0.5%	0.8%	0.1%	0.7%
学年	2歳児	1317	1102	11	26	60	97	0	5	11	2	3
		100.0%	83.7%	0.8%	2.0%	4.6%	7.4%	0.0%	0.4%	0.8%	0.2%	0.2%
	5歳児	1045	859	5	15	63	81	0	6	7	2	7
		100.0%	82.2%	0.5%	1.4%	6.0%	7.8%	0.0%	0.6%	0.7%	0.2%	0.7%
	小学2年生	1130	926	11	21	66	86	0	2	8	0	10
		100.0%	81.9%	1.0%	1.9%	5.8%	7.6%	0.0%	0.2%	0.7%	0.0%	0.9%
学年	小学5年生	1075	844	8	17	65	111	2	10	8	0	10
		100.0%	78.5%	0.7%	1.6%	6.0%	10.3%	0.2%	0.9%	0.7%	0.0%	0.9%
	中学2年生	956	769	6	12	52	93	0	4	6	3	11
		100.0%	80.4%	0.6%	1.3%	5.4%	9.7%	0.0%	0.4%	0.6%	0.3%	1.2%
	高校2年生	926	743	5	18	54	80	0	8	10	2	6
		100.0%	80.2%	0.5%	1.9%	5.8%	8.6%	0.0%	0.9%	1.1%	0.2%	0.6%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

表 14 世帯類型と父親の就業状況のクロス

		合計	父親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	
全体		6449	5243	46	109	360	548	2	35	50	9	47
		100.0%	81.3%	0.7%	1.7%	5.6%	8.5%	0.0%	0.5%	0.8%	0.1%	0.7%
世帯類型	ひとり親世帯	71	46	2	1	5	8	0	3	3	0	3
		100.0%	64.8%	2.8%	1.4%	7.0%	11.3%	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%
	ふたり親世帯	6371	5193	44	107	355	540	2	31	47	9	43
		100.0%	81.5%	0.7%	1.7%	5.6%	8.5%	0.0%	0.5%	0.7%	0.1%	0.7%
その他世帯		7	4	0	1	0	0	0	1	0	0	1
		100.0%	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

表 15 所得階層と父親の就業状況のクロス

		合計	父親の就業状況									
			正規の職員・従業員	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	
全体		6449	5243	46	109	360	548	2	35	50	9	47
		100.0%	81.3%	0.7%	1.7%	5.6%	8.5%	0.0%	0.5%	0.8%	0.1%	0.7%
所得階層	低所得層Ⅰ	438	252	16	31	25	80	0	10	18	3	3
		100.0%	57.5%	3.7%	7.1%	5.7%	18.3%	0.0%	2.3%	4.1%	0.7%	0.7%
	低所得層Ⅱ	889	693	14	26	31	103	0	5	10	0	7
		100.0%	78.0%	1.6%	2.9%	3.5%	11.6%	0.0%	0.6%	1.1%	0.0%	0.8%
	中間所得層Ⅰ	1030	865	1	16	45	86	1	2	5	2	7
		100.0%	84.0%	0.1%	1.6%	4.4%	8.3%	0.1%	0.2%	0.5%	0.2%	0.7%
	中間所得層Ⅱ	1849	1649	7	15	73	93	0	7	2	0	3
		100.0%	89.2%	0.4%	0.8%	3.9%	5.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.0%	0.2%
	上位所得層	1649	1337	6	14	155	110	1	9	8	0	9
		100.0%	81.1%	0.4%	0.8%	9.4%	6.7%	0.1%	0.5%	0.5%	0.0%	0.5%
	不明	594	447	2	7	31	76	0	2	7	4	18
		100.0%	75.3%	0.3%	1.2%	5.2%	12.8%	0.0%	0.3%	1.2%	0.7%	3.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

父親の働き方については、全体のおよそ8割（81.3%）が正規の職員・従業員であり、1割弱（8.5%）が自営業である。これは学年別でみてもおおむね同様である（表13）。

世帯類型別に父親の働き方をみると、ひとり親世帯（父子世帯）の回答世帯数が少ない（71世帯）ことに留意する必要がある。正規の職員・従業員である割合はひとり親世帯の方がふたり親世帯より低い（ひとり親世帯では64.8%、ふたり親世帯では81.5%）ものの、ひとり親世帯の父親の回答として最も高い割合である（表14）。

所得階層別に父親の働き方をみると、低所得層Ⅰにおいて、他の階層より正規の職員・従業員の割合が低く（それでも57.5%と半数を超える）、働いていないという回答が他の所得階層より高い（しかしながら4.1%、18世帯にとどまる）（表15）。

### 3 家計・生活不安について

表 16 学年と家計の状況のクロス

		合計	家計の状況								
			毎月貯金をしている	黒字であり	貯金はしていない	黒字ではあるが	ぎりぎりである	黒字でも赤字でもなく	貯金をとりくずしている	赤字であり	借錢をして生活をしている
全体		7282	2774	604	2549	783	340	232			
		100.0%	38.1%	8.3%	35.0%	10.8%	4.7%	3.2%			
学年	2歳児	1398	569	126	439	163	76	25			
		100.0%	40.7%	9.0%	31.4%	11.7%	5.4%	1.8%			
	5歳児	1131	436	101	406	118	43	27			
		100.0%	38.5%	8.9%	35.9%	10.4%	3.8%	2.4%			
	小学2年生	1249	498	108	421	127	49	46			
		100.0%	39.9%	8.6%	33.7%	10.2%	3.9%	3.7%			
	小学5年生	1263	499	94	445	126	60	39			
		100.0%	39.5%	7.4%	35.2%	10.0%	4.8%	3.1%			
	中学2年生	1133	412	103	414	115	46	43			
		100.0%	36.4%	9.1%	36.5%	10.2%	4.1%	3.8%			
	高校2年生	1108	360	72	424	134	66	52			
		100.0%	32.5%	6.5%	38.3%	12.1%	6.0%	4.7%			

表 17 世帯類型と家計の状況のクロス

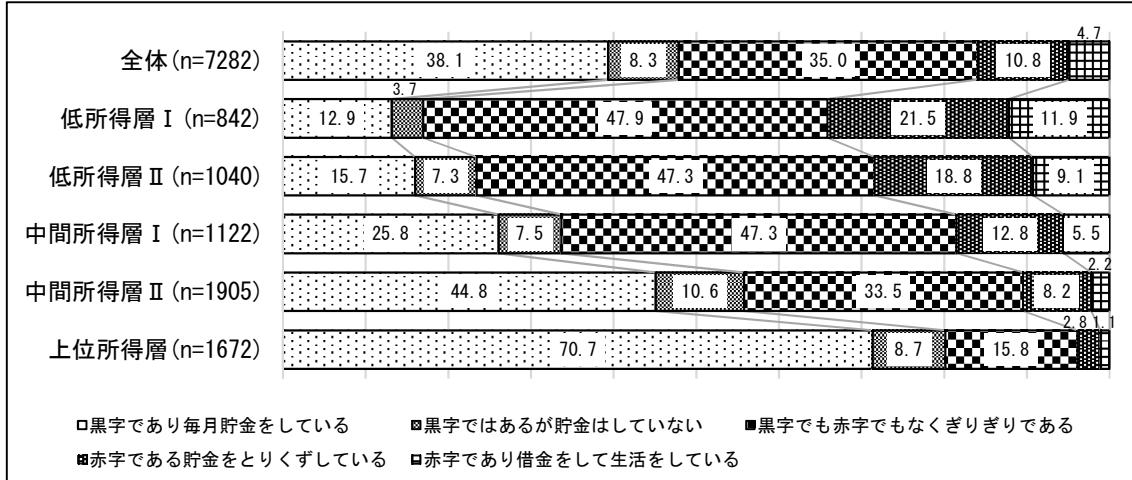
		合計	家計の状況								
			毎月貯金をしている	黒字であり	貯金はしていない	黒字ではあるが	ぎりぎりである	黒字でも赤字でもなく	貯金をとりくずしている	赤字であり	借錢をして生活をしている
全体		7282	2774	604	2549	783	340	232			
		100.0%	38.1%	8.3%	35.0%	10.8%	4.7%	3.2%			
世帯類型	ひとり親世帯	805	159	44	379	125	65	33			
		100.0%	19.8%	5.5%	47.1%	15.5%	8.1%	4.1%			
	ふたり親世帯	6371	2599	550	2133	642	266	181			
		100.0%	40.8%	8.6%	33.5%	10.1%	4.2%	2.8%			
	その他世帯	41	7	7	15	5	4	3			
		100.0%	17.1%	17.1%	36.6%	12.2%	9.8%	7.3%			
	不明	65	9	3	22	11	5	15			
		100.0%	13.8%	4.6%	33.8%	16.9%	7.7%	23.1%			

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 18 所得階層と家計の状況のクロス

		合計	家計の状況							
			毎月貯金をしている	黒字であり	貯金はしていない	黒字ではあるがぎりぎりである	黒字でも赤字でもなく	貯金をとりくずしている	赤字であり	借金をして生活をしている
全体		7282	2774	604	2549	783	340	232		
		100.0%	38.1%	8.3%	35.0%	10.8%	4.7%	3.2%		
所得階層	低所得層 I	842	109	31	403	181	100	18		
		100.0%	12.9%	3.7%	47.9%	21.5%	11.9%	2.1%		
	低所得層 II	1040	163	76	492	195	95	19		
		100.0%	15.7%	7.3%	47.3%	18.8%	9.1%	1.8%		
	中間所得層 I	1122	290	84	531	144	62	11		
		100.0%	25.8%	7.5%	47.3%	12.8%	5.5%	1.0%		
	中間所得層 II	1905	854	201	638	157	41	14		
		100.0%	44.8%	10.6%	33.5%	8.2%	2.2%	0.7%		
	上位所得層	1672	1182	145	265	46	19	15		
		100.0%	70.7%	8.7%	15.8%	2.8%	1.1%	0.9%		
	不明	701	176	67	220	60	23	155		
		100.0%	25.1%	9.6%	31.4%	8.6%	3.3%	22.1%		

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



家計の状況に関する回答を学年別にみると、2歳児保護者から小5保護者までは「黒字で毎月貯金をしている」という回答がもっとも多いが（2歳児保護者では40.7%、5歳児保護者では38.5%、小2保護者では39.9%、小5保護者では39.5%）、中2では「黒字で毎月貯金をしている」（36.4%）と「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」（36.5%）がほぼ同数となり、高2保護者では「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」が最多くなる（38.3%）（表16）。

世帯類型別にみると、ふたり親世帯では「黒字で毎月貯金をしている」が 40.8%で最も多いのに対し、ひとり親世帯では「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」が 47.1%で最も多い。また、ひとり親世帯の方が「赤字で貯金を取りくずしている」世帯や「赤字で借金をしている」世帯の割合が高い（「赤字で貯金を取りくずしている」はひとり親世帯では 15.5%、ふたり親世帯では 10.1%、「赤字で借金をしている」はひとり親世帯では 8.1%、ふたり親世帯では 4.2%）（表 17）。

所得階層と家計状況の関連は明確である。所得が高いほど「黒字で毎月貯金をしている」割合が高くなり、上位所得層では 7 割を超える（70.7%）。中間所得層 I 以下では「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」世帯が半数近くを占める（中間所得層 I では 47.3%、低所得層 II では 47.3%、低所得層 I では 47.9%）。また、所得階層が低くなるほど、「赤字で貯金を取りくずしている」や「赤字で借金をしている」という回答が多くなる（「赤字で貯金を取りくずしている」は中間所得層 I では 12.8%、低所得層 II では 18.8%、低所得層 I では 21.5%、「赤字で借金をしている」は中間所得層 I では 5.5%、低所得層 II では 9.1%、低所得層 I では 11.9%）（表 18）。

表 19 学年と電気、ガス、水道の支払い滞納状況のクロス

		合計	電気、ガス、水道の支払い滞納状況			
			あった	なかった	払う必要がない	不明
全体		7282	290	6766	118	108
		100.0%	4.0%	92.9%	1.6%	1.5%
学年	2歳児	1398	63	1295	30	10
		100.0%	4.5%	92.6%	2.1%	0.7%
	5歳児	1131	27	1071	14	19
		100.0%	2.4%	94.7%	1.2%	1.7%
	小学2年生	1249	53	1163	21	12
		100.0%	4.2%	93.1%	1.7%	1.0%
	小学5年生	1263	54	1172	16	21
		100.0%	4.3%	92.8%	1.3%	1.7%
	中学2年生	1133	49	1046	16	22
		100.0%	4.3%	92.3%	1.4%	1.9%
	高校2年生	1108	44	1019	21	24
		100.0%	4.0%	92.0%	1.9%	2.2%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 20 世帯類型と電気、ガス、水道の支払い滞納状況のクロス

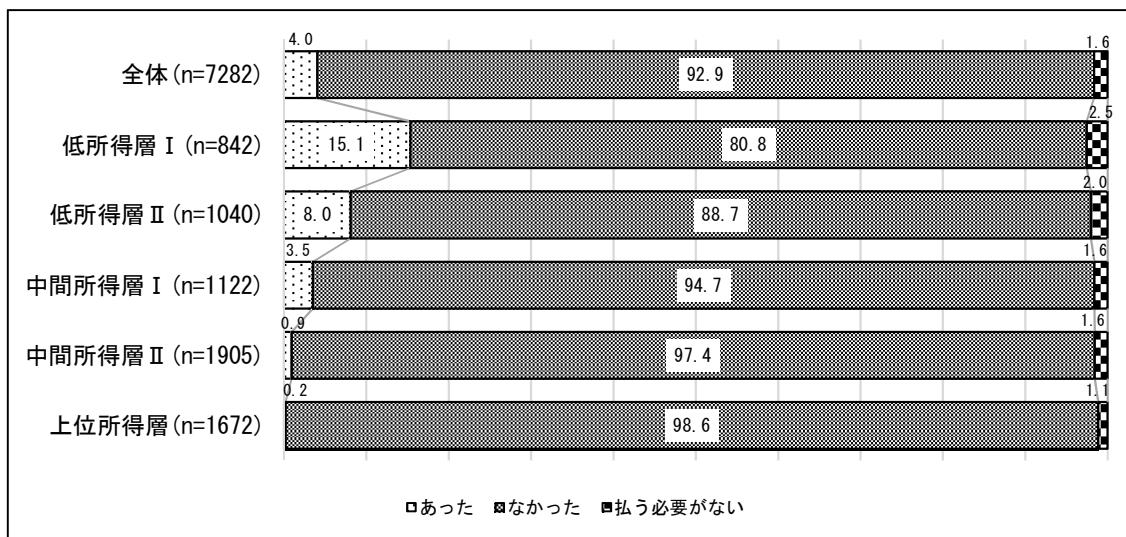
		合計	電気、ガス、水道の支払い滞納状況			
			あつた	なかつた	払う必要がない	不明
全体		7282 100.0%	290 4.0%	6766 92.9%	118 1.6%	108 1.5%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100.0%	95 11.8%	651 80.9%	36 4.5%	23 2.9%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	190 3.0%	6030 94.6%	78 1.2%	73 1.1%
	その他世帯	41 100.0%	2 4.9%	36 87.8%	2 4.9%	1 2.4%
	不明	65 100.0%	3 4.6%	49 75.4%	2 3.1%	11 16.9%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 21 所得階層と電気、ガス、水道の支払い滞納状況のクロス

		合計	電気、ガス、水道の支払い滞納状況			
			あつた	なかつた	払う必要がない	不明
全体		7282 100.0%	290 4.0%	6766 92.9%	118 1.6%	108 1.5%
所得階層	低所得層Ⅰ	842 100.0%	127 15.1%	680 80.8%	21 2.5%	14 1.7%
	低所得層Ⅱ	1040 100.0%	83 8.0%	922 88.7%	21 2.0%	14 1.3%
	中間所得層Ⅰ	1122 100.0%	39 3.5%	1063 94.7%	18 1.6%	2 0.2%
	中間所得層Ⅱ	1905 100.0%	18 0.9%	1855 97.4%	30 1.6%	2 0.1%
	上位所得層	1672 100.0%	3 0.2%	1649 98.6%	19 1.1%	1 0.1%
	不明	701 100.0%	20 2.9%	597 85.2%	9 1.3%	75 10.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

過去1年間に経済的な理由で「電気、ガス、水道のいずれかの料金」の支払いができないなかったことがあるかをたずねた。(表19、表20、表21)。

学年別、世帯類型別、所得階層別のいずれにおいても、支払えないことが「なかった」という回答が8~9割と最も多い。

しかし、ふたり親世帯よりもひとり親世帯で、また、所得の低い階層の方が支払えないことが「あつた」という回答割合が高く、ひとり親世帯の11.8%、低所得層1の15.1%および低所得層2の8.0%で、支払いができないかった経験がある。

表22 学年と今後の生活への不安のクロス

		合計	今後の生活への不安						
			感じている	感じている	どちらかといえば	どちらともいえない	感じていない	どちらかといえば	感じていない
全体		7282	2427	2263	1164	720	566	142	
		100.0%	33.3%	31.1%	16.0%	9.9%	7.8%	2.0%	
学年	2歳児	1398	482	428	216	154	106	12	
		100.0%	34.5%	30.6%	15.5%	11.0%	7.6%	0.9%	
	5歳児	1131	376	368	176	122	74	15	
		100.0%	33.2%	32.5%	15.6%	10.8%	6.5%	1.3%	
	小学2年生	1249	368	425	199	135	99	23	
		100.0%	29.5%	34.0%	15.9%	10.8%	7.9%	1.8%	
	小学5年生	1263	402	394	209	125	109	24	
		100.0%	31.8%	31.2%	16.5%	9.9%	8.6%	1.9%	
中学2年生		1133	388	337	183	90	101	34	
		100.0%	34.2%	29.7%	16.2%	7.9%	8.9%	3.0%	
高校2年生		1108	411	311	181	94	77	34	
		100.0%	37.1%	28.1%	16.3%	8.5%	6.9%	3.1%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表23 世帯類型と今後の生活への不安のクロス

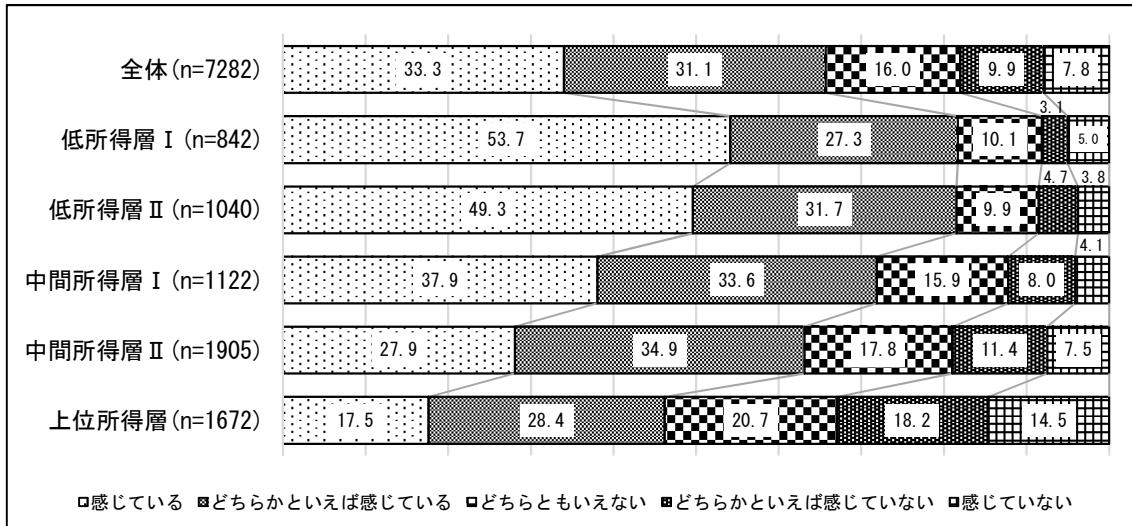
		合計	今後の生活への不安						
			感じている	感じている	どちらかといえば	どちらともいえない	感じていない	どちらかといえば	感じていない
全体		7282	2427	2263	1164	720	566	142	
		100.0%	33.3%	31.1%	16.0%	9.9%	7.8%	2.0%	
世帯類型	ひとり親世帯	805	419	213	89	35	32	17	
		100.0%	52.0%	26.5%	11.1%	4.3%	4.0%	2.1%	
	ふたり親世帯	6371	1972	2028	1057	680	524	110	
		100.0%	31.0%	31.8%	16.6%	10.7%	8.2%	1.7%	
その他世帯		41	15	10	9	3	4	0	
		100.0%	36.6%	24.4%	22.0%	7.3%	9.8%	0.0%	
不明		65	21	12	9	2	6	15	
		100.0%	32.3%	18.5%	13.8%	3.1%	9.2%	23.1%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 24 所得階層と今後の生活への不安のクロス

		合計	今後の生活への不安						
			感じている	感じている	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば感じていない	感じていない	不明
全体		7282	2427	2263	1164	720	566	142	
		100.0%	33.3%	31.1%	16.0%	9.9%	7.8%	2.0%	
所得階層	低所得層 I	842	452	230	85	26	42	7	
		100.0%	53.7%	27.3%	10.1%	3.1%	5.0%	0.8%	
	低所得層 II	1040	513	330	103	49	39	6	
		100.0%	49.3%	31.7%	9.9%	4.7%	3.8%	0.6%	
	中間所得層 I	1122	425	377	178	90	46	6	
		100.0%	37.9%	33.6%	15.9%	8.0%	4.1%	0.5%	
	中間所得層 II	1905	532	664	340	217	142	10	
		100.0%	27.9%	34.9%	17.8%	11.4%	7.5%	0.5%	
	上位所得層	1672	293	475	346	305	243	10	
		100.0%	17.5%	28.4%	20.7%	18.2%	14.5%	0.6%	
	不明	701	212	187	112	33	54	103	
		100.0%	30.2%	26.7%	16.0%	4.7%	7.7%	14.7%	

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 22、表 23、表 24 は、「あなたは、今後の生活（経済的・子育てなど）に対して不安を感じていますか」に対する回答である。「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせるとおよそ 6 割 (64.4%) を占め、これは学年別でみても同様である（表 22）。ふたり親世帯よりもひとり親世帯で、また、所得の低い階層になるほど「感じている」という回答の割合が高くなり、ひとり親世帯、低所得層 I では半数を超える（ひとり親世帯では 52.0%、低所得層 I では 53.7%）（表 23、表 24）。

#### 4 健康について

表 25 学年と保護者の健康状態のクロス

		合計	保護者の健康状態（※複数回答）							
			健康である	通院している	入院中である	通院していないが体調が悪い	障がい認定を受けている（難病をのぞく）	指定難病の認定を受けている	その他	不明
全体		7282	5926	1093	5	236	63	63	46	35
		—	81.4%	15.0%	0.1%	3.2%	0.9%	0.9%	0.6%	0.5%
学年	2歳児	1398	1197	162	0	45	8	10	15	2
		—	85.6%	11.6%	0.0%	3.2%	0.6%	0.7%	1.1%	0.1%
	5歳児	1131	966	135	0	35	6	3	4	1
		—	85.4%	11.9%	0.0%	3.1%	0.5%	0.3%	0.4%	0.1%
	小学2年生	1249	1029	166	1	41	9	11	8	5
		—	82.4%	13.3%	0.1%	3.3%	0.7%	0.9%	0.6%	0.4%
	小学5年生	1263	1000	217	3	35	19	17	4	9
		—	79.2%	17.2%	0.2%	2.8%	1.5%	1.3%	0.3%	0.7%
	中学2年生	1133	896	194	0	41	9	7	5	10
		—	79.1%	17.1%	0.0%	3.6%	0.8%	0.6%	0.4%	0.9%
	高校2年生	1108	838	219	1	39	12	15	10	8
		—	75.6%	19.8%	0.1%	3.5%	1.1%	1.4%	0.9%	0.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 26 世帯類型と保護者の健康状態のクロス

		合計	保護者の健康状態（※複数回答）							
			健康である	通院している	入院中である	悪い	通院していないが体調が	（難病をのぞく）	いる	指定難病の認定を受けている
全体		7282	5926	1093	5	236	63	63	46	35
		—	81.4%	15.0%	0.1%	3.2%	0.9%	0.9%	0.6%	0.5%
世帯類型	ひとり親世帯	805	566	194	1	50	14	6	9	4
		—	70.3%	24.1%	0.1%	6.2%	1.7%	0.7%	1.1%	0.5%
	ふたり親世帯	6371	5292	875	4	183	47	54	36	20
		—	83.1%	13.7%	0.1%	2.9%	0.7%	0.8%	0.6%	0.3%
その他世帯	その他世帯	41	27	14	0	1	0	1	1	0
		—	65.9%	34.1%	0.0%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%
不明	不明	65	41	10	0	2	2	2	0	11
		—	63.1%	15.4%	0.0%	3.1%	3.1%	3.1%	0.0%	16.9%

※2歳、5歳、小2、中2、高2の保護者が回答

表 27 所得階層と保護者の健康状態のクロス

		合計	保護者の健康状態（※複数回答）							
			健康である	通院している	入院中である	悪い通院していないが体調が悪い	（難病をのぞく）障がい認定を受けている	いる指定難病の認定を受けて	その他	不明
全体		7282	5926	1093	5	236	63	63	46	35
		—	81.4%	15.0%	0.1%	3.2%	0.9%	0.9%	0.6%	0.5%
所得階層	低所得層Ⅰ	842	608	179	0	49	16	10	5	4
		—	72.2%	21.3%	0.0%	5.8%	1.9%	1.2%	0.6%	0.5%
	低所得層Ⅱ	1040	832	153	0	49	12	11	12	2
		—	80.0%	14.7%	0.0%	4.7%	1.2%	1.1%	1.2%	0.2%
	中間所得層Ⅰ	1122	932	157	1	34	13	6	5	2
		—	83.1%	14.0%	0.1%	3.0%	1.2%	0.5%	0.4%	0.2%
	中間所得層Ⅱ	1905	1598	256	3	47	7	15	13	3
		—	83.9%	13.4%	0.2%	2.5%	0.4%	0.8%	0.7%	0.2%
	上位所得層	1672	1404	250	0	30	5	14	8	1
		—	84.0%	15.0%	0.0%	1.8%	0.3%	0.8%	0.5%	0.1%
	不明	701	552	98	1	27	10	7	3	23
		—	78.7%	14.0%	0.1%	3.9%	1.4%	1.0%	0.4%	3.3%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

「健康である」と答えた人は全体で81.4%。また、子どもの学年が上がるほど健康である人の割合が低くなり（2歳児保護者では85.6%、高2保護者では75.6%）、通院している人の割合が高くなる（2歳児保護者では11.6%、高2保護者では19.8%）（表25）。ひとり親世帯の方がふたり親世帯に比べて健康である人の割合が低く（ひとり親世帯では70.3%、ふたり親世帯では83.1%）、通院している人や通院していないが体調が悪い人の割合が高い（「通院している」がひとり親世帯では24.1%、ふたり親世帯では13.7%、「通院していないが体調が悪い」がひとり親世帯では6.2%、ふたり親世帯では2.9%）（表26）。

所得階層が低いほど健康である人の割合が低く（低所得層Ⅰでは72.2%、上位所得層では84.0%）、通院している人や通院していない人の割合が高い（「通院している」が低所得層Ⅰでは21.3%、上位所得層では15.0%、「通院していないが体調が悪い」が低所得層Ⅰでは5.8%、上位所得層では1.8%）（表27）。

表 28 学年と保護者の心の健康状態のクロス

		合計	保護者の心の健康状態				
			0~4 点	5~9 点	10~14 点	15 点以上	不明
全体		7282 100.0%	5171 71.0%	1305 17.9%	471 6.5%	210 2.9%	125 1.7%
学年	2歳児	1398 100.0%	968 69.2%	281 20.1%	79 5.7%	54 3.9%	16 1.1%
	5歳児	1131 100.0%	825 72.9%	193 17.1%	69 6.1%	31 2.7%	13 1.1%
	小学2年生	1249 100.0%	907 72.6%	198 15.9%	93 7.4%	30 2.4%	21 1.7%
	小学5年生	1263 100.0%	880 69.7%	228 18.1%	91 7.2%	37 2.9%	27 2.1%
	中学2年生	1133 100.0%	800 70.6%	202 17.8%	77 6.8%	31 2.7%	23 2.0%
	高校2年生	1108 100.0%	791 71.4%	203 18.3%	62 5.6%	27 2.4%	25 2.3%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答した選択肢より分類

表 29 世帯類型と保護者の心の健康状態のクロス

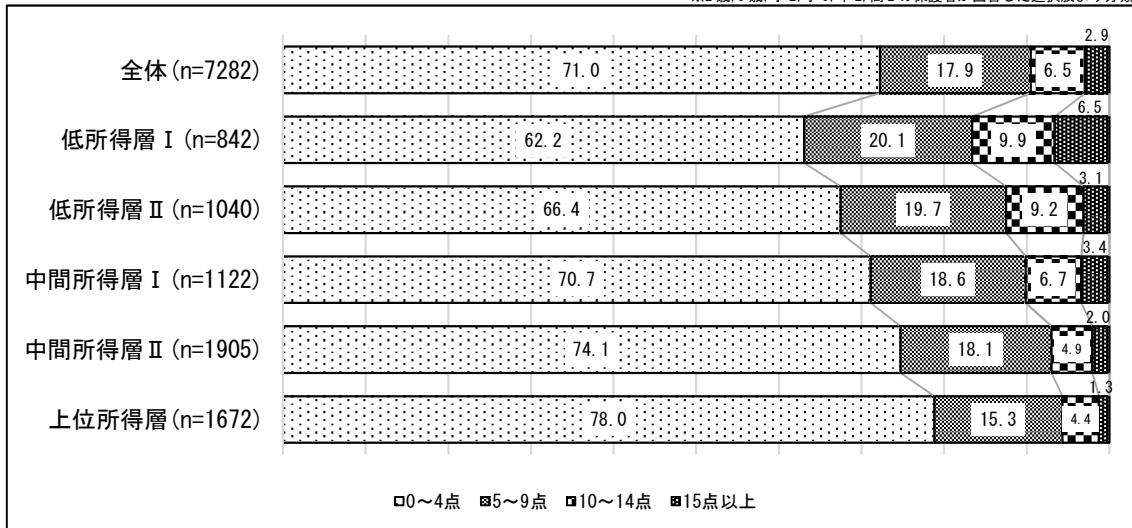
		合計	保護者の心の健康状態				
			0~4 点	5~9 点	10~14 点	15 点以上	不明
全体		7282 100.0%	5171 71.0%	1305 17.9%	471 6.5%	210 2.9%	125 1.7%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100.0%	492 61.1%	168 20.9%	73 9.1%	60 7.5%	12 1.5%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	4619 72.5%	1120 17.6%	391 6.1%	145 2.3%	96 1.5%
	その他世帯	41 100.0%	31 75.6%	6 14.6%	3 7.3%	1 2.4%	0 0.0%
	不明	65 100.0%	29 44.6%	11 16.9%	4 6.2%	4 6.2%	17 26.2%

※2歳, 5歳, 小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答した選択肢より分類

表 30 所得階層と保護者の心の健康状態のクロス

		合計	保護者の心の健康状態				
			0~4 点	5~9 点	10~14 点	15 点以上	不明
全体		7282 100.0%	5171 71.0%	1305 17.9%	471 6.5%	210 2.9%	125 1.7%
所得階層	低所得層 I	842 100.0%	524 62.2%	169 20.1%	83 9.9%	55 6.5%	11 1.3%
	低所得層 II	1040 100.0%	691 66.4%	205 19.7%	96 9.2%	32 3.1%	16 1.5%
	中間所得層 I	1122 100.0%	793 70.7%	209 18.6%	75 6.7%	38 3.4%	7 0.6%
	中間所得層 II	1905 100.0%	1411 74.1%	345 18.1%	93 4.9%	39 2.0%	17 0.9%
	上位所得層	1672 100.0%	1304 78.0%	256 15.3%	73 4.4%	21 1.3%	18 1.1%
	不明	701 100.0%	448 63.9%	121 17.3%	51 7.3%	25 3.6%	56 8.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答した選択肢より分類



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

今回の調査では、保護者に対し過去1か月の心の状態を聞く設問に対する回答を得点化している。高いほど心の健康状態に問題があり、10点以上ではうつ病や不安障害などの可能性がある。

10点以上の人全員で9.4%であり、子どもの学年による明らかな違いはみられない(表28)。

ひとり親世帯の方がふたり親世帯に比べて10点以上の割合が高い(ひとり親世帯では16.5%、ふたり親世帯では8.4%) (表29)。

所得階層が低いほど10点以上の割合が高く(低所得層Iでは16.4%、上位所得層では5.6%)、低所得層Iと上位所得層では約3倍の違いがある(表30)。

表 31 学年と子どもの健康状態のクロス

		合計	子どもの健康状態（※複数回答）								
			健康である	通院している病氣がある	入院している	通院していないが体調が悪い	障がいがある（難病をのぞく）	指定難病の認定を受けている	発達に遅れがある	その他	不明
全体		7282	6532	503	2	62	193	23	222	78	36
	—	—	89.7%	6.9%	0.0%	0.9%	2.7%	0.3%	3.0%	1.1%	0.5%
学年	2歳児	1398	1261	97	0	7	20	6	58	15	3
	—	—	90.2%	6.9%	0.0%	0.5%	1.4%	0.4%	4.1%	1.1%	0.2%
	5歳児	1131	1030	73	0	1	20	3	41	12	3
	—	—	91.1%	6.5%	0.0%	0.1%	1.8%	0.3%	3.6%	1.1%	0.3%
	小学2年生	1249	1108	89	0	7	57	3	54	12	5
	—	—	88.7%	7.1%	0.0%	0.6%	4.6%	0.2%	4.3%	1.0%	0.4%
学年	小学5年生	1263	1135	87	2	4	51	3	45	12	9
	—	—	89.9%	6.9%	0.2%	0.3%	4.0%	0.2%	3.6%	1.0%	0.7%
	中学2年生	1133	1004	78	0	19	31	7	19	19	10
	—	—	88.6%	6.9%	0.0%	1.7%	2.7%	0.6%	1.7%	1.7%	0.9%
	高校2年生	1108	994	79	0	24	14	1	5	8	6
	—	—	89.7%	7.1%	0.0%	2.2%	1.3%	0.1%	0.5%	0.7%	0.5%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

		合計	子どもの健康状態（※複数回答）								
			健康である	通院している病氣がある	入院している	通院していないが体調が悪い	障がいがある（難病をのぞく）	指定難病の認定を受けている	発達に遅れがある	その他	不明
全体		7282	6532	503	2	62	193	23	222	78	36
	—	—	89.7%	6.9%	0.0%	0.9%	2.7%	0.3%	3.0%	1.1%	0.5%
世帯 類型	ひとり親世帯	805	699	77	0	11	38	0	39	10	5
	—	—	86.8%	9.6%	0.0%	1.4%	4.7%	0.0%	4.8%	1.2%	0.6%
	ふたり親世帯	6371	5740	424	2	50	150	23	182	66	24
	—	—	90.1%	6.7%	0.0%	0.8%	2.4%	0.4%	2.9%	1.0%	0.4%
その他世帯	その他世帯	41	39	1	0	1	1	0	0	2	0
	—	—	95.1%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%
不明	不明	65	54	1	0	0	4	0	1	0	7
	—	—	83.1%	1.5%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%	1.5%	0.0%	10.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 33 所得階層と子どもの健康状態のクロス

		合計	子どもの健康状態（※複数回答）								
			健康である	通院している病気がある	入院している	通院していないが体調が悪い	障がいがある（難病をのぞく）	指定難病の認定を受けている	発達に遅れがある	その他	不明
全体		7282	6532	503 6.9%	2 0.0%	62 0.9%	193 2.7%	23 0.3%	222 3.0%	78 1.1%	36 0.5%
所得階層	低所得層 I	842	745	61 7.2%	0 0.0%	13 1.5%	23 2.7%	2 0.2%	28 3.3%	14 1.7%	3 0.4%
	低所得層 II	1040	923	74 7.1%	1 0.1%	5 0.5%	37 3.6%	3 0.3%	50 4.8%	12 1.2%	6 0.6%
	中間所得層 I	1122	1004	85 7.6%	0 0.0%	10 0.9%	36 3.2%	3 0.3%	39 3.5%	15 1.3%	2 0.2%
	中間所得層 II	1905	1717	129 6.8%	0 0.0%	20 1.0%	47 2.5%	7 0.4%	48 2.5%	20 1.0%	9 0.5%
	上位所得層	1672	1524	103 6.2%	1 0.1%	6 0.4%	40 2.4%	6 0.4%	49 2.9%	13 0.8%	2 0.1%
	不明	701	619	51 7.3%	0 0.0%	8 1.1%	10 1.4%	2 0.3%	8 1.1%	4 0.6%	14 2.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

「健康である」子どもは全体で 89.7% であり、学年による違いはみられない（表 31）。

子どもの健康状態については、所得階層による明らかな違いはみられない（表 33）。

表 34 学年と子どもに必要な病院受診をさせなかった経験のクロス

		合計	子どもに必要な病院受診をさせなかった経験		
			あった	なかつた	不明
全体		7282 100. 0%	1196 16. 4%	6026 82. 8%	60 0. 8%
学年	2歳児	1398 100. 0%	216 15. 5%	1175 84. 0%	7 0. 5%
	5歳児	1131 100. 0%	181 16. 0%	949 83. 9%	1 0. 1%
	小学2年生	1249 100. 0%	175 14. 0%	1070 85. 7%	4 0. 3%
	小学5年生	1263 100. 0%	214 16. 9%	1031 81. 6%	18 1. 4%
	中学2年生	1133 100. 0%	215 19. 0%	907 80. 1%	11 1. 0%
	高校2年生	1108 100. 0%	195 17. 6%	894 80. 7%	19 1. 7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 35 世帯類型と子どもに必要な病院受診をさせなかつた経験のクロス

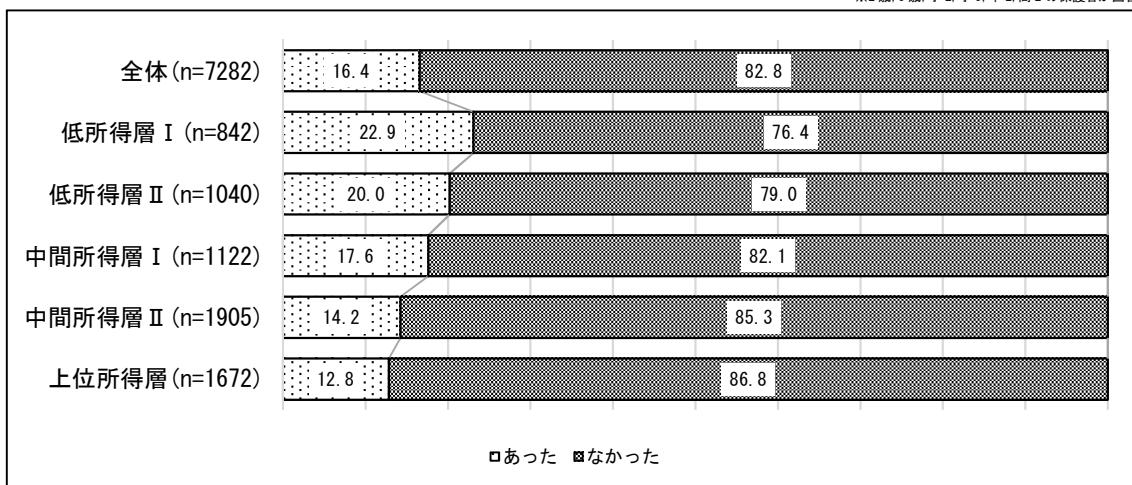
		合計	子どもに必要な病院受診をさせなかつた経験		
			あった	なかつた	不明
全体		7282 100. 0%	1196 16. 4%	6026 82. 8%	60 0. 8%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100. 0%	174 21. 6%	619 76. 9%	12 1. 5%
	ふたり親世帯	6371 100. 0%	1004 15. 8%	5332 83. 7%	35 0. 5%
	その他世帯	41 100. 0%	6 14. 6%	34 82. 9%	1 2. 4%
	不明	65 100. 0%	12 18. 5%	41 63. 1%	12 18. 5%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 36 所得階層と子どもに必要な病院受診をさせなかつた経験のクロス

		合計	子どもに必要な病院受診をさせなかつた経験		
			あった	なかつた	不明
全体		7282 100.0%	1196 16.4%	6026 82.8%	60 0.8%
所得階層	低所得層 I	842 100.0%	193 22.9%	643 76.4%	6 0.7%
	低所得層 II	1040 100.0%	208 20.0%	822 79.0%	10 1.0%
	中間所得層 I	1122 100.0%	197 17.6%	921 82.1%	4 0.4%
	中間所得層 II	1905 100.0%	270 14.2%	1625 85.3%	10 0.5%
	上位所得層	1672 100.0%	214 12.8%	1452 86.8%	6 0.4%
	不明	701 100.0%	114 16.3%	563 80.3%	24 3.4%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

子どもを受診させる必要があったのに受診させなかつた経験がある人は、全体で16.4%であり、中学2年生でやや高い傾向（19.0%）がある（表34）。

ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べ、子どもを受診させなかつた経験のある人の割合がやや高い（ひとり親世帯では21.6%、ふたり親世帯では15.8%）（表35）。

所得階層が低いほど子どもを受診させなかつた経験のある人の割合が高い（低所得層Iでは22.9%、上位所得層では12.8%）（表36）。

表 37 学年と自身が必要な病院受診をしなかった経験のクロス

		合計	自身が必要な病院受診をしなかった経験		
			あった	なかつた	不明
全体		7282 100.0%	2410 33.1%	4805 66.0%	67 0.9%
学年	2歳児	1398 100.0%	634 45.4%	752 53.8%	12 0.9%
	5歳児	1131 100.0%	431 38.1%	696 61.5%	4 0.4%
	小学2年生	1249 100.0%	408 32.7%	833 66.7%	8 0.6%
	小学5年生	1263 100.0%	364 28.8%	882 69.8%	17 1.3%
	中学2年生	1133 100.0%	323 28.5%	797 70.3%	13 1.1%
	高校2年生	1108 100.0%	250 22.6%	845 76.3%	13 1.2%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 38 世帯類型と自身が必要な病院受診をしなかった経験のクロス

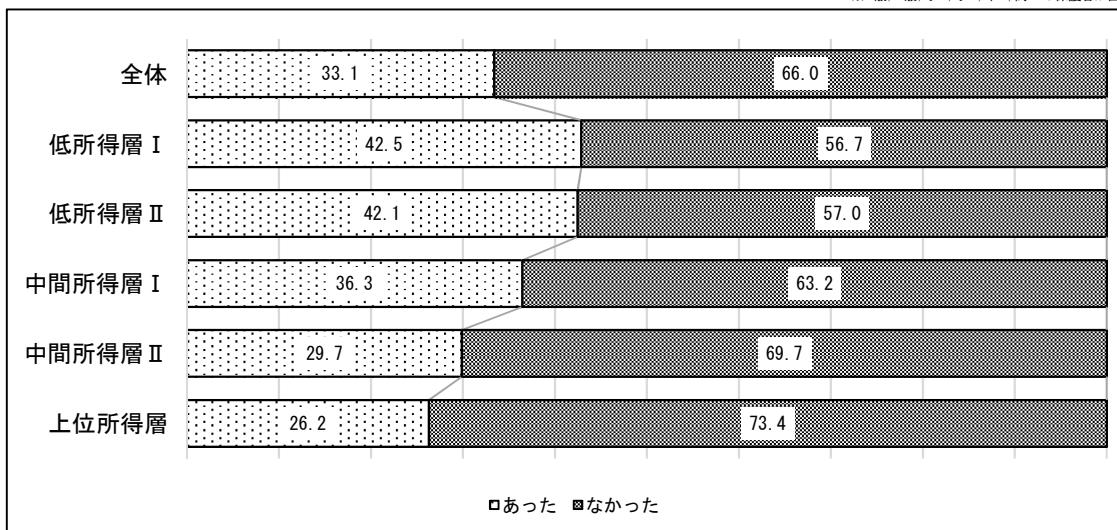
		合計	自身が必要な病院受診をしなかった経験		
			あった	なかつた	不明
全体		7282 100.0%	2410 33.1%	4805 66.0%	67 0.9%
世帯類型	ひとり親世帯	805 100.0%	321 39.9%	473 58.8%	11 1.4%
	ふたり親世帯	6371 100.0%	2060 32.3%	4268 67.0%	43 0.7%
	その他世帯	41 100.0%	7 17.1%	34 82.9%	0 0.0%
	不明	65 100.0%	22 33.8%	30 46.2%	13 20.0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 39 所得階層と自身が必要な病院受診をしなかった経験のクロス

		合計	自身が必要な病院受診をしなかった経験		
			あった	なかつた	不明
全体		7282 100. 0%	2410 33. 1%	4805 66. 0%	67 0. 9%
所得階層	低所得層 I	842 100. 0%	358 42. 5%	477 56. 7%	7 0. 8%
	低所得層 II	1040 100. 0%	438 42. 1%	593 57. 0%	9 0. 9%
	中間所得層 I	1122 100. 0%	407 36. 3%	709 63. 2%	6 0. 5%
	中間所得層 II	1905 100. 0%	566 29. 7%	1328 69. 7%	11 0. 6%
	上位所得層	1672 100. 0%	438 26. 2%	1228 73. 4%	6 0. 4%
	不明	701 100. 0%	203 29. 0%	470 67. 0%	28 4. 0%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

自分自身が必要な受診をしなかった経験がある人は 33.1% であり、子どもの受診と比較すると自分自身の受診を控える人の割合が高い。

学年が低いほどその割合は高い。特に 2 歳児の保護者では 45.4% にも上る。(表 37)。

ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べ、受診しなかった経験のある人の割合がやや高い(ひとり親世帯では 39.9%、ふたり親世帯では 32.3%) (表 38)。

所得階層が低いほど受診しなかった経験のある人の割合が高いが、低所得層 I と II では同程度である(低所得層 I では 42.5%、低所得層 II では 42.1%、上位所得層では 26.2%) (表 39)。

## 5 進学について

表 40 学年と子どもにどの段階まで教育を受けさせたいかのクロス

		合計	子どもにどの段階まで教育を受けさせたいか								
			中学	高校	高等専門学校	短大	専門学校	四年制大学またはそれ以上	まだわからない	その他	不明
全体		2396	6	163	30	52	183	1381	465	60	56
		100.0%	0.3%	6.8%	1.3%	2.2%	7.6%	57.6%	19.4%	2.5%	2.3%
学年	小学5年生	1263	5	84	16	23	91	716	267	33	28
		100.0%	0.4%	6.7%	1.3%	1.8%	7.2%	56.7%	21.1%	2.6%	2.2%
	中学2年生	1133	1	79	14	29	92	665	198	27	28
		100.0%	0.1%	7.0%	1.2%	2.6%	8.1%	58.7%	17.5%	2.4%	2.5%

※小5、中2の保護者が回答

表 41 世帯類型と子どもにどの段階まで教育を受けさせたいかのクロス

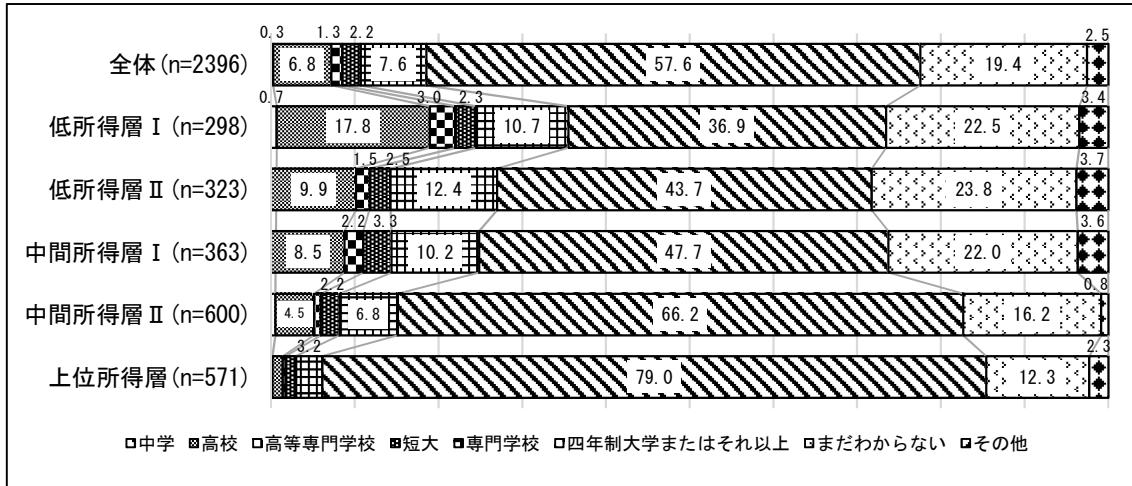
		合計	子どもにどの段階まで教育を受けさせたいか								
			中学	高校	高等専門学校	短大	専門学校	四年制大学またはそれ以上	まだわからない	その他	不明
全体		2396	6	163	30	52	183	1381	465	60	56
		100.0%	0.3%	6.8%	1.3%	2.2%	7.6%	57.6%	19.4%	2.5%	2.3%
世帯類型	ひとり親世帯	351	3	37	8	6	39	169	70	14	5
		100.0%	0.9%	10.5%	2.3%	1.7%	11.1%	48.1%	19.9%	4.0%	1.4%
	ふたり親世帯	1996	3	118	21	45	141	1191	389	45	43
		100.0%	0.2%	5.9%	1.1%	2.3%	7.1%	59.7%	19.5%	2.3%	2.2%
その他世帯		11	0	2	0	0	3	4	1	1	0
		100.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	27.3%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%
不明		38	0	6	1	1	0	17	5	0	8
		100.0%	0.0%	15.8%	2.6%	2.6%	0.0%	44.7%	13.2%	0.0%	21.1%

※小5、中2の保護者が回答

表 42 所得階層と子どもにどの段階まで教育を受けさせたいかのクロス

		合計	子どもにどの段階まで教育を受けさせたいか								
			中学	高校	高等専門学校	短大	専門学校	四年制大学またはそれ以上	まだわからない	その他	不明
全体		2396	6	163	30	52	183	1381	465	60	56
		100.0%	0.3%	6.8%	1.3%	2.2%	7.6%	57.6%	19.4%	2.5%	2.3%
所得階層	低所得層 I	298	2	53	9	7	32	110	67	10	8
		100.0%	0.7%	17.8%	3.0%	2.3%	10.7%	36.9%	22.5%	3.4%	2.7%
	低所得層 II	323	0	32	5	8	40	141	77	12	8
		100.0%	0.0%	9.9%	1.5%	2.5%	12.4%	43.7%	23.8%	3.7%	2.5%
	中間所得層 I	363	0	31	8	12	37	173	80	13	9
		100.0%	0.0%	8.5%	2.2%	3.3%	10.2%	47.7%	22.0%	3.6%	2.5%
	中間所得層 II	600	3	27	5	13	41	397	97	5	12
		100.0%	0.5%	4.5%	0.8%	2.2%	6.8%	66.2%	16.2%	0.8%	2.0%
	上位所得層	571	1	7	2	7	18	451	70	13	2
		100.0%	0.2%	1.2%	0.4%	1.2%	3.2%	79.0%	12.3%	2.3%	0.4%
	不明	241	0	13	1	5	15	109	74	7	17
		100.0%	0.0%	5.4%	0.4%	2.1%	6.2%	45.2%	30.7%	2.9%	7.1%

※小5, 中2の保護者が回答



「四年制大学またはそれ以上」と回答する者は、ひとり親世帯で 48.1%であるのに對し、ふたり親世帯では 59.7%となっている（表 41）。

所得階層別にみると、所得階層が高くなるほど、「四年制大学またはそれ以上」と回答している。具体的には、低所得層 I では 36.9%である一方、上位所得層では 79.0%と 8 割に迫っている。他方で、所得階層が低くなるほど、「高校」と回答する者が多くなっている。具体的には、上位所得層では 1.2%であるのに対し、低所得層 I では 17.8%と 2 割に迫っている（表 42）。

表 43 学年と高校卒業後の進路についてどのように考えているかのクロス

		合計	高校卒業後の進路についてどのように考えているか						
			就職	短大進学	専門学校進学	四年制大学進学	まだわからない	その他	不明
全体		1108	44 100.0%	14 4.0%	103 1.3%	739 9.3%	172 66.7%	16 15.5%	20 1.4%
学年	高校2年生	1108	44 100.0%	14 4.0%	103 1.3%	739 9.3%	172 66.7%	16 15.5%	20 1.4%

※高2の保護者が回答

表 44 世帯類型と高校卒業後の進路についてどのように考えているかのクロス

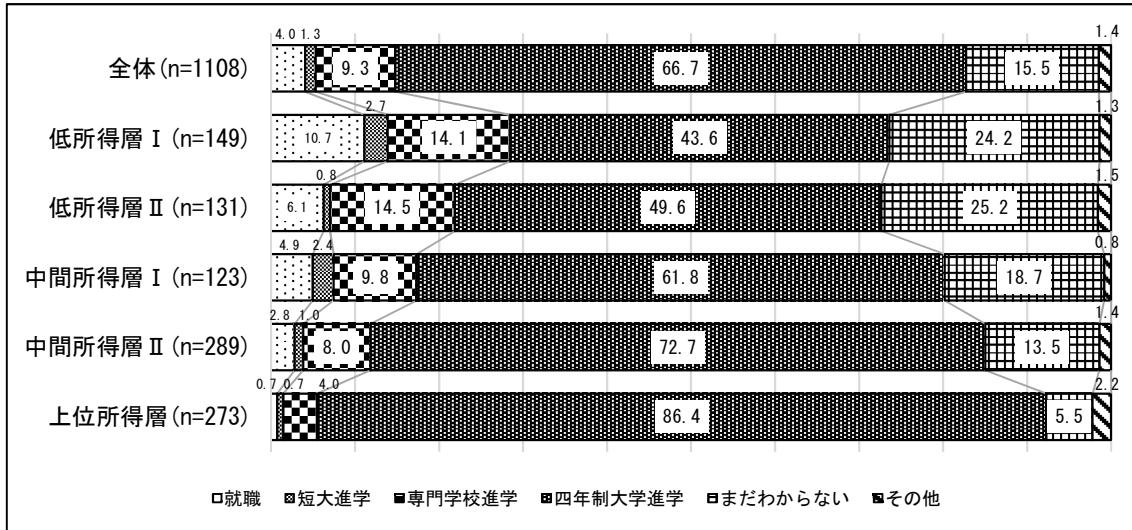
		合計	高校卒業後の進路についてどのように考えているか						
			就職	短大進学	専門学校進学	四年制大学進学	まだわからない	その他	不明
全体		1108	44 100.0%	14 4.0%	103 1.3%	739 9.3%	172 66.7%	16 15.5%	20 1.4%
世帯類型	ひとり親世帯	182	12 100.0%	4 6.6%	31 2.2%	91 17.0%	35 50.0%	3 19.2%	6 1.6%
	ふたり親世帯	904	31 100.0%	9 3.4%	71 1.0%	640 7.9%	126 70.8%	13 13.9%	14 1.4%
	その他世帯	13	0 100.0%	0 0.0%	1 0.0%	6 7.7%	6 46.2%	0 46.2%	0 0.0%
	不明	9	1 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	5 55.6%	0 0.0%

※高2の保護者が回答

表 45 所得階層と高校卒業後の進路についてどのように考えているかのクロス

		合計	高校卒業後の進路についてどのように考えているか						
			就職	短大進学	専門学校進学	四年制大学進学	まだわからない	その他	不明
全体		1108	44	14	103	739	172	16	20
		100.0%	4.0%	1.3%	9.3%	66.7%	15.5%	1.4%	1.8%
所得階層	低所得層 I	149	16	4	21	65	36	2	5
		100.0%	10.7%	2.7%	14.1%	43.6%	24.2%	1.3%	3.4%
	低所得層 II	131	8	1	19	65	33	2	3
		100.0%	6.1%	0.8%	14.5%	49.6%	25.2%	1.5%	2.3%
	中間所得層 I	123	6	3	12	76	23	1	2
		100.0%	4.9%	2.4%	9.8%	61.8%	18.7%	0.8%	1.6%
	中間所得層 II	289	8	3	23	210	39	4	2
		100.0%	2.8%	1.0%	8.0%	72.7%	13.5%	1.4%	0.7%
	上位所得層	273	2	2	11	236	15	6	1
		100.0%	0.7%	0.7%	4.0%	86.4%	5.5%	2.2%	0.4%
	不明	143	4	1	17	87	26	1	7
		100.0%	2.8%	0.7%	11.9%	60.8%	18.2%	0.7%	4.9%

※高2の保護者が回答



※高2の保護者が回答

「四年制大学進学」と回答するものは、ひとり親世帯で 50.0%であるのに対し、ふたり親世帯で 70.8%となっている（表 44）。

所得階層別にみると、所得階層が高いほど、「四年制大学進学」と回答している。低所得層 I では 43.6%である一方、上位所得層では 86.4%と 8 割を超えていている。他方、所得階層が低くなると、「就職」「専門学校進学」「まだわからない」と回答する傾向がみられる（表 45）。

表 46 学年と教育を受けさせるためのお金の準備のクロス

		合計	教育を受けさせるためのお金の準備						
学年	全体		準備できている	必要なお金はすでに	貯金や学資保険などで	利用する予定である	まったく目処はついていない	その他	不明
	2396	243	1396	283	383	33	58		
	100.0%	10.1%	58.3%	11.8%	16.0%	1.4%	2.4%		
学年	小学5年生	1263	105	787	118	218	16	19	
	中学2年生	1133	138	609	165	165	17	39	
		100.0%	12.2%	53.8%	14.6%	14.6%	1.5%	3.4%	

※小5、中2の保護者が回答

表 47 世帯類型と教育を受けさせるためのお金の準備のクロス

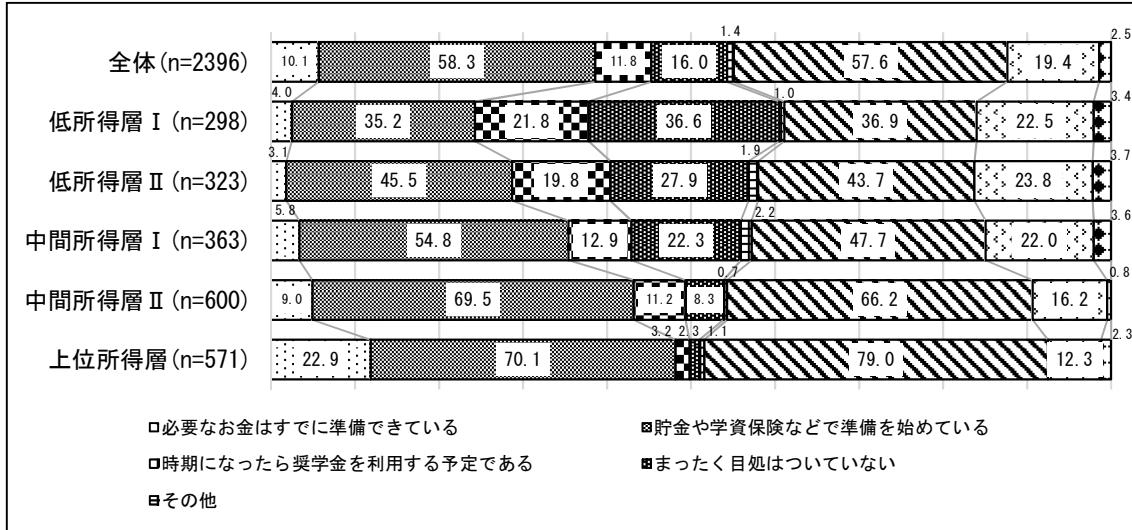
		合計	教育を受けさせるためのお金の準備						
世帯類型	全体		準備できている	必要なお金はすでに	貯金や学資保険などで	利用する予定である	まったく目処はついていない	その他	不明
	2396	243	1396	283	383	33	58		
	100.0%	10.1%	58.3%	11.8%	16.0%	1.4%	2.4%		
世帯類型	ひとり親世帯	351	24	135	78	101	9	4	
	ふたり親世帯	1996	215	1245	200	273	23	40	
	その他世帯	11	0	4	3	4	0	0	
	不明	38	4	12	2	5	1	14	
		100.0%	10.5%	31.6%	5.3%	13.2%	2.6%	36.8%	

※小5、中2の保護者が回答

表48 所得階層と教育を受けさせるためのお金の準備のクロス

		合計	教育を受けさせるためのお金の準備						
			準備できている	必要なお金はすでに	準備を始めている	貯金や学資保険などで	利用する予定である	時期になつたら奨学金を	まったく目処はついていない
全体		2396	243	1396	283	383	33	58	
			100.0%	10.1%	58.3%	11.8%	16.0%	1.4%	2.4%
所得階層	低所得層 I	298	12	105	65	109	3	4	
			100.0%	4.0%	35.2%	21.8%	36.6%	1.0%	1.3%
	低所得層 II	323	10	147	64	90	6	6	
			100.0%	3.1%	45.5%	19.8%	27.9%	1.9%	1.9%
	中間所得層 I	363	21	199	47	81	8	7	
			100.0%	5.8%	54.8%	12.9%	22.3%	2.2%	1.9%
	中間所得層 II	600	54	417	67	50	4	8	
			100.0%	9.0%	69.5%	11.2%	8.3%	0.7%	1.3%
	上位所得層	571	131	400	18	13	6	3	
			100.0%	22.9%	70.1%	3.2%	2.3%	1.1%	0.5%
	不明	241	15	128	22	40	6	30	
			100.0%	6.2%	53.1%	9.1%	16.6%	2.5%	12.4%

※小5.中2の保護者が回答



ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比べて、「貯金や学資保険などで準備を始めている」との回答が少なく（ひとり親世帯では38.5%、ふたり親世帯では62.4%）、「時期になつたら奨学金を利用する予定である」さらには「まったく目処はついていない」と回答する傾向がみられる（「時期になつたら奨学金を利用する予定である」はひとり親世帯では22.2%、ふたり親世帯では10.0%、「まったく目処はついていない」はひとり

親世帯では 28.8%、ふたり親世帯では 13.7%）（表 47）。

所得階層別にみると、所得階層が高いほど、「貯金や学資保険などで準備を始めている」と回答する傾向がみられる。例えば、低所得層 I で 35.2% であるのに対し、上位所得層では 70.1% が回答している。さらに、上位所得層の 2 割を超える世帯（22.9%）が「必要なお金はすでに準備できている」と回答している。他方、所得階層が低くなれば、「時期になったら奨学金を利用する予定である」、さらには「まったく目処はついていない」という回答が多い（「時期になったら奨学金を利用する予定である」は低所得層 I では 21.8%、上位所得層では 3.2%、「まったく目処はついていない」は低所得層 I では 36.6%、上位所得層では 2.3%）。特に、低所得層 I では 3 割を超える世帯が「まったく目処はついていない」と回答している（表 48）。

## 6 相談相手・制度の利用について

表 49 学年と子ども・子育てについての悩みを相談する相手のクロス

		合計	子ども・子育てについての悩みを相談する相手（※複数回答）											
			同居の家族	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人	それ以外の友人・知人	学校の先生	地域の相談員・相談機関	医師等の専門家	SNSのみで交流がある人	その他	相談する人はいない	不明
全体		7282	5403	4637	2258	481	3809	1771	219	410	144	107	184	67
		—	74.2%	63.7%	31.0%	6.6%	52.3%	24.3%	3.0%	5.6%	2.0%	1.5%	2.5%	0.9%
学年	2歳児	1398	1041	976	374	91	722	517	60	77	61	16	38	9
	—	—	74.5%	69.8%	26.8%	6.5%	51.6%	37.0%	4.3%	5.5%	4.4%	1.1%	2.7%	0.6%
	5歳児	1131	828	773	318	100	638	427	35	55	29	13	20	11
	—	—	73.2%	68.3%	28.1%	8.8%	56.4%	37.8%	3.1%	4.9%	2.6%	1.1%	1.8%	1.0%
	小学2年生	1249	996	845	411	97	675	286	49	108	18	27	18	6
	—	—	79.7%	67.7%	32.9%	7.8%	54.0%	22.9%	3.9%	8.6%	1.4%	2.2%	1.4%	0.5%
	小学5年生	1263	943	797	407	64	658	232	36	74	15	25	35	12
	—	—	74.7%	63.1%	32.2%	5.1%	52.1%	18.4%	2.9%	5.9%	1.2%	2.0%	2.8%	1.0%
中学2年生	中学2年生	1133	794	672	385	56	587	194	26	60	15	18	33	16
	—	—	70.1%	59.3%	34.0%	4.9%	51.8%	17.1%	2.3%	5.3%	1.3%	1.6%	2.9%	1.4%
高校2年生	高校2年生	1108	801	574	363	73	529	115	13	36	6	8	40	13
	—	—	72.3%	51.8%	32.8%	6.6%	47.7%	10.4%	1.2%	3.2%	0.5%	0.7%	3.6%	1.2%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 50 世帯類型と子ども・子育てについての悩みを相談する相手のクロス

		合計	子ども・子育てについての悩みを相談する相手（※複数回答）											
			同居の家族	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人	それ以外の友人・知人	学校の先生	地域の相談員・相談機関	医師等の専門家	SNSのみで交流がある人	その他	相談する人はいない	不明
全体		7282	5403	4637	2258	481	3809	1771	219	410	144	107	184	67
		—	74.2%	63.7%	31.0%	6.6%	52.3%	24.3%	3.0%	5.6%	2.0%	1.5%	2.5%	0.9%
世帯類型	ひとり親世帯	805	210	441	296	28	424	141	27	56	18	15	61	12
	—	—	26.1%	54.8%	36.8%	3.5%	52.7%	17.5%	3.4%	7.0%	2.2%	1.9%	7.6%	1.5%
	ふたり親世帯	6371	5128	4148	1939	445	3342	1616	189	348	125	88	118	43
	—	—	80.5%	65.1%	30.4%	7.0%	52.5%	25.4%	3.0%	5.5%	2.0%	1.4%	1.9%	0.7%
その他世帯	その他世帯	41	32	18	12	3	21	7	2	3	1	2	1	1
	—	—	78.0%	43.9%	29.3%	7.3%	51.2%	17.1%	4.9%	7.3%	2.4%	4.9%	2.4%	2.4%
不明	不明	65	33	30	11	5	22	7	1	3	0	2	4	11
	—	—	50.8%	46.2%	16.9%	7.7%	33.8%	10.8%	1.5%	4.6%	0.0%	3.1%	6.2%	16.9%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 51 所得階層と子ども・子育てについての悩みを相談する相手のクロス

	合計	子ども・子育てについての悩みを相談する相手（※複数回答）												
		同居の家族	同居していない家族・親戚	職場の人	近所の人	それ以外の友人・知人	学校の先生	地域の相談員・相談機関	医師等の専門家	SNSのみで交流がある人	その他	相談する人はいない	不明	
全体	7282	5403	4637	2258	481	3809	1771	219	410	144	107	184	67	
	—	74.2%	63.7%	31.0%	6.6%	52.3%	24.3%	3.0%	5.6%	2.0%	1.5%	2.5%	0.9%	
所得階層	低所得層 I	842	416	469	248	46	434	169	34	50	27	17	42	8
	—	49.4%	55.7%	29.5%	5.5%	51.5%	20.1%	4.0%	5.9%	3.2%	2.0%	5.0%	1.0%	
	低所得層 II	1040	745	688	291	62	574	259	39	54	36	9	37	9
	—	71.6%	66.2%	28.0%	6.0%	55.2%	24.9%	3.8%	5.2%	3.5%	0.9%	3.6%	0.9%	
	中間所得層 I	1122	856	756	355	80	604	290	41	68	19	17	23	4
	—	76.3%	67.4%	31.6%	7.1%	53.8%	25.8%	3.7%	6.1%	1.7%	1.5%	2.0%	0.4%	
所得階層	中間所得層 II	1905	1519	1251	632	124	1025	499	55	106	35	24	38	6
	—	79.7%	65.7%	33.2%	6.5%	53.8%	26.2%	2.9%	5.6%	1.8%	1.3%	2.0%	0.3%	
所得階層	上位所得層	1672	1366	1049	571	118	849	429	42	101	15	30	22	4
	—	81.7%	62.7%	34.2%	7.1%	50.8%	25.7%	2.5%	6.0%	0.9%	1.8%	1.3%	0.2%	
所得階層	不明	701	501	424	161	51	323	125	8	31	12	10	22	36
	—	71.5%	60.5%	23.0%	7.3%	46.1%	17.8%	1.1%	4.4%	1.7%	1.4%	3.1%	5.1%	

※2歳・5歳・小2・小5・中2・高2の保護者が回答

回答者のほとんどが何らかの相談相手を持っている。「相談する人はいない」と回答したものは2.5%である。

相談相手は「同居の家族（74.2%）」「同居していない家族・親戚（63.7%）」が高い比率を示し、家族、親族が相談相手として選ばれることが一般的である。

家族、親族以外では、「友人・知人（職場、近所以外）」が52.3%と多い。「近所の人（6.6%）」は少数にとどまる。

上記は年齢・学年段階別に大きな違いはない（表49）。

「学校（保育園・幼稚園）の先生（24.3%）」は年齢・学年段階が低いほど比率が高い（2歳児保護者では37.0%、高2保護者では10.4%）。「地域の相談員・相談機関（3.0%）」は少数であるが、2歳児・5歳児保護者にやや高い（2歳児保護者では4.3%、5歳児保護者では3.1%）。

「SNSのみで交流がある人（2.0%）」は少数であるが、2歳児保護者に多い（4.4%）。世帯類型別にみると、ひとり親世帯は「同居の家族」が26.1%と少なく、「相談する人はいない」が7.6%と相対的に高いことが特徴である。ふたり親世帯は「同居の家族」が80.5%と高い。

所得階層別にみると、「相談する人はいない」が、上位所得層では1.3%であるのに対し低所得層Iでは5.0%と、低所得層に相対的に高い。

「医師等の専門家（5.6%）」は全体から見ると少数であるが、年齢、世帯類型、所得階層ごとの比率の差は小さい。

表 52 学年と子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）								
			して いる こと があ る ・ 利 用	利 用 す る 必 要 が な か っ た							
全体		6174	183	4749	16	48	125	292	370	199	192
		100. 0%	3. 0%	76. 9%	0. 3%	0. 8%	2. 0%	4. 7%	6. 0%	3. 2%	3. 1%
学年	2歳児	1398	19	1039	6	9	32	102	132	40	19
		100. 0%	1. 4%	74. 3%	0. 4%	0. 6%	2. 3%	7. 3%	9. 4%	2. 9%	1. 4%
	5歳児	1131	37	880	5	6	29	52	68	23	31
		100. 0%	3. 3%	77. 8%	0. 4%	0. 5%	2. 6%	4. 6%	6. 0%	2. 0%	2. 7%
	小学2年生	1249	38	958	3	9	20	45	78	54	44
		100. 0%	3. 0%	76. 7%	0. 2%	0. 7%	1. 6%	3. 6%	6. 2%	4. 3%	3. 5%
小学5年生		1263	43	993	2	14	25	55	56	32	43
		100. 0%	3. 4%	78. 6%	0. 2%	1. 1%	2. 0%	4. 4%	4. 4%	2. 5%	3. 4%
中学2年生		1133	46	879	0	10	19	38	36	50	55
		100. 0%	4. 1%	77. 6%	0. 0%	0. 9%	1. 7%	3. 4%	3. 2%	4. 4%	4. 9%

※2歳、5歳、小2、小5、中2の保護者が回答

表53 世帯類型と子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）								
			利用している ことがある・ 利用	利用する 必要がなかっ た	利用したかっ たが条件を満 たしていなかっ た	利用したかっ たが条件を満 たしていなかっ た	利用時間や制度・ サービス	が使いつらかっ た	た 利用するのに抵抗感があっ つ	利用した た 利用のしかたがわからなか つた	制度やサービスにつ いてま つたく知らなかつた
全体		6174	183	4749	16	48	125	292	370	199	192
		100.0%	3.0%	76.9%	0.3%	0.8%	2.0%	4.7%	6.0%	3.2%	3.1%
世帯 類型	ひとり親世帯	623	20	383	2	9	31	45	60	43	30
		100.0%	3.2%	61.5%	0.3%	1.4%	5.0%	7.2%	9.6%	6.9%	4.8%
	ふたり親世帯	5467	162	4313	14	39	92	245	306	151	145
		100.0%	3.0%	78.9%	0.3%	0.7%	1.7%	4.5%	5.6%	2.8%	2.7%
その他世帯	その他世帯	28	1	20	0	0	2	1	2	0	2
		100.0%	3.6%	71.4%	0.0%	0.0%	7.1%	3.6%	7.1%	0.0%	7.1%
不明	不明	56	0	33	0	0	0	1	2	5	15
		100.0%	0.0%	58.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	3.6%	8.9%	26.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2の保護者が回答

表 54 所得階層と子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（子ども食堂）										
			利用している	利用する必要がなかった	していなかつた	利用したかったが条件を満た	使いづらかつた	利用時間や制度・サービスが	利用するのに抵抗感があつた	たた利用のしかたがわからなかつた	制度やサービスについてまつたく知らなかつた	制度やサービスがなかつた	不明
全体		6174	183 100.0%	4749 76.9%	16 0.3%	48 0.8%	125 2.0%	292 4.7%	370 6.0%	199 3.2%	192 3.1%		
所得階層	低所得層 I	693 100.0%	29 4.2%	430 62.0%	1 0.1%	6 0.9%	35 5.1%	56 8.1%	69 10.0%	42 6.1%	25 3.6%		
	低所得層 II	909 100.0%	29 3.2%	652 71.7%	8 0.9%	16 1.8%	27 3.0%	46 5.1%	76 8.4%	31 3.4%	24 2.6%		
	中間所得層 I	999 100.0%	35 3.5%	773 77.4%	3 0.3%	7 0.7%	20 2.0%	57 5.7%	52 5.2%	34 3.4%	18 1.8%		
	中間所得層 II	1616 100.0%	38 2.4%	1322 81.8%	1 0.1%	13 0.8%	18 1.1%	62 3.8%	90 5.6%	48 3.0%	24 1.5%		
	上位所得層	1399 100.0%	39 2.8%	1192 85.2%	1 0.1%	6 0.4%	14 1.0%	44 3.1%	51 3.6%	32 2.3%	20 1.4%		
	不明	558 100.0%	13 2.3%	380 68.1%	2 0.4%	0 0.0%	0 2.0%	11 4.8%	27 5.7%	32 2.2%	12 14.5%	81	

※2歳、5歳、小2、小5、中2の保護者が回答

「利用したことがある・利用している」は3.0%で、全体の中では少数である。世帯類型別、所得階層別にみても利用状況に大きな差はない。

「利用する必要がなかった」は76.9%で、全体の3/4を占める。世帯類型別には、ひとり親世帯、所得階層別には低所得層が「利用する必要がなかった」と回答する比率が低い(ひとり親世帯では61.5%、ふたり親世帯では78.9%、低所得層 I では62.0%、上位所得層では85.2%)。

「必要がなかった」以外の利用していない理由は、「制度やサービスについて知らなかつた(6.0%)」「利用の仕方がわからなかつた(4.7%)」「制度やサービスがなかつた(3.2%)」といったサービス共有と情報提供の問題に関わることが多い。「抵抗感があつた(2.0%)」は全体では少数であるが、ひとり親世帯、低所得層 I にやや高い(ひとり親世帯では5.0%、ふたり親世帯では1.7%、低所得層 I では5.1%、上位所得層では1.0%)。

表 55 学年と子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）											
			利用していることがある・利用	利用する必要がなかつた	たしていなかつた	利用したかったが条件を満	が使いづらかつた	利用時間や制度・サービス	た	利用するのに抵抗感があつた	つた	利用のしかたがわからなか	制度やサービスについてまつたく知らなかつた	制度やサービスがなかつた
全体		3645	74	2421	18	36	40	181	568	161	146			
		100.0%	2.0%	66.4%	0.5%	1.0%	1.1%	5.0%	15.6%	4.4%	4.0%			
学年	小学2年生	1249	18	809	2	8	10	60	238	60	44			
		100.0%	1.4%	64.8%	0.2%	0.6%	0.8%	4.8%	19.1%	4.8%	3.5%			
	小学5年生	1263	25	853	4	16	17	74	186	42	46			
		100.0%	2.0%	67.5%	0.3%	1.3%	1.3%	5.9%	14.7%	3.3%	3.6%			
	中学2年生	1133	31	759	12	12	13	47	144	59	56			
		100.0%	2.7%	67.0%	1.1%	1.1%	1.1%	4.1%	12.7%	5.2%	4.9%			

※小2, 小5, 中2の保護者が回答

表 56 世帯類型と子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）											
			利用していることがある・利用	利用する必要がなかつた	たしていなかつた	利用したかったが条件を満	が使いづらかつた	利用時間や制度・サービス	た	利用するのに抵抗感があつた	つた	利用のしかたがわからなか	制度やサービスについてまつたく知らなかつた	制度やサービスがなかつた
全体		3645	74	2421	18	36	40	181	568	161	146			
		100.0%	2.0%	66.4%	0.5%	1.0%	1.1%	5.0%	15.6%	4.4%	4.0%			
世帯類型	ひとり親世帯	470	30	224	1	16	18	41	93	24	23			
		100.0%	6.4%	47.7%	0.2%	3.4%	3.8%	8.7%	19.8%	5.1%	4.9%			
	ふたり親世帯	3116	43	2170	17	20	21	137	468	131	109			
		100.0%	1.4%	69.6%	0.5%	0.6%	0.7%	4.4%	15.0%	4.2%	3.5%			
	その他世帯	15	0	8	0	0	1	1	3	1	1			
		100.0%	0.0%	53.3%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%			
	不明	44	1	19	0	0	0	2	4	5	13			
		100.0%	2.3%	43.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	9.1%	11.4%	29.5%			

※小2, 小5, 中2の保護者が回答

表 57 所得階層と子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）のクロス

		合計	子育てに関する制度やサービスの利用状況（無料の学習支援）									
			利用している	利用する必要がなかった	たしていなかつた	利用したかったが条件を満	が使いづらかつた	利用時間や制度・サービス	た	利用するのに抵抗感があつた	利用のしかたがわからなか	制度やサービスについてま
全体		3645	74	2421	18	36	40	181	568	161	146	
		100.0%	2.0%	66.4%	0.5%	1.0%	1.1%	5.0%	15.6%	4.4%	4.0%	
所得階層	低所得層Ⅰ	438	22	216	1	13	19	38	91	19	19	
		100.0%	5.0%	49.3%	0.2%	3.0%	4.3%	8.7%	20.8%	4.3%	4.3%	
	低所得層Ⅱ	496	20	286	5	9	9	27	96	28	16	
		100.0%	4.0%	57.7%	1.0%	1.8%	1.8%	5.4%	19.4%	5.6%	3.2%	
	中間所得層Ⅰ	556	9	358	5	3	5	34	104	26	12	
		100.0%	1.6%	64.4%	0.9%	0.5%	0.9%	6.1%	18.7%	4.7%	2.2%	
	中間所得層Ⅱ	898	10	637	5	5	2	35	135	45	24	
		100.0%	1.1%	70.9%	0.6%	0.6%	0.2%	3.9%	15.0%	5.0%	2.7%	
	上位所得層	885	8	703	1	2	2	30	96	30	13	
		100.0%	0.9%	79.4%	0.1%	0.2%	0.2%	3.4%	10.8%	3.4%	1.5%	
	不明	372	5	221	1	4	3	17	46	13	62	
		100.0%	1.3%	59.4%	0.3%	1.1%	0.8%	4.6%	12.4%	3.5%	16.7%	

※小2, 小5, 中2の保護者が回答

「利用したことがある・利用している」は 2.0% で、全体の中では少数である。世帯類型別、所得階層別にみると、ひとり親世帯（6.4%）、低所得層Ⅰ（5.0%）、低所得層Ⅱ（4.0%）が相対的に多い。

「利用する必要がなかった」は 66.4% で、全体の 2/3 を占める。「子ども食堂」と同様、世帯類型別にはひとり親世帯、所得階層別には低所得層が「利用する必要がなかった」と回答する比率が低い（ひとり親世帯では 47.7%、ふたり親世帯では 69.6%、低所得層Ⅰ では 49.3%、上位所得層では 79.4%）。

「必要がなかった」以外の利用していない理由は、「子ども食堂」と同様に「制度やサービスについて知らなかつた（15.6%）」「利用の仕方がわからなかつた（5.0%）」「制度やサービスがなかつた（4.4%）」といったサービス共有と情報提供の問題に関わることが多い。「抵抗感があつた（1.1%）」「使いづらかつた（1.0%）」は全体では少数であるが、ひとり親世帯、低所得層Ⅰ にやや高い（「抵抗感があつた」はひとり親世帯では 3.8%、ふたり親世帯では 0.7%、低所得層Ⅰ では 4.3%、上位所得層では 0.2%、「使いづらかつた」はひとり親世帯では 3.4%、ふたり親世帯では 0.6%、低所得層Ⅰ では 3.0%、上位所得層では 0.2%）。

表 58 学年と手当等の制度利用（生活保護）のクロス

		合計	手当等の制度利用（生活保護）									
			用して いる 利 用 し た こ と が あ る ・ 利	利 用 す る 必 要 が な か つ た	利 用 し た か つ た が 満 た し て い な か つ た	利 用 し た か つ た が 制 度 を	使 い づ ら か つ た が 利 用 し た か つ た が 制 度 が	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 の し か た が わ か ら な か つ た	利 用 の し か た が わ か ら な か つ た	制 度 や サ ー ビ ス に つ い て ま つ た く 知 ら な か つ た
	全体	7282	232	6514	103	16	74	43	48	252		
		100.0%	3.2%	89.5%	1.4%	0.2%	1.0%	0.6%	0.7%	3.5%		
学年	2歳児	1398	20	1270	20	3	20	17	17	31		
		100.0%	1.4%	90.8%	1.4%	0.2%	1.4%	1.2%	1.2%	2.2%		
	5歳児	1131	21	1042	12	1	11	5	7	32		
		100.0%	1.9%	92.1%	1.1%	0.1%	1.0%	0.4%	0.6%	2.8%		
	小学2年生	1249	45	1134	14	0	13	8	3	32		
		100.0%	3.6%	90.8%	1.1%	0.0%	1.0%	0.6%	0.2%	2.6%		
学年	小学5年生	1263	64	1125	18	3	10	3	6	34		
		100.0%	5.1%	89.1%	1.4%	0.2%	0.8%	0.2%	0.5%	2.7%		
	中学2年生	1133	47	1004	18	1	7	4	5	47		
		100.0%	4.1%	88.6%	1.6%	0.1%	0.6%	0.4%	0.4%	4.1%		
	高校2年生	1108	35	939	21	8	13	6	10	76		
		100.0%	3.2%	84.7%	1.9%	0.7%	1.2%	0.5%	0.9%	6.9%		

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 59 世帯類型と手当等の制度利用（生活保護）のクロス

		合計	手当等の制度利用（生活保護）									
			用して いる 利 用 し た こ と が あ る ・ 利	利 用 す る 必 要 が な か つ た	利 用 し た か つ た が 満 た し て い な か つ た	利 用 し た か つ た が 制 度 を	使 い づ ら か つ た が 利 用 し た か つ た が 制 度 が	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 の し か た が わ か ら な か つ た	利 用 の し か た が わ か ら な か つ た	制 度 や サ ー ビ ス に つ い て ま つ た く 知 ら な か つ た
	全体	7282	232	6514	103	16	74	43	48	252		
		100.0%	3.2%	89.5%	1.4%	0.2%	1.0%	0.6%	0.7%	3.5%		
世帯類型	ひとり親世帯	805	159	513	35	7	32	9	5	45		
		100.0%	19.8%	63.7%	4.3%	0.9%	4.0%	1.1%	0.6%	5.6%		
	ふたり親世帯	6371	69	5922	65	8	40	34	42	191		
		100.0%	1.1%	93.0%	1.0%	0.1%	0.6%	0.5%	0.7%	3.0%		
その他世帯	その他世帯	41	3	33	1	0	0	0	0	0	4	
		100.0%	7.3%	80.5%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%		
不明	不明	65	1	46	2	1	2	0	1	12		
		100.0%	1.5%	70.8%	3.1%	1.5%	3.1%	0.0%	1.5%	18.5%		

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 60 所得階層と手当等の制度利用（生活保護）のクロス

		合計	手当等の制度利用（生活保護）										
			用して いる こと が あ る ・ 利	利 用 す る 必 要 が な か つ た	満 た し て い な か つ た	利 用 し た か つ た が 条 件 を	使 い づ ら か つ た	利 用 し た か つ た が 制 度 が	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	か つ た	利 用 の し か た が わ か ら な	制 度 や サ ー ビ ス に ま つ た く 知 ら な か つ た
	全体	7282	232	6514	103	16	74	43	48	252			
		100. 0%	3. 2%	89. 5%	1. 4%	0. 2%	1. 0%	0. 6%	0. 7%	3. 5%			
所得階層	低所得層 I	842	122	558	43	10	45	13	8	43			
		100. 0%	14. 5%	66. 3%	5. 1%	1. 2%	5. 3%	1. 5%	1. 0%	5. 1%			
	低所得層 II	1040	58	900	25	1	9	13	7	27			
		100. 0%	5. 6%	86. 5%	2. 4%	0. 1%	0. 9%	1. 3%	0. 7%	2. 6%			
	中間所得層 I	1122	9	1051	12	1	7	4	11	27			
		100. 0%	0. 8%	93. 7%	1. 1%	0. 1%	0. 6%	0. 4%	1. 0%	2. 4%			
	中間所得層 II	1905	7	1827	11	3	5	9	10	33			
		100. 0%	0. 4%	95. 9%	0. 6%	0. 2%	0. 3%	0. 5%	0. 5%	1. 7%			
	上位所得層	1672	6	1639	5	0	0	1	8	13			
		100. 0%	0. 4%	98. 0%	0. 3%	0. 0%	0. 0%	0. 1%	0. 5%	0. 8%			
	不明	701	30	539	7	1	8	3	4	109			
		100. 0%	4. 3%	76. 9%	1. 0%	0. 1%	1. 1%	0. 4%	0. 6%	15. 5%			

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

「利用したことがある・利用している」は3.2%で、全体の中では少数である。生活保護基準以下の所得層を対象とした制度であることから、ひとり親世帯（19.8%）、低所得層 I（14.5%）、低所得層 II（5.6%）に利用層が集中している。

「利用する必要がなかった」は89.5%で、全体の約9割を占める。不明の3.5%を除くと、全体の3.9%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。

ひとり親世帯では「利用する必要はなかった」は63.7%で、不明の5.6%を除くと、全体の10.9%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由は「条件を満たしていなかった（4.3%）」「抵抗感があった（4.0%）」が多い。

低所得層 Iでは、「利用する必要はなかった」は66.3%で、不明の5.1%を除くと、全体の14.1%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由はひとり親世帯と同様に「条件を満たしていなかった（5.1%）」「抵抗感があった（5.3%）」が多い。

表 61 学年と手当等の制度利用（就学援助）のクロス

		合計	手当等の制度利用（就学援助）										
			用して いる 利 用 し た こ と が あ る ・ 利	利 用 す る 必 要 が な か つ た	満 た し て い な か つ た	利 用 し た か つ た が 条 件 を	使 い づ ら か つ た	利 用 し た か つ た が 制 度 が	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 の し か た が わ か ら な か つ た	利 用 の し か た が わ か ら な か つ た	制 度 や サ ー ビ ス に つ い て ま つ た く 知 ら な か つ た
	全体	4753	819	3401	198	10	18	48	72	187			
		100.0%	17.2%	71.6%	4.2%	0.2%	0.4%	1.0%	1.5%	3.9%			
学年	小学2年生	1249	157	972	50	3	3	13	16	35			
		100.0%	12.6%	77.8%	4.0%	0.2%	0.2%	1.0%	1.3%	2.8%			
	小学5年生	1263	213	938	38	1	5	12	24	32			
		100.0%	16.9%	74.3%	3.0%	0.1%	0.4%	1.0%	1.9%	2.5%			
中学2年生	中学2年生	1133	215	789	56	0	3	10	13	47			
		100.0%	19.0%	69.6%	4.9%	0.0%	0.3%	0.9%	1.1%	4.1%			
高校2年生	高校2年生	1108	234	702	54	6	7	13	19	73			
		100.0%	21.1%	63.4%	4.9%	0.5%	0.6%	1.2%	1.7%	6.6%			

※小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

表 62 世帯類型と手当等の制度利用（就学援助）のクロス

		合計	手当等の制度利用（就学援助）										
			用して いる 利 用 し た こ と が あ る ・ 利	利 用 す る 必 要 が な か つ た	満 た し て い な か つ た	利 用 し た か つ た が 条 件 を	使 い づ ら か つ た	利 用 し た か つ た が 制 度 が	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 す る の に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 の し か た が わ か ら な か つ た	利 用 の し か た が わ か ら な か つ た	制 度 や サ ー ビ ス に つ い て ま つ た く 知 ら な か つ た
	全体	4753	819	3401	198	10	18	48	72	187			
		100.0%	17.2%	71.6%	4.2%	0.2%	0.4%	1.0%	1.5%	3.9%			
世帯類型	ひとり親世帯	652	381	161	31	1	3	15	20	40			
		100.0%	58.4%	24.7%	4.8%	0.2%	0.5%	2.3%	3.1%	6.1%			
	ふたり親世帯	4020	425	3197	166	9	14	29	47	133			
		100.0%	10.6%	79.5%	4.1%	0.2%	0.3%	0.7%	1.2%	3.3%			
その他世帯	その他世帯	28	9	12	1	0	0	1	1	4			
		100.0%	32.1%	42.9%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	14.3%			
不明	不明	53	4	31	0	0	1	3	4	10			
		100.0%	7.5%	58.5%	0.0%	0.0%	1.9%	5.7%	7.5%	18.9%			

※小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

表 63 所得階層と手当等の制度利用（就学援助）のクロス

		合計	手当等の制度利用（就学援助）									
			用して いる	利 用し たこと が有 る・ 利	利 用す る必 要が な か つ た	満 たし て い な か つ た	利 用し たか つ た が 条 件 を	使 い づ ら か つ た	利 用し たか つ た が 制 度 が	利 用す るの に 抵 抗 感 が あ つ た	利 用 し か た が わ か ら な か つ た	制 度 や サ ー ビ ス に つ い て ま つ た く 知 ら な か つ た
	全体	4753	819	3401	198	10	18	48	72	187		
		100.0%	17.2%	71.6%	4.2%	0.2%	0.4%	1.0%	1.5%	3.9%		
所得階層	低所得層 I	587	341	163	18	4	3	12	16	30		
		100.0%	58.1%	27.8%	3.1%	0.7%	0.5%	2.0%	2.7%	5.1%		
	低所得層 II	627	214	313	49	2	7	14	8	20		
		100.0%	34.1%	49.9%	7.8%	0.3%	1.1%	2.2%	1.3%	3.2%		
	中間所得層 I	679	106	482	51	2	3	8	12	15		
		100.0%	15.6%	71.0%	7.5%	0.3%	0.4%	1.2%	1.8%	2.2%		
	中間所得層 II	1187	76	1007	49	1	2	3	25	24		
		100.0%	6.4%	84.8%	4.1%	0.1%	0.2%	0.3%	2.1%	2.0%		
	上位所得層	1158	18	1106	15	1	0	3	5	10		
		100.0%	1.6%	95.5%	1.3%	0.1%	0.0%	0.3%	0.4%	0.9%		
	不明	515	64	330	16	0	3	8	6	88		
		100.0%	12.4%	64.1%	3.1%	0.0%	0.6%	1.6%	1.2%	17.1%		

※小2, 小5, 中2, 高2の保護者が回答

「利用したことがある・利用している」は 17.2%である。ひとり親世帯（58.4%）、低所得層 I（58.1%）、低所得層 II（34.1%）では特に利用者が多い。

「利用する必要がなかった」は 71.6%で、全体の約 7 割を占める。不明の 3.9%を除くと、全体の 7.3%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。

ひとり親世帯では「利用する必要はなかった」は 24.7%で、不明の 6.1%を除くと、全体の 10.7%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由は「条件を満たしていなかった（4.8%）」「利用の仕方がわからなかった（2.3%）」「制度やサービスについて知らなかった（3.1%）」が多い。

低所得層 I では、「利用する必要はなかった」は 27.8%で、不明の 5.1%を除くと、全体の 9.0%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由はひとり親世帯と同様に「条件を満たしていなかった（3.1%）」「利用の仕方がわからなかった（2.0%）」「制度やサービスについて知らなかった（2.7%）」が多い。

## 7 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について

表 64 学年と生活や心身への影響があったか（A 母親の仕事への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか A 母親の仕事への影響（※複数回答）						
			失業した・仕事をやめた	休業した	一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない
全体		7119	249	1105	724	405	16	4686	229
		—	3.5%	15.5%	10.2%	5.7%	0.2%	65.8%	3.2%
学年	2歳児	1388	52	196	96	57	2	1010	32
		—	3.7%	14.1%	6.9%	4.1%	0.1%	72.8%	2.3%
	5歳児	1114	38	223	124	59	2	698	31
		—	3.4%	20.0%	11.1%	5.3%	0.2%	62.7%	2.8%
	小学2年生	1233	40	217	123	67	2	791	48
		—	3.2%	17.6%	10.0%	5.4%	0.2%	64.2%	3.9%
	小学5年生	1224	46	203	110	83	7	774	35
		—	3.8%	16.6%	9.0%	6.8%	0.6%	63.2%	2.9%
	中学2年生	1093	33	146	135	76	2	700	42
		—	3.0%	13.4%	12.4%	7.0%	0.2%	64.0%	3.8%
	高校2年生	1067	40	120	136	63	1	713	41
		—	3.7%	11.2%	12.7%	5.9%	0.1%	66.8%	3.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

表 65 世帯類型と生活や心身への影響があったか（A 母親の仕事への影響）のクロス

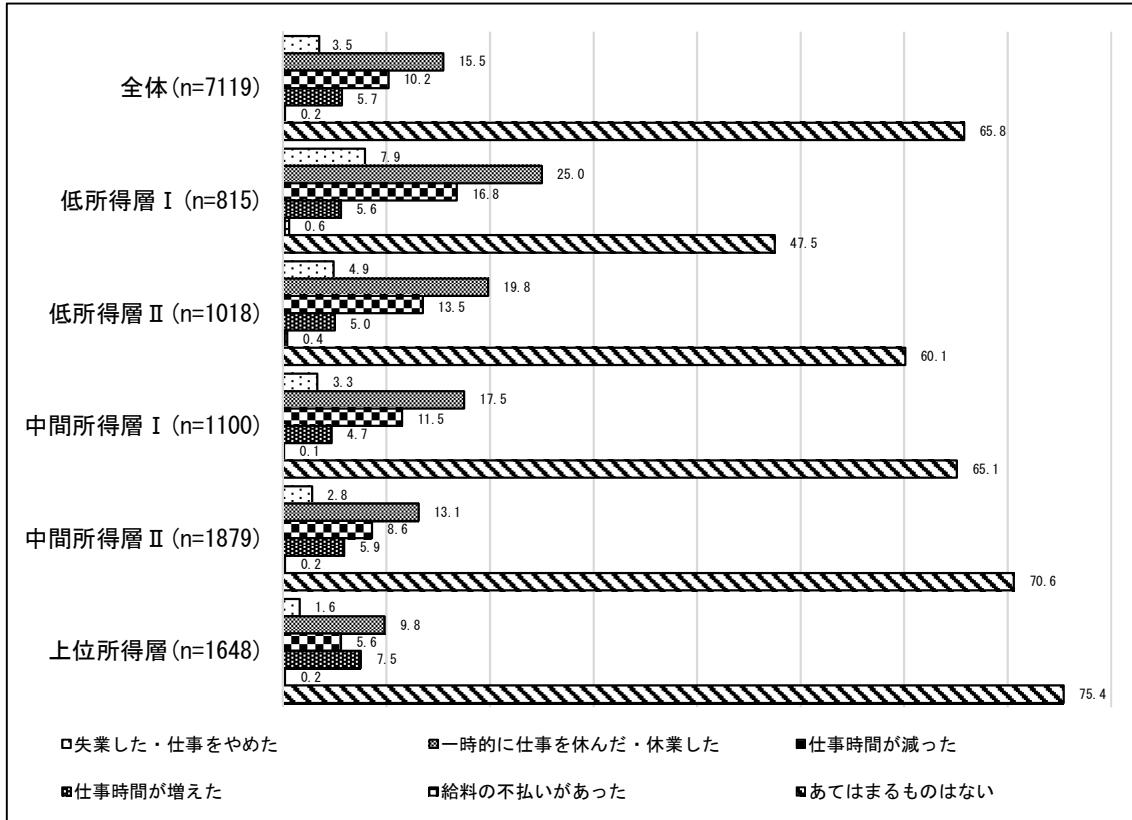
		合計	生活や心身への影響があったか A 母親の仕事への影響（※複数回答）						
			失業した・仕事をやめた	休業した	一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない
全体		7119	249	1105	724	405	16	4686	229
		—	3.5%	15.5%	10.2%	5.7%	0.2%	65.8%	3.2%
世帯類型	ひとり親世帯	734	47	156	107	60	5	361	37
		—	6.4%	21.3%	14.6%	8.2%	0.7%	49.2%	5.0%
	ふたり親世帯	6371	201	947	615	345	11	4316	191
	その他世帯	14	1	2	2	0	0	9	1
		—	7.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	64.3%	7.1%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

表 66 所得階層と生活や心身への影響があったか (A 母親の仕事への影響) のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか A 母親の仕事への影響 (※複数回答)						
			失業した・仕事をやめた	一時的に仕事を休んだ・休業した	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない	不明
全体		7119	249	1105	724	405	16	4686	229
		—	3.5%	15.5%	10.2%	5.7%	0.2%	65.8%	3.2%
所得階層	低所得層 I	815	64	204	137	46	5	387	34
		—	7.9%	25.0%	16.8%	5.6%	0.6%	47.5%	4.2%
	低所得層 II	1018	50	202	137	51	4	612	27
		—	4.9%	19.8%	13.5%	5.0%	0.4%	60.1%	2.7%
	中間所得層 I	1100	36	193	127	52	1	716	22
		—	3.3%	17.5%	11.5%	4.7%	0.1%	65.1%	2.0%
	中間所得層 II	1879	52	247	161	111	3	1327	38
		—	2.8%	13.1%	8.6%	5.9%	0.2%	70.6%	2.0%
	上位所得層	1648	26	161	93	124	3	1243	31
		—	1.6%	9.8%	5.6%	7.5%	0.2%	75.4%	1.9%
	不明	659	21	98	69	21	0	401	77
		—	3.2%	14.9%	10.5%	3.2%	0.0%	60.8%	11.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（父子世帯を除く）が回答

「失業した・仕事をやめた」は全体で 3.5%。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯に、より失業や休業等への影響がある（「失業した・仕事をやめた」はひとり親世帯では 6.4%、ふたり親世帯では 3.2%、「一時的に仕事を休んだ・休業した」はひとり親世帯では 21.3%、ふたり親世帯では 14.9%）（表 65）。

所得階層別にみると、低所得層に、より失業や休業への影響がある（「失業した・仕事をやめた」は低所得層 I では 7.9%、上位所得層では 1.6%、「一時的に仕事を休んだ・休業した」は低所得層 I では 25.0%、上位所得層では 9.8%）（表 66）。

表 67 学年と生活や心身への影響があったか（B 父親の仕事への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか B 父親の仕事への影響（※複数回答）						
			失業した・仕事をやめた	休業した	一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない
全体		6449	91	514	771	402	20	4634	178
		—	1.4%	8.0%	12.0%	6.2%	0.3%	71.9%	2.8%
学年	2歳児	1317	25	121	173	99	5	928	16
		—	1.9%	9.2%	13.1%	7.5%	0.4%	70.5%	1.2%
	5歳児	1045	12	103	127	58	4	759	19
		—	1.1%	9.9%	12.2%	5.6%	0.4%	72.6%	1.8%
	小学2年生	1130	18	92	142	79	2	794	31
		—	1.6%	8.1%	12.6%	7.0%	0.2%	70.3%	2.7%
	小学5年生	1075	15	70	110	67	4	792	32
		—	1.4%	6.5%	10.2%	6.2%	0.4%	73.7%	3.0%
	中学2年生	956	8	72	122	52	3	680	41
		—	0.8%	7.5%	12.8%	5.4%	0.3%	71.1%	4.3%
	高校2年生	926	13	56	97	47	2	681	39
		—	1.4%	6.0%	10.5%	5.1%	0.2%	73.5%	4.2%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

表 68 世帯類型と生活や心身への影響があったか（B 父親の仕事への影響）のクロス

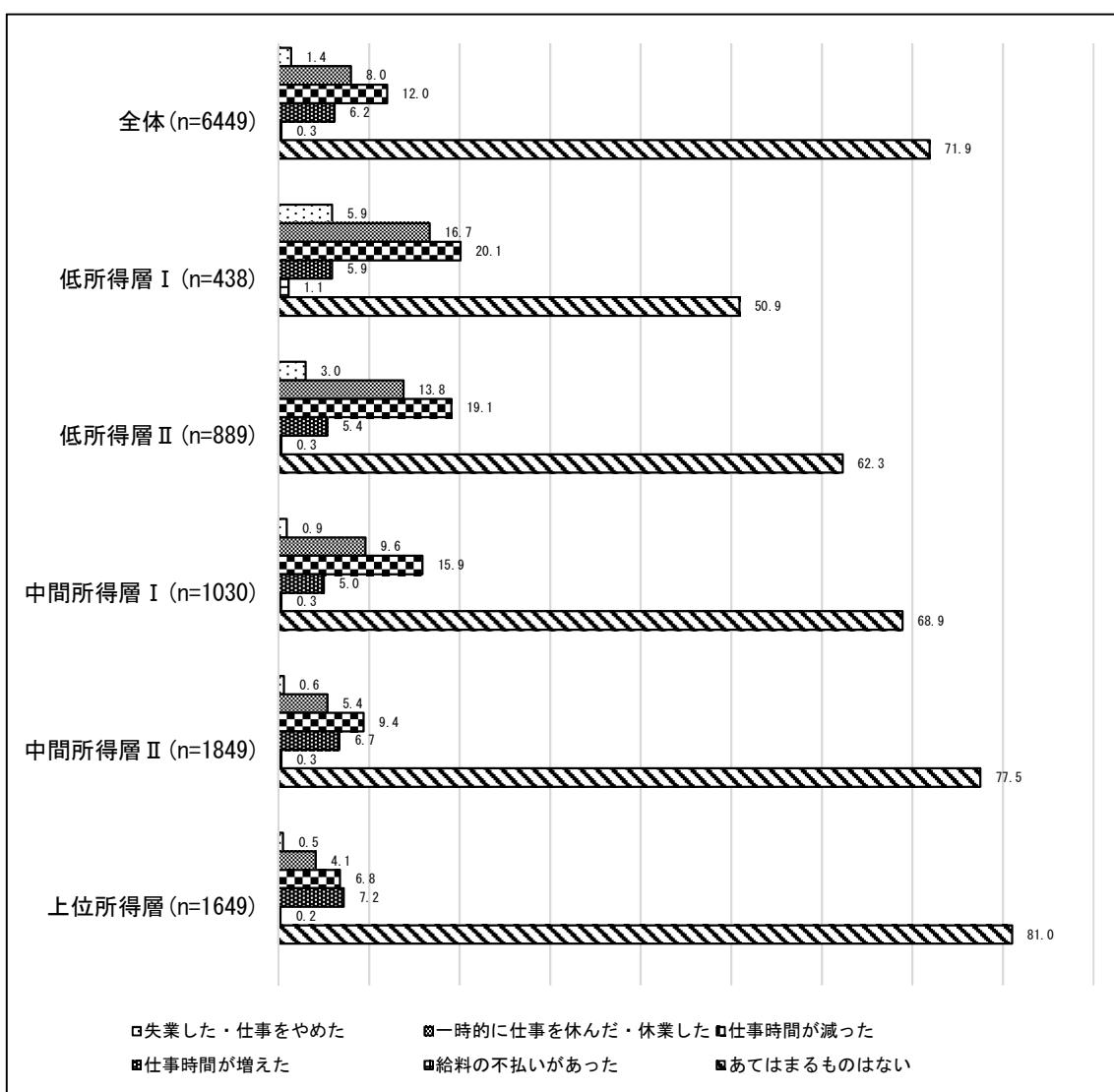
		合計	生活や心身への影響があったか B 父親の仕事への影響（※複数回答）						
			失業した・仕事をやめた	休業した	一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない
全体		6449	91	514	771	402	20	4634	178
		—	1.4%	8.0%	12.0%	6.2%	0.3%	71.9%	2.8%
世帯類型	ひとり親世帯	71	0	7	9	5	0	45	7
		—	0.0%	9.9%	12.7%	7.0%	0.0%	63.4%	9.9%
	ふたり親世帯	6371	91	507	761	397	20	4584	170
その他世帯		7	0	0	1	0	0	5	1
		—	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

表 69 所得階層と生活や心身への影響があったか（B 父親の仕事への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか B 父親の仕事への影響（※複数回答）						
			失業した・仕事をやめた	休業した	一時的に仕事を休んだ・	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあった	あてはまるものはない
全体		6449	91	514	771	402	20	4634	178
		—	1.4%	8.0%	12.0%	6.2%	0.3%	71.9%	2.8%
所得階層	低所得層Ⅰ	438	26	73	88	26	5	223	27
		—	5.9%	16.7%	20.1%	5.9%	1.1%	50.9%	6.2%
	低所得層Ⅱ	889	27	123	170	48	3	554	11
		—	3.0%	13.8%	19.1%	5.4%	0.3%	62.3%	1.2%
	中間所得層Ⅰ	1030	9	99	164	52	3	710	22
		—	0.9%	9.6%	15.9%	5.0%	0.3%	68.9%	2.1%
中間所得層Ⅱ		1849	12	99	173	123	6	1433	29
		—	0.6%	5.4%	9.4%	6.7%	0.3%	77.5%	1.6%
上位所得層		1649	8	68	112	118	3	1335	24
		—	0.5%	4.1%	6.8%	7.2%	0.2%	81.0%	1.5%
不明		594	9	52	64	35	0	379	65
		—	1.5%	8.8%	10.8%	5.9%	0.0%	63.8%	10.9%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者（母子世帯を除く）が回答

学年、世帯類型、所得階層ともに、影響の偏りはみられない。

前記の母親の仕事への方が大きな影響がある。

表 70 学年と生活や心身への影響があったか (C回答者自身への影響) のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか C回答者自身への影響 (※複数回答)										
			すくなつた	体調をくずした・くずしや	気持ちが沈みがちになつた	病院にかかりにくくなつた	が増えた	子育てや子どもに使う時間	りすることができた	子どもに注意したり怒つた	友人や知人に相談することをする	機会が減つた	あてはまるものはない
全体		7282	625	1536	1132	1565	1376	1328	2943	159			
		—	8.6%	21.1%	15.5%	21.5%	18.9%	18.2%	40.4%	2.2%			
学年	2歳児	1398	116	300	274	375	336	341	493	10			
		—	8.3%	21.5%	19.6%	26.8%	24.0%	24.4%	35.3%	0.7%			
	5歳児	1131	85	256	229	320	301	230	367	18			
		—	7.5%	22.6%	20.2%	28.3%	26.6%	20.3%	32.4%	1.6%			
	小学2年生	1249	111	262	180	311	297	208	479	28			
		—	8.9%	21.0%	14.4%	24.9%	23.8%	16.7%	38.4%	2.2%			
	小学5年生	1263	107	276	172	282	246	206	486	31			
		—	8.5%	21.9%	13.6%	22.3%	19.5%	16.3%	38.5%	2.5%			
	中学2年生	1133	99	227	144	163	124	193	530	36			
		—	8.7%	20.0%	12.7%	14.4%	10.9%	17.0%	46.8%	3.2%			
	高校2年生	1108	107	215	133	114	72	150	588	36			
		—	9.7%	19.4%	12.0%	10.3%	6.5%	13.5%	53.1%	3.2%			

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 71 世帯類型と生活や心身への影響があったか (C回答者自身への影響) のクロス

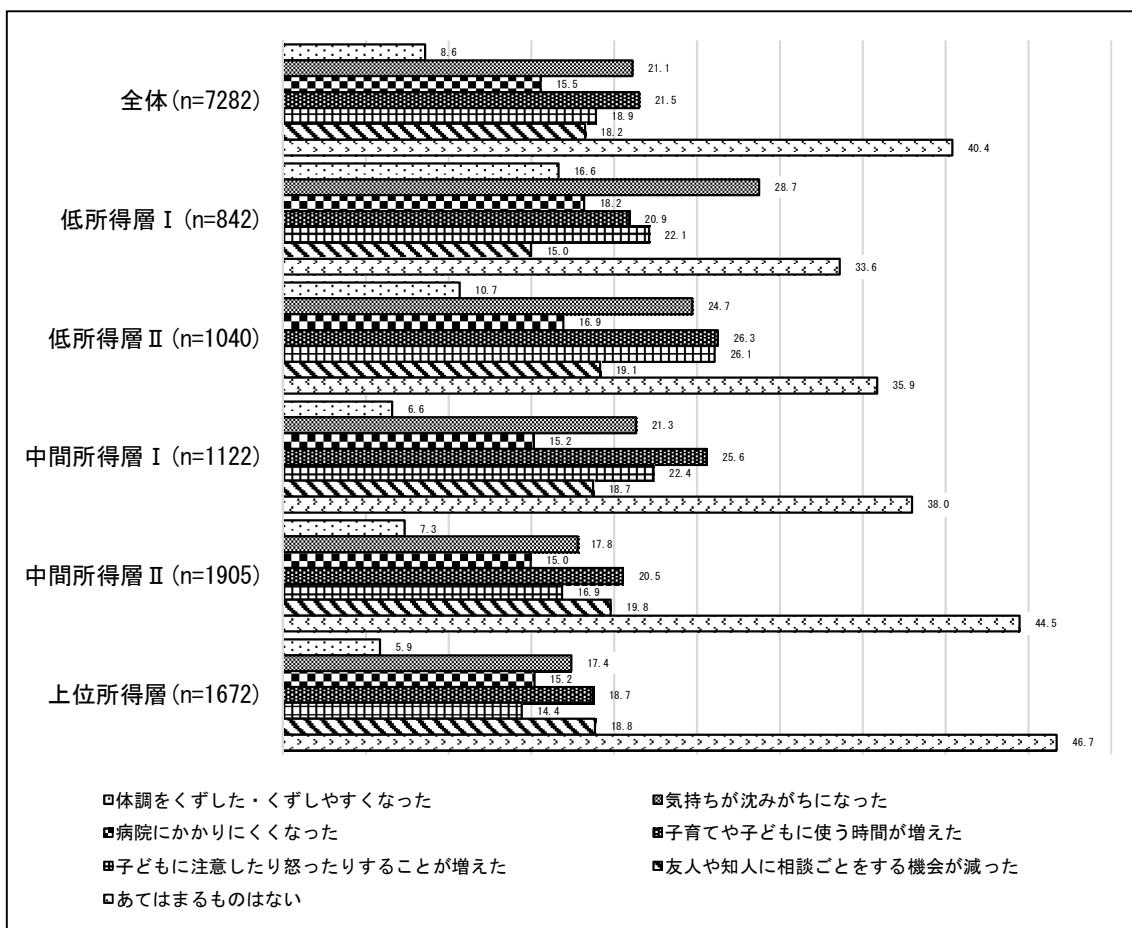
		合計	生活や心身への影響があったか C回答者自身への影響 (※複数回答)										
			すくなつた	体調をくずした・くずしや	気持ちが沈みがちになつた	病院にかかりにくくなつた	が増えた	子育てや子どもに使う時間	りすることができた	子どもに注意したり怒つた	友人や知人に相談することをする	機会が減つた	あてはまるものはない
全体		7282	625	1536	1132	1565	1376	1328	2943	159			
		—	8.6%	21.1%	15.5%	21.5%	18.9%	18.2%	40.4%	2.2%			
世帯類型	ひとり親世帯	805	131	226	119	141	149	104	290	30			
		—	16.3%	28.1%	14.8%	17.5%	18.5%	12.9%	36.0%	3.7%			
	ふたり親世帯	6371	483	1287	1001	1407	1210	1215	2613	112			
		—	7.6%	20.2%	15.7%	22.1%	19.0%	19.1%	41.0%	1.8%			
	その他世帯	41	3	8	5	9	8	6	20	1			
		—	7.3%	19.5%	12.2%	22.0%	19.5%	14.6%	48.8%	2.4%			
	不明	65	8	15	7	8	9	3	20	16			
		—	12.3%	23.1%	10.8%	12.3%	13.8%	4.6%	30.8%	24.6%			

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 72 所得階層と生活や心身への影響があつたか（C回答者自身への影響）のクロス

		合計	生活や心身への影響があつたか C回答者自身への影響（※複数回答）								
			すくなつた 体調をくずした・くずしや	気持ちが沈みがちになつた	病院にかかりにくくなつた	が増えた	子育てや子どもに使う時間	りすることが増えた	子どもに注意したり怒つた	友人や知人に相談ごとをする機会が減つた	あてはまるものはない
全体		7282	625 —	1536 8.6%	1132 21.1%	1565 15.5%	1376 21.5%	18.9%	1328 18.2%	2943 40.4%	159 2.2%
所得階層	低所得層Ⅰ	842	140 —	242 16.6%	153 28.7%	176 18.2%	176 20.9%	22.1%	126 15.0%	283 33.6%	24 2.9%
	低所得層Ⅱ	1040	111 —	257 10.7%	176 24.7%	273 16.9%	271 26.3%	26.1%	199 19.1%	373 35.9%	8 0.8%
	中間所得層Ⅰ	1122	74 —	239 6.6%	170 21.3%	287 15.2%	251 25.6%	22.4%	210 18.7%	426 38.0%	12 1.1%
	中間所得層Ⅱ	1905	140 —	339 7.3%	285 17.8%	391 15.0%	321 20.5%	16.9%	377 19.8%	847 44.5%	17 0.9%
	上位所得層	1672	98 —	291 5.9%	254 17.4%	313 15.2%	241 18.7%	14.4%	315 18.8%	781 46.7%	15 0.9%
	不明	701	62 —	168 8.8%	94 24.0%	125 13.4%	106 17.8%	15.1%	101 14.4%	233 33.2%	83 11.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

「体調をくずした・くずしやすくなった」は全体で 8.6%、「気持ちが沈みがちになった」は全体で 21.1%。

年齢・学年別にみると、2歳児・5歳児保護者で、より子育て関連の苦労が増えていく（「子どもに注意したり怒ったりすることが増えた」は2歳児保護者では 24.0%、5歳児保護者では 26.6%）（表 70）。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯で、より体調や気持ちへの負の影響がある（「体調をくずした・くずしやすくなった」はひとり親世帯では 16.3%、ふたり親世帯では 7.6%、「気持ちが沈みがちになった」はひとり親世帯では 28.1%、ふたり親世帯では 20.2%）（表 71）。

所得階層別にみると、低所得層で、心身の調子低下や子育て関連の苦労の影響がよりある（「体調をくずした・くずしやすくなった」は低所得層 I では 16.6%、上位所得層では 5.9%、「気持ちが沈みがちになった」は低所得層 I では 28.7%、上位所得層では 17.4%、「子どもに注意したり怒ったりすることが増えた」は低所得層 I では 22.1%、上位所得層では 14.4%）（表 72）

表 73-1 学年と生活や心身への影響があったか (D 子どもへの影響) のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか D 子どもへの影響 (全学年) (※複数回答)								
			5 ・ 中 2 ・ 高 2 ( 学 習 に 支 障 が で た ( 小 2 ・ 小 )	習 い 事 な ど に 支 障 が で た	障 が で た	遊 び や 友 だ ち づ き あ い に 支 障 が で た	生 活 リ ズ ム が く ず れ た	す く な つ た	体 力 が 落 ち た り 、 ケ ガ を し や	精 神 的 に 不 安 定 な つ た り 、 ふ さ き 込 む こ と が 増 え た	ゲ ー ム や 動 画 の 視 聴 時 間 が 増 え た ( 2 歳 児 ・ 5 歳 児 )
全体		7282	948	1733	1922	1595	688	521	1315	2356	148
		—	13. 0%	23. 8%	26. 4%	21. 9%	9. 4%	7. 2%	18. 1%	32. 4%	2. 0%
学年	2 歳児	1398	0	170	351	130	39	95	642	521	18
		—	0. 0%	12. 2%	25. 1%	9. 3%	2. 8%	6. 8%	45. 9%	37. 3%	1. 3%
	5 歳児	1131	0	305	317	160	82	112	673	242	15
		—	0. 0%	27. 0%	28. 0%	14. 1%	7. 3%	9. 9%	59. 5%	21. 4%	1. 3%
	小学 2 年生	1249	171	411	376	202	128	82	0	434	31
		—	13. 7%	32. 9%	30. 1%	16. 2%	10. 2%	6. 6%	0. 0%	34. 7%	2. 5%
小学 5 年生	小学 5 年生	1263	260	454	339	343	175	85	0	374	27
		—	20. 6%	35. 9%	26. 8%	27. 2%	13. 9%	6. 7%	0. 0%	29. 6%	2. 1%
中学 2 年生	中学 2 年生	1133	264	263	278	382	161	74	0	364	27
		—	23. 3%	23. 2%	24. 5%	33. 7%	14. 2%	6. 5%	0. 0%	32. 1%	2. 4%
高校 2 年生	高校 2 年生	1108	253	130	261	378	103	73	0	421	30
		—	22. 8%	11. 7%	23. 6%	34. 1%	9. 3%	6. 6%	0. 0%	38. 0%	2. 7%

※2 歳, 5 歳, 小 2, 小 5, 中 2, 高 2 の保護者が回答

表 73-2 学年と生活や心身への影響があったか (D 子どもへの影響) のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか D 子どもへの影響 (2 歳児・5 歳児) (※複数回答)								
			—	習い事などに支障がでた	遊びや友だちづきあいに支障がでた	生活リズムがくずれた	すくなつた	体力が落ちたり、ケガをしや	精神的に不安定になつたり、ふさぎ込むことが増えた	ゲームや動画の視聴時間が増えた	あてはまるものはない
全体	(2 歳児・5 歳児)	2529	—	475	668	290	121	207	1315	763	33
		—	—	18. 8%	26. 4%	11. 5%	4. 8%	8. 2%	52. 0%	30. 2%	1. 3%
学年	2 歳児	1398	—	170	351	130	39	95	642	521	18
	5 歳児	1131	—	305	317	160	82	112	673	242	15
		—	—	27. 0%	28. 0%	14. 1%	7. 3%	9. 9%	59. 5%	21. 4%	1. 3%

※2 歳、5 歳の保護者が回答

表 73-3 学年と生活や心身への影響があったか (D 子どもへの影響) のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか D 子どもへの影響 (※複数回答)								
			学習に支障がでた	習い事などに支障がでた	遊びや友だちづきあいに支障がでた	生活リズムがくずれた	すくなつた	体力が落ちたり、ケガをしや	精神的に不安定になつたり、ふさぎ込むことが増えた	—	あてはまるものはない
全体 (小 2・小 5・中 2・高 2)		4753	948	1258	1254	1305	567	314	—	1593	115
		—	19. 9%	26. 5%	26. 4%	27. 5%	11. 9%	6. 6%	—	33. 5%	2. 4%
学年	小学 2 年生	1249	171	411	376	202	128	82	—	434	31
		—	13. 7%	32. 9%	30. 1%	16. 2%	10. 2%	6. 6%	—	34. 7%	2. 5%
	小学 5 年生	1263	260	454	339	343	175	85	—	374	27
		—	20. 6%	35. 9%	26. 8%	27. 2%	13. 9%	6. 7%	—	29. 6%	2. 1%
中学 2 年生		1133	264	263	278	382	161	74	—	364	27
		—	23. 3%	23. 2%	24. 5%	33. 7%	14. 2%	6. 5%	—	32. 1%	2. 4%
高校 2 年生		1108	253	130	261	378	103	73	—	421	30
		—	22. 8%	11. 7%	23. 6%	34. 1%	9. 3%	6. 6%	—	38. 0%	2. 7%

※小 2、小 5、中 2、高 2 の保護者が回答

表 74 世帯類型と生活や心身への影響があったか (D 子どもへの影響) のクロス

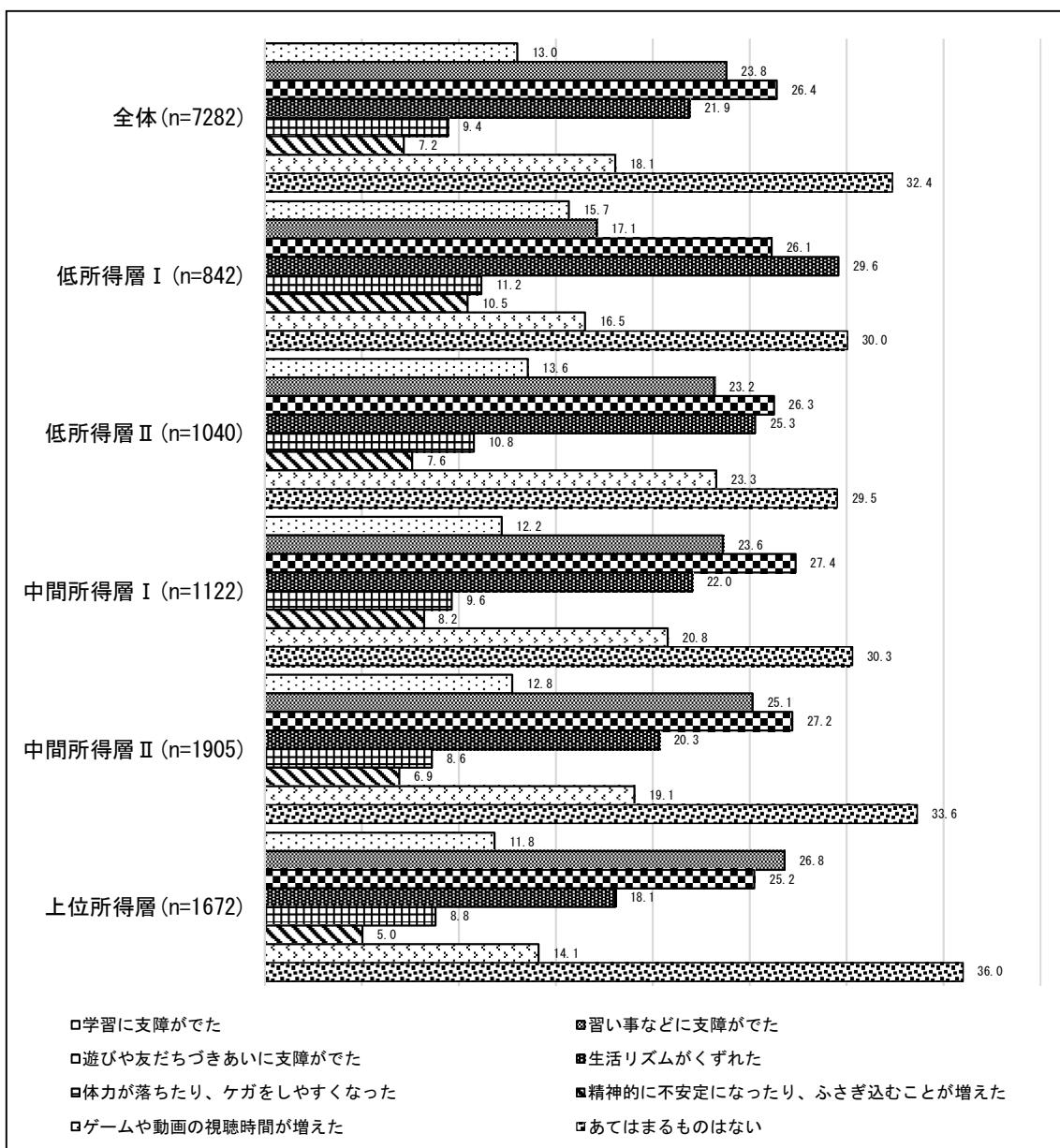
		合計	生活や心身への影響があったか D 子どもへの影響 (※複数回答)								
			学習に支障がでた	習い事などに支障がでた	遊びや友だちづきあいに支障がでた	生活リズムがくずれた	体力が落ちたり、ケガをしやすくなつた	精神的に不安定になつたり、ふさぎ込むことが増えた	ゲームや動画の視聴時間が増えた	あてはまるものはない	不明
全体		7282	948 —	1733 23.8%	1922 26.4%	1595 21.9%	688 9.4%	521 7.2%	1315 18.1%	2356 32.4%	148 2.0%
世帯類型	ひとり親世帯	805	158 —	144 19.6%	200 17.9%	257 31.9%	95 11.8%	67 8.3%	69 8.6%	249 30.9%	25 3.1%
	ふたり親世帯	6371	772 —	1575 12.1%	1702 24.7%	1312 20.6%	581 9.1%	445 7.0%	1231 19.3%	2082 32.7%	106 1.7%
	その他世帯	41	7 —	4 17.1%	6 9.8%	15 14.6%	4 36.6%	4 9.8%	8 9.8%	8 19.5%	2 19.5%
	不明	65	11 —	10 15.4%	14 21.5%	11 16.9%	8 12.3%	5 7.7%	7 10.8%	17 26.2%	15 23.1%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 75 所得階層と生活や心身への影響があったか (D 子どもへの影響) のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか D 子どもへの影響 (※複数回答)								
			学習に支障がでた	習い事などに支障がでた	がでた遊びや友だちづきあいに支障	生活リズムがくずれた	すくなつた	体力が落ちたり、ケガをしや	精神的に不安定になつたり、ふさぎ込むことが増えた	ゲームや動画の視聴時間が増えた	あてはまるものはない
全体		7282	948 —	1733 13. 0%	1922 23. 8%	1595 26. 4%	688 21. 9%	521 9. 4%	1315 7. 2%	2356 18. 1%	148 32. 4%
所得階層	低所得層 I	842 —	132 15. 7%	144 17. 1%	220 26. 1%	249 29. 6%	94 11. 2%	88 10. 5%	139 16. 5%	253 30. 0%	24 2. 9%
	低所得層 II	1040 —	141 13. 6%	241 23. 2%	273 26. 3%	263 25. 3%	112 10. 8%	79 7. 6%	242 23. 3%	307 29. 5%	8 0. 8%
	中間所得層 I	1122 —	137 12. 2%	265 23. 6%	307 27. 4%	247 22. 0%	108 9. 6%	92 8. 2%	233 20. 8%	340 30. 3%	15 1. 3%
	中間所得層 II	1905 —	243 12. 8%	479 25. 1%	518 27. 2%	387 20. 3%	164 8. 6%	132 6. 9%	363 19. 1%	641 33. 6%	13 0. 7%
	上位所得層	1672 —	198 11. 8%	448 26. 8%	422 25. 2%	302 18. 1%	147 8. 8%	84 5. 0%	236 14. 1%	602 36. 0%	11 0. 7%
	不明	701 —	97 13. 8%	156 22. 3%	182 26. 0%	147 21. 0%	63 9. 0%	46 6. 6%	102 14. 6%	213 30. 4%	77 11. 0%

※2 歳、5 歳、小 2、小 5、中 2、高 2 の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

世帯類型別にみると、ひとり親世帯で、学習の支障と生活リズムのくずれの影響がより大きい（「学習に支障がでた」はひとり親世帯では 19.6%、ふたり親世帯では 12.1%、「生活リズムがくずれた」はひとり親世帯では 31.9%、ふたり親世帯では 20.6%）。また、ふたり親世帯で、習い事の支障の影響がより大きい。（「習い事などに支障がでた」はひとり親世帯では 17.9%、ふたり親世帯では 24.7%）（表 74）。

所得階層別にみると、低所得層で、学習の支障、体力・ケガの増加と精神的不安定への影響がより大きい（「学習に支障がでた」は低所得層 I では 15.7%、上位所得層では 11.8%、「体力が落ちたり、ケガをしやすくなつた」は低所得層 I では 11.2%、上位所得層では 8.8%、「精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた」は低所得層 I では 10.5%、上位所得層では 5.0%。）（表 75）

表 76 学年と生活や心身への影響があったか (E 家庭の家計への影響) のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか E 家庭の家計への影響 (※複数回答)				
			世帯収入が減った	世帯の支出が増えた	世帯の貯蓄が減った	あてはまるものはない	不明
全体		7282	1570	1307	1011	4029	212
		—	21.6%	17.9%	13.9%	55.3%	2.9%
学年	2歳児	1398	294	224	187	809	9
		—	21.0%	16.0%	13.4%	57.9%	0.6%
	5歳児	1131	240	215	181	620	28
		—	21.2%	19.0%	16.0%	54.8%	2.5%
	小学2年生	1249	265	214	152	711	47
		—	21.2%	17.1%	12.2%	56.9%	3.8%
	小学5年生	1263	271	221	165	698	48
		—	21.5%	17.5%	13.1%	55.3%	3.8%
中学2年生	中学2年生	1133	260	228	167	594	38
		—	22.9%	20.1%	14.7%	52.4%	3.4%
高校2年生	高校2年生	1108	240	205	159	597	42
		—	21.7%	18.5%	14.4%	53.9%	3.8%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 77 学年と生活や心身への影響があったか (E 家庭の家計への影響) のクロス

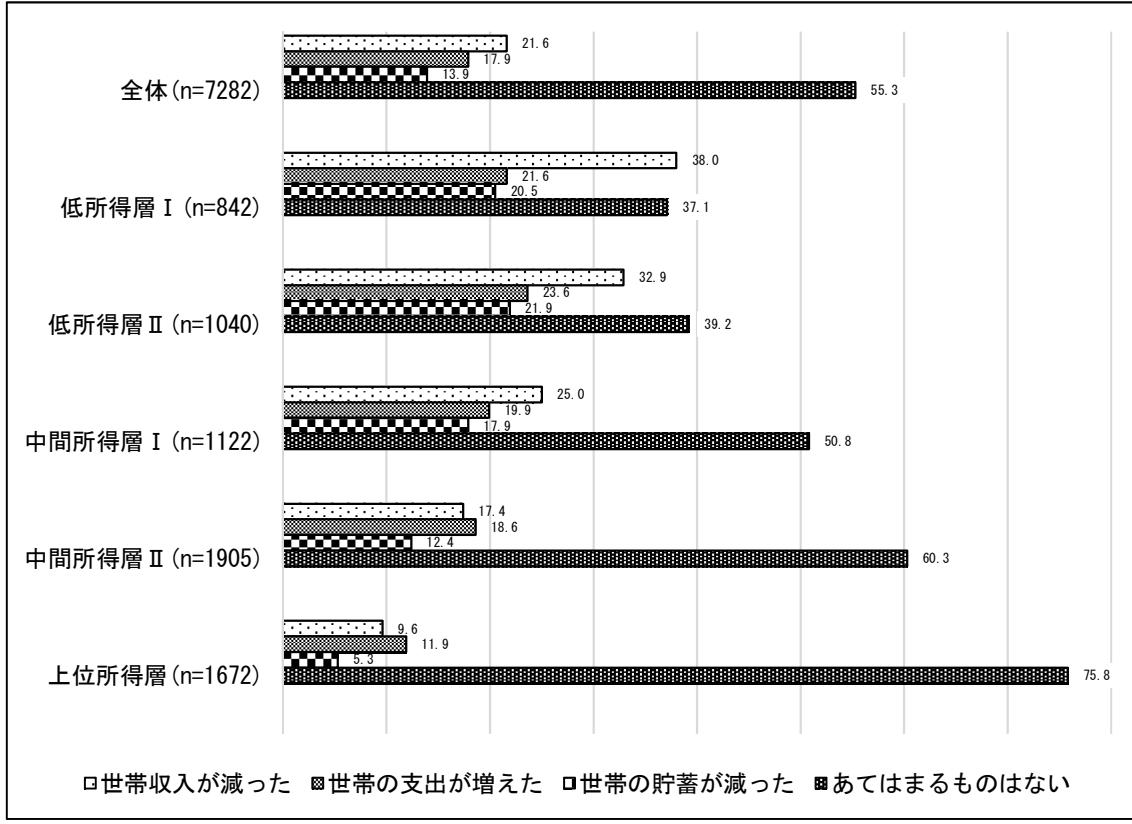
		合計	生活や心身への影響があったか E 家庭の家計への影響 (※複数回答)				
			世帯収入が減った	世帯の支出が増えた	世帯の貯蓄が減った	あてはまるものはない	不明
全体		7282	1570	1307	1011	4029	212
		—	21.6%	17.9%	13.9%	55.3%	2.9%
世帯類型	ひとり親世帯	805	224	158	139	370	34
		—	27.8%	19.6%	17.3%	46.0%	4.2%
	ふたり親世帯	6371	1324	1129	857	3617	160
		—	20.8%	17.7%	13.5%	56.8%	2.5%
その他世帯	その他世帯	41	7	9	7	21	1
		—	17.1%	22.0%	17.1%	51.2%	2.4%
不明	不明	65	15	11	8	21	17
		—	23.1%	16.9%	12.3%	32.3%	26.2%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

表 78 学年と生活や心身への影響があったか (E 家庭の家計への影響) のクロス

		合計	生活や心身への影響があったか E 家庭の家計への影響 (※複数回答)					
			世帯 収入 が 減 っ た	世 帯 の 支 出 が 増 え た	世 帯 の 貯 蓄 が 減 っ た	あ て は ま る も の は な い	不 明	
全体		7282	1570 100.0%	21.6%	1307 17.9%	1011 13.9%	4029 55.3%	212 2.9%
所得階層	低所得層 I	842	320 100.0%	38.0%	182 21.6%	173 20.5%	312 37.1%	17 2.0%
	低所得層 II	1040	342 100.0%	32.9%	245 23.6%	228 21.9%	408 39.2%	14 1.3%
	中間所得層 I	1122	280 100.0%	25.0%	223 19.9%	201 17.9%	570 50.8%	17 1.5%
	中間所得層 II	1905	332 100.0%	17.4%	355 18.6%	237 12.4%	1149 60.3%	16 0.8%
	上位所得層	1672	161 100.0%	9.6%	199 11.9%	88 5.3%	1267 75.8%	17 1.0%
	不明	701	135 100.0%	19.3%	103 14.7%	84 12.0%	323 46.1%	131 18.7%

※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答



※2歳、5歳、小2、小5、中2、高2の保護者が回答

全体として、「世帯収入が減った」は 21.6%、「世帯の支出が増えた」は 17.9%、「世帯の貯蓄が減った」は 13.9%。

年齢・学年ごとの偏りはみられない（表 76）。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯において家計への負の影響がより大きい（「世帯収入が減った」はひとり親世帯では 27.8%、ふたり親世帯では 20.8%、「世帯の支出が増えた」はひとり親世帯では 19.6%、ふたり親世帯では 17.7%、「世帯の貯蓄が減った」はひとり親世帯では 17.3%、ふたり親世帯では 13.5%）（表 77）。

所得階層別にみると、低所得層において家計への負の影響がより大きい（「世帯収入が減った」は所得階層 I では 38.0%、上位所得層では 9.6%、「世帯の支出が増えた」は所得階層 I では 21.6%、上位所得層では 11.9%、「世帯の貯蓄が減った」は所得階層 I では 20.5%、上位所得層では 5.3%）（表 78）。

#### 【総評】新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

仕事・体調・家計に共通して、ひとり親・母親・低所得層において負の影響が大きい。2歳児・5歳児保護者では、子育てに関わる苦労が、小学生以降より増した様子がうかがえる。

子どもへの影響では、影響の出る項目が世帯類型や所得階層の違いにより、やや異なるパターンを示している。

## 第二部 子ども回答結果より

## 第二部 子ども回答結果より

### 1 自分の家の暮らし向き

表 79 学年と自分の家の暮らし向きのクロス

		合計	自分の家の暮らし向き						
			大 変 苦 しい	や や 苦 しい	ふ つ う	や や ゆ と り が あ る	大 変 ゆ と り が あ る	わ か ら な い	不 明
全体		3513	63	350	1643	598	247	556	56
		100.0%	1.8%	10.0%	46.8%	17.0%	7.0%	15.8%	1.6%
学年	小学5年生	1262	11	59	541	219	122	284	26
		100.0%	0.9%	4.7%	42.9%	17.4%	9.7%	22.5%	2.1%
	中学2年生	1132	16	103	552	190	69	186	16
		100.0%	1.4%	9.1%	48.8%	16.8%	6.1%	16.4%	1.4%
	高校2年生	1119	36	188	550	189	56	86	14
		100.0%	3.2%	16.8%	49.2%	16.9%	5.0%	7.7%	1.3%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 80 世帯類型と自分の家の暮らし向きのクロス

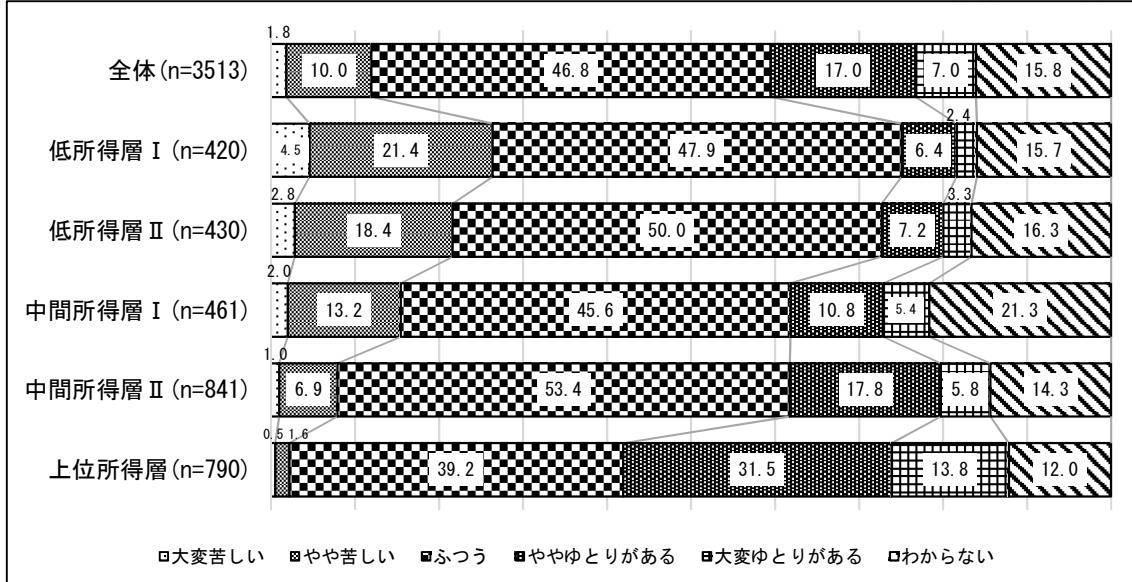
		合計	自分の家の暮らし向き						
			大 変 苦 しい	や や 苦 しい	ふ つ う	や や ゆ と り が あ る	大 変 ゆ と り が あ る	わ か ら な い	不 明
全体		3513	63	350	1643	598	247	556	56
		100.0%	1.8%	10.0%	46.8%	17.0%	7.0%	15.8%	1.6%
世帯 類型	ひとり親世帯	496	19	109	223	53	11	75	6
		100.0%	3.8%	22.0%	45.0%	10.7%	2.2%	15.1%	1.2%
	ふたり親世帯	2737	37	216	1288	505	220	430	41
		100.0%	1.4%	7.9%	47.1%	18.5%	8.0%	15.7%	1.5%
	その他世帯	24	0	4	18	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	16.7%	75.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
	不明	256	7	21	114	40	16	49	9
		100.0%	2.7%	8.2%	44.5%	15.6%	6.3%	19.1%	3.5%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 81 所得階層と自分の家の暮らし向きのクロス

		合計	自分の家の暮らし向き						
			大 変 苦 し い	や や 苦 し い	ふ つ う	や や ゆ と り が あ る	大 変 ゆ と り が あ る	わ か ら な い	不 明
全体		3513	63	350	1643	598	247	556	56
		100. 0%	1. 8%	10. 0%	46. 8%	17. 0%	7. 0%	15. 8%	1. 6%
所得 階層	低所得層 I	420	19	90	201	27	10	66	7
		100. 0%	4. 5%	21. 4%	47. 9%	6. 4%	2. 4%	15. 7%	1. 7%
	低所得層 II	430	12	79	215	31	14	70	9
		100. 0%	2. 8%	18. 4%	50. 0%	7. 2%	3. 3%	16. 3%	2. 1%
	中間所得層 I	461	9	61	210	50	25	98	8
		100. 0%	2. 0%	13. 2%	45. 6%	10. 8%	5. 4%	21. 3%	1. 7%
	中間所得層 II	841	8	58	449	150	49	120	7
		100. 0%	1. 0%	6. 9%	53. 4%	17. 8%	5. 8%	14. 3%	0. 8%
	上位所得層	790	4	13	310	249	109	95	10
		100. 0%	0. 5%	1. 6%	39. 2%	31. 5%	13. 8%	12. 0%	1. 3%
	不明	571	11	49	258	91	40	107	15
		100. 0%	1. 9%	8. 6%	45. 2%	15. 9%	7. 0%	18. 7%	2. 6%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答



※小5, 中2, 高2の子どもが回答

子どもも自身が、自分の家の経済状態をどのように認識しているのかを理解するために、自分の家の暮らし向きへの認知を調べた。学年別にみると、学年が上がるにつれて、暮らし向きを「大変苦しい」「やや苦しい」と認知している者の割合が高くなる（「大変苦しい」と「やや苦しい」を足すと小5では5.5%、高2では20.0%）（表 79）。

世帯累計別にみると、ふたり親世帯に比べ、ひとり親世帯の子どものほうが、「大変苦しい」「やや苦しい」と認知している者の割合が高い（「大変苦しい」と「やや苦しい」

を足すとひとり親では 25.8%、ふたり親では 9.2%）（表 80）。

所得階層別にみると、所得が低い階層になるほど、「大変苦しい」「やや苦しい」と認知している者の割合が高い（「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせると低所得層 I では 26.0%、上位所得層では 2.2%）（表 81）。

## 2 居場所・相談相手・食事等について

表 82 学年と平日の放課後一緒に過ごす相手（一人でいる）のクロス

		合計	平日の放課後一緒に過ごす相手（一人でいる）				
			まったくない	あまりない	ときどきある	よくある	不明
全体		3513	915	897	880	629	192
		100.0%	26.0%	25.5%	25.0%	17.9%	5.5%
学年	小学5年生	1262	428	338	261	155	80
		100.0%	33.9%	26.8%	20.7%	12.3%	6.3%
	中学2年生	1132	255	279	307	240	51
		100.0%	22.5%	24.6%	27.1%	21.2%	4.5%
高校2年生		1119	232	280	312	234	61
		100.0%	20.7%	25.0%	27.9%	20.9%	5.5%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 83 世帯類型と平日の放課後一緒に過ごす相手（一人でいる）のクロス

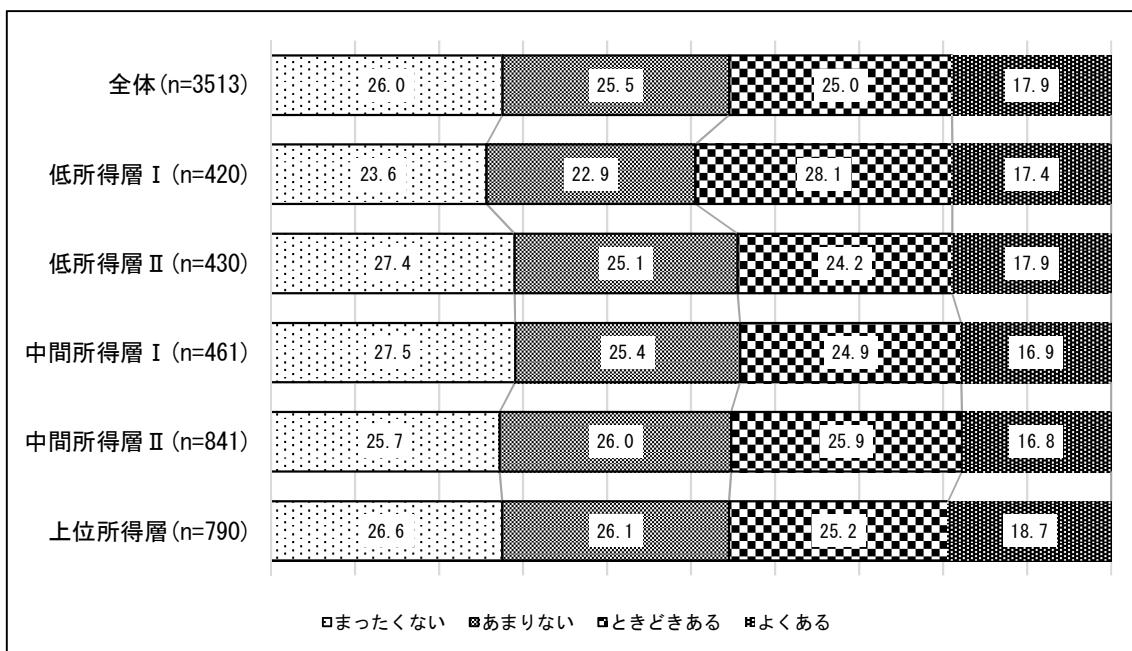
		合計	放課後一緒に過ごす相手（一人でいる）				
			まったくない	あまりない	ときどきある	よくある	不明
全体		3513	915	897	880	629	192
		100.0%	26.0%	25.5%	25.0%	17.9%	5.5%
世帯類型	ひとり親世帯	496	99	118	119	121	39
		100.0%	20.0%	23.8%	24.0%	24.4%	7.9%
	ふたり親世帯	2737	748	701	707	453	128
		100.0%	27.3%	25.6%	25.8%	16.6%	4.7%
	その他世帯	24	7	6	2	7	2
		100.0%	29.2%	25.0%	8.3%	29.2%	8.3%
	不明	256	61	72	52	48	23
		100.0%	23.8%	28.1%	20.3%	18.8%	9.0%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 84 所得階層と平日の放課後一緒に過ごす相手（一人でいる）のクロス

		合計	放課後一緒に過ごす相手（一人でいる）				
			まったくない	あまりない	ときどきある	よくある	不明
全体		3513	915	897	880	629	192
		100.0%	26.0%	25.5%	25.0%	17.9%	5.5%
所得階層	低所得層Ⅰ	420	99	96	118	73	34
		100.0%	23.6%	22.9%	28.1%	17.4%	8.1%
	低所得層Ⅱ	430	118	108	104	77	23
		100.0%	27.4%	25.1%	24.2%	17.9%	5.3%
	中間所得層Ⅰ	461	127	117	115	78	24
		100.0%	27.5%	25.4%	24.9%	16.9%	5.2%
	中間所得層Ⅱ	841	216	219	218	141	47
		100.0%	25.7%	26.0%	25.9%	16.8%	5.6%
	上位所得層	790	210	206	199	148	27
		100.0%	26.6%	26.1%	25.2%	18.7%	3.4%
不明		571	145	151	126	112	37
		100.0%	25.4%	26.4%	22.1%	19.6%	6.5%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答



放課後、一人でいることが「よくある」「ときどきある」と回答した者の割合は、中学生以降に増え、全体で約半数が「ときどきある」「よくある」と回答している（小5では33.0%、中2では48.3%、高2では48.8%）（表82）。

世帯類型別にみると、ふたり親世帯に比べ、ひとり親世帯の子どものほうが、放課後、一人でいることが「よくある」と回答した者が多く（ひとり親世帯では24.4%、ふたり親世帯では16.6%）、逆に「まったくない」と回答した者が少ない（ひとり親世帯では20.0%、ふたり親世帯では27.3%）（表83）。

所得階層別にみると、放課後、一人で過ごすかどうかに関して、所得階層による違いはほとんどみられない（表84）。

表 85 学年とほっとできる場所のクロス

		合計	ほっとできる居場所											
			自分の家	同じ学校の友だちの家	同じ学校ではない友だちの家	塾や習い事	学校(部活など)	スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)	公園	図書館や公共の施設	ショッピングセンター	児童会館	ない	不明
全体		3513	2894	45	16	42	110	16	74	19	7	6	144	140
		100.0%	82.4%	1.3%	0.5%	1.2%	3.1%	0.5%	2.1%	0.5%	0.2%	0.2%	4.1%	4.0%
学年	小学5年生	1262	1043	13	1	21	17	8	49	5	1	5	31	68
		100.0%	82.6%	1.0%	0.1%	1.7%	1.3%	0.6%	3.9%	0.4%	0.1%	0.4%	2.5%	5.4%
	中学2年生	1132	906	18	7	10	44	6	18	12	3	1	63	44
		100.0%	80.0%	1.6%	0.6%	0.9%	3.9%	0.5%	1.6%	1.1%	0.3%	0.1%	5.6%	3.9%
高校2年生	高校2年生	1119	945	14	8	11	49	2	7	2	3	0	50	28
		100.0%	84.5%	1.3%	0.7%	1.0%	4.4%	0.2%	0.6%	0.2%	0.3%	0.0%	4.5%	2.5%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 86 世帯類型とほっとできる場所のクロス

		合計	ほっとできる居場所											
			自分の家	同じ学校の友だちの家	同じ学校ではない友だちの家	塾や習い事	学校(部活など)	スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)	公園	図書館や公共の施設	ショッピングセンター	児童会館	ない	不明
全体		3513	2894	45	16	42	110	16	74	19	7	6	144	140
		100.0%	82.4%	1.3%	0.5%	1.2%	3.1%	0.5%	2.1%	0.5%	0.2%	0.2%	4.1%	4.0%
世帯類型	ひとり親世帯	496	405	7	5	1	11	1	15	2	2	1	25	21
		100.0%	81.7%	1.4%	1.0%	0.2%	2.2%	0.2%	3.0%	0.4%	0.4%	0.2%	5.0%	4.2%
	ふたり親世帯	2737	2269	36	11	38	89	11	52	17	4	5	98	107
		100.0%	82.9%	1.3%	0.4%	1.4%	3.3%	0.4%	1.9%	0.6%	0.1%	0.2%	3.6%	3.9%
その他世帯	その他世帯	24	20	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0
		100.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
不明	不明	256	200	2	0	3	9	4	6	0	1	0	19	12
		100.0%	78.1%	0.8%	0.0%	1.2%	3.5%	1.6%	2.3%	0.0%	0.4%	0.0%	7.4%	4.7%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 87 所得階層とほっとできる場所のクロス

		合計	ほっとできる居場所											
			自分の家	同じ学校の友だちの家	同じ学校ではない友だちの家	塾や習い事	学校(部活など)	(野球場 スポーツクラブの活動の場 サッカー場など)	公園	図書館や公共の施設	ショッピングセンター	児童会館	ない	不明
全体		3513	2894	45	16	42	110	16	74	19	7	6	144	140
		100.0%	82.4%	1.3%	0.5%	1.2%	3.1%	0.5%	2.1%	0.5%	0.2%	0.2%	4.1%	4.0%
所得階層	低所得層Ⅰ	420	346	9	2	0	12	0	12	3	1	1	15	19
		100.0%	82.4%	2.1%	0.5%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%	0.7%	0.2%	0.2%	3.6%	4.5%
	低所得層Ⅱ	430	364	4	3	4	10	2	10	1	1	1	20	10
		100.0%	84.7%	0.9%	0.7%	0.9%	2.3%	0.5%	2.3%	0.2%	0.2%	0.2%	4.7%	2.3%
	中間所得層Ⅰ	461	382	6	3	4	14	2	6	4	1	0	18	21
		100.0%	82.9%	1.3%	0.7%	0.9%	3.0%	0.4%	1.3%	0.9%	0.2%	0.0%	3.9%	4.6%
中間所得層Ⅱ	841	701	7	5	10	26	4	17	5	2	1	30	33	
		100.0%	83.4%	0.8%	0.6%	1.2%	3.1%	0.5%	2.0%	0.6%	0.2%	0.1%	3.6%	3.9%
上位所得層	790	652	10	2	16	27	2	19	3	1	1	28	29	
		100.0%	82.5%	1.3%	0.3%	2.0%	3.4%	0.3%	2.4%	0.4%	0.1%	0.1%	3.5%	3.7%
不明		571	449	9	1	8	21	6	10	3	1	2	33	28
		100.0%	78.6%	1.6%	0.2%	1.4%	3.7%	1.1%	1.8%	0.5%	0.2%	0.4%	5.8%	4.9%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答

ほっとできる居場所に関しては、学年(表85)、世帯類型(表86)、所得階層(表87)別、いずれに関しても「自分の家」と回答する者が、どのカテゴリーにおいても8割を超えており、顕著な違いは見られない。

表 88 学年と悩みごとの相談相手のクロス

		合計	悩みごとの相談相手（※複数回答）													
			親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	同じ学校の友だち	同じ学校ではない友だち	習い事の先生（学童保育所の人、塾・	その他の大人（学童保育所の人、塾・	バイト先の人	ネットで知り合った人	その他（左記以外の人）	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	
全体	3513	2508	840	516	1271	2253	665	215	215	16	157	63	131	294	169	
	—	—	71.4%	23.9%	14.7%	36.2%	64.1%	18.9%	6.1%	6.1%	0.5%	4.5%	1.8%	3.7%	8.4%	4.8%
学年	小学生	1262	968	317	276	571	739	94	92	83	0	29	18	52	89	95
	—	—	76.7%	25.1%	21.9%	45.2%	58.6%	7.4%	7.3%	6.6%	0.0%	2.3%	1.4%	4.1%	7.1%	7.5%
	中学生	1132	787	263	158	438	760	159	76	81	0	58	22	45	123	40
	—	—	69.5%	23.2%	14.0%	38.7%	67.1%	14.0%	6.7%	7.2%	0.0%	5.1%	1.9%	4.0%	10.9%	3.5%
	高校生	1119	753	260	82	262	754	412	47	51	16	70	23	34	82	34
	—	—	67.3%	23.2%	7.3%	23.4%	67.4%	36.8%	4.2%	4.6%	1.4%	6.3%	2.1%	3.0%	7.3%	3.0%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 89 世帯類型と悩みごとの相談相手のクロス

		合計	悩みごとの相談相手（※複数回答）													
			親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	同じ学校の友だち	同じ学校ではない友だち	習い事の先生（学童保育所の人、塾・	その他の大人（学童保育所の人、塾・	バイト先の人	ネットで知り合った人	その他（左記以外の人）	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	
全体	3513	2508	840	516	1271	2253	665	215	215	16	157	63	131	294	169	
	—	—	71.4%	23.9%	14.7%	36.2%	64.1%	18.9%	6.1%	6.1%	0.5%	4.5%	1.8%	3.7%	8.4%	4.8%
世帯類型	ひとり親世帯	496	332	103	76	174	304	99	26	22	7	32	14	27	53	15
	—	—	66.9%	20.8%	15.3%	35.1%	61.3%	20.0%	5.2%	4.4%	1.4%	6.5%	2.8%	5.4%	10.7%	3.0%
	ふたり親世帯	2737	2000	671	391	1006	1788	520	171	172	7	115	45	91	211	129
	—	—	73.1%	24.5%	14.3%	36.8%	65.3%	19.0%	6.2%	6.3%	0.3%	4.2%	1.6%	3.3%	7.7%	4.7%
	その他世帯	24	16	6	6	6	18	3	0	0	0	0	0	1	1	2
	—	—	66.7%	25.0%	25.0%	25.0%	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	8.3%
	不明	256	160	60	43	85	143	43	18	21	2	10	4	12	29	23
	—	—	62.5%	23.4%	16.8%	33.2%	55.9%	16.8%	7.0%	8.2%	0.8%	3.9%	1.6%	4.7%	11.3%	9.0%

※小5、中2、高2の子どもが回答

表 90 所得階層と悩みごとの相談相手のクロス

		悩みごとの相談相手（※複数回答）														
		合計	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	同じ学校の友だち	同じ学校ではない友だち	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	塾・習い事の先生、地域の人など	パート先の人	ネットで知り合った人	その他（左記以外の人）	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	不明
全体		3513	2508	840	516	1271	2253	665	215	215	16	157	63	131	294	169
所得階層	低所得層 I	420	274	98	59	139	262	73	29	18	5	22	7	20	36	20
	—	—	65.2%	23.3%	14.0%	33.1%	62.4%	17.4%	6.9%	4.3%	1.2%	5.2%	1.7%	4.8%	8.6%	4.8%
	低所得層 II	430	315	94	68	158	274	76	31	16	3	16	10	18	37	17
	—	—	73.3%	21.9%	15.8%	36.7%	63.7%	17.7%	7.2%	3.7%	0.7%	3.7%	2.3%	4.2%	8.6%	4.0%
	中間所得層 I	461	324	102	71	170	300	83	26	28	2	27	7	21	40	19
	—	—	70.3%	22.1%	15.4%	36.9%	65.1%	18.0%	5.6%	6.1%	0.4%	5.9%	1.5%	4.6%	8.7%	4.1%
	中間所得層 II	841	624	209	121	316	547	176	44	53	2	37	9	28	74	40
	—	—	74.2%	24.9%	14.4%	37.6%	65.0%	20.9%	5.2%	6.3%	0.2%	4.4%	1.1%	3.3%	8.8%	4.8%
	上位所得層	790	590	211	120	283	523	160	56	65	0	34	19	23	59	32
	—	—	74.7%	26.7%	15.2%	35.8%	66.2%	20.3%	7.1%	8.2%	0.0%	4.3%	2.4%	2.9%	7.5%	4.1%
	不明	571	381	126	77	205	347	97	29	35	4	21	11	21	48	41
	—	—	66.7%	22.1%	13.5%	35.9%	60.8%	17.0%	5.1%	6.1%	0.7%	3.7%	1.9%	3.7%	8.4%	7.2%

※小5、中2、高2の子どもが回答

悩みごとの相談相手に関しては、学年が上がるにつれて、親とする者の割合が減少し（小5では76.7%、中2では69.5%、高2では67.3%）、同じ学校の友だちが増える傾向がみられる。また中高生で顕著に減るのが祖父母（小5では21.9%、中2では14.0%、高2では7.3%）や学校の先生（小5では45.2%、中2では38.7%、高2では23.4%）であり、逆に高校生で顕著に増えるのが、同じ学校ではない友だちである（小5では7.4%、中2では14.0%、高2では36.8%）（表88）。

世帯類型別にみると、親を相談相手とする者の割合が、ひとり親世帯のほうがやや少なくない（ひとり親世帯では66.9%、ふたり親世帯では73.1%）。またわずかではあるが、だれにも相談できない、だれにも相談したくない者の割合が、ひとり親世帯のほうが多い（合わせるとひとり親世帯では16.1%、ふたり親世帯では11.0%）（表89）。

所得階層別にみると、親を相談相手とする者の割合が、他の階層がすべて7割を超えており、低所得層Iのみが65.2%とやや低い値を示している。その一方で、だれにも相談できない者の割合は、低所得層I～中間所得層Iの間では差は見られないものの、中間所得層II、上位所得層では他の階層に比べ、さらに低い値を示している（表90）。

表 91 学年と平日に夕食をだれと食べるかのクロス

		合計	平日に夕食をだれと食べるか（※小学 2 年生は保護者が回答）				
			家族	家族以外の人	きょうだいだけで食べる	一人で食べる	不明
全体		4762	4188	38	153	280	103
		100.0%	84.3%	0.8%	3.1%	5.6%	6.2%
学年	小学 2 年生	1249	1142	13	45	10	39
		100.0%	91.4%	1.0%	3.6%	0.8%	3.1%
	小学 5 年生	1262	1155	6	37	32	32
		100.0%	91.5%	0.5%	2.9%	2.5%	2.5%
中学 2 年生		1132	989	5	47	72	19
		100.0%	87.4%	0.4%	4.2%	6.4%	1.7%
高校 2 年生		1119	902	14	24	166	13
		100.0%	80.6%	1.3%	2.1%	14.8%	1.2%

※小 2 の保護者と小 5, 中 2, 高 2 の子どもが回答

表 92 世帯類型と平日に夕食をだれと食べるかのクロス

		合計	平日に夕食をだれと食べるか（※小学 2 年生は保護者が回答）				
			家族	家族以外の人	きょうだいだけで食べる	一人で食べる	不明
全体		4762	4188	38	153	280	103
		100.0%	87.9%	0.8%	3.2%	5.9%	2.2%
世帯類型	ひとり親世帯	615	500	6	24	62	23
		100.0%	81.3%	1.0%	3.9%	10.1%	3.7%
	ふたり親世帯	3857	3450	26	117	189	75
		100.0%	89.4%	0.7%	3.0%	4.9%	1.9%
その他世帯		28	25	0	0	3	0
		100.0%	89.3%	0.0%	0.0%	10.7%	0.0%
不明		262	213	6	12	26	5
		100.0%	81.3%	2.3%	4.6%	9.9%	1.9%

※小 2 の保護者と小 5, 中 2, 高 2 の子どもが回答

表 93 所得階層と平日に夕食をだれと食べるかのクロス

		合計	平日に夕食をだれと食べるか（※小学2年生は保護者が回答）				
			家族	家族以外の人	きょうだいだけで食べる	一人で食べる	不明
全体		4762	4188	38	153	280	103
		100.0%	87.9%	0.8%	3.2%	5.9%	2.2%
所得階層	低所得層Ⅰ	560	471	4	21	43	21
		100.0%	84.1%	0.7%	3.8%	7.7%	3.8%
	低所得層Ⅱ	603	527	5	29	29	13
		100.0%	87.4%	0.8%	4.8%	4.8%	2.2%
	中間所得層Ⅰ	654	580	5	24	29	16
		100.0%	88.7%	0.8%	3.7%	4.4%	2.4%
	中間所得層Ⅱ	1139	1022	3	31	69	14
		100.0%	89.7%	0.3%	2.7%	6.1%	1.2%
	上位所得層	1104	982	10	28	65	19
		100.0%	88.9%	0.9%	2.5%	5.9%	1.7%
	不明	702	606	11	20	45	20
		100.0%	86.3%	1.6%	2.8%	6.4%	2.8%

※小2の保護者と小5、中2、高2の子どもが回答

夕食を誰と食べるかについては、学年が高くなるにつれて、家族と回答する者の割合が減り（小2では91.4%、小5では91.5%、中2では87.4%、高2では80.6%）、一人で食べると回答する者の割合が増え（小2では0.8%、小5では2.5%、中2では6.4%、高2では14.8%）、特に高校生で顕著である（表91）。

世帯類型別にみると、ふたり親世帯に比べ、ひとり親世帯の子どものほうが、家族と食べると回答する者の割合がやや低く（ひとり親世帯では81.3%、ふたり親世帯では89.4%）、一人で食べると回答する者の割合が高い（ひとり親世帯では10.1%、ふたり親世帯では4.9%）（表92）。

所得階層別にみると、低所得層Ⅰにおいて、若干ではあるが、家族と回答する者の割合が低く（84.1%）、一人で食べると回答する者の割合が高い（7.7%）（表93）。

### 3 進学・勉強時間・成績について

表 94 学年とどの段階まで進学したいかのクロス

		合計	どの段階まで進学したいか							
			(小学5年生・中学2年生)	中学まで	高校まで	短大	高等専門学校	専門学校	大学またはそれ以上	まだわからない
全体		3513	10	308	53	45	367	1824	882	24
		100.0%	0.3%	8.8%	1.5%	1.3%	10.4%	51.9%	25.1%	0.7%
学年	小学5年生	1262	8	142	11	24	124	469	466	18
		100.0%	0.6%	11.3%	0.9%	1.9%	9.8%	37.2%	36.9%	1.4%
	中学2年生	1132	2	108	23	13	126	541	315	4
高校2年生		100.0%	0.2%	9.5%	2.0%	1.1%	11.1%	47.8%	27.8%	0.4%
	高校2年生	1119	0	58	19	8	117	814	101	2
		100.0%	0.0%	5.2%	1.7%	0.7%	10.5%	72.7%	9.0%	0.2%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 95 世帯類型とどの段階まで進学したいかのクロス

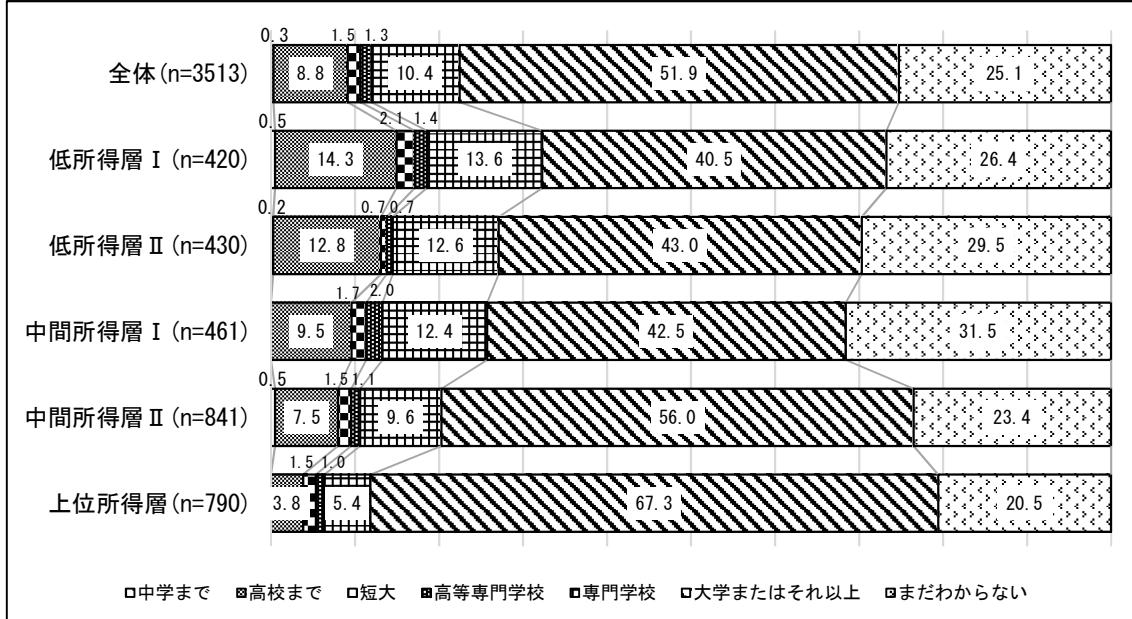
		合計	どの段階まで進学したいか							
			中学まで	高校まで	短大	高等専門学校	専門学校	大学またはそれ以上	まだわからない	不明
全体		3513	10	308	53	45	367	1824	882	24
		100.0%	0.3%	8.8%	1.5%	1.3%	10.4%	51.9%	25.1%	0.7%
世帯類型	ひとり親世帯	496	2	57	7	8	87	211	120	4
		100.0%	0.4%	11.5%	1.4%	1.6%	17.5%	42.5%	24.2%	0.8%
	ふたり親世帯	2737	7	220	43	33	241	1499	680	14
		100.0%	0.3%	8.0%	1.6%	1.2%	8.8%	54.8%	24.8%	0.5%
その他世帯		24	0	2	0	1	3	9	9	0
		100.0%	0.0%	8.3%	0.0%	4.2%	12.5%	37.5%	37.5%	0.0%
不明		256	1	29	3	3	36	105	73	6
		100.0%	0.4%	11.3%	1.2%	1.2%	14.1%	41.0%	28.5%	2.3%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 96 所得階層とどの段階まで進学したいかのクロス

		合計	どの段階まで進学したいか								
			中学まで	高校まで	短大	高等専門学校	専門学校	大学またはそれ以上	まだわからない	不明	
全体		3513	10 100.0%	8.8% 0.3%	308 1.5%	53 1.3%	45 10.4%	367 51.9%	1824 25.1%	882 0.7%	24
所得階層	低所得層 I	420	2 100.0%	60 0.5%	9 14.3%	6 2.1%	57 1.4%	170 13.6%	111 40.5%	111 26.4%	5 1.2%
	低所得層 II	430	1 100.0%	55 0.2%	3 12.8%	3 0.7%	54 0.7%	185 12.6%	127 43.0%	127 29.5%	2 0.5%
	中間所得層 I	461	0 100.0%	44 0.0%	8 9.5%	9 1.7%	57 2.0%	196 12.4%	145 42.5%	145 31.5%	2 0.4%
	中間所得層 II	841	4 100.0%	63 0.5%	13 7.5%	9 1.5%	81 1.1%	471 9.6%	197 56.0%	197 23.4%	3 0.4%
	上位所得層	790	0 100.0%	30 0.0%	12 3.8%	8 1.5%	43 1.0%	532 5.4%	162 67.3%	162 20.5%	3 0.4%
	不明	571	3 100.0%	56 0.5%	8 9.8%	10 1.4%	75 1.8%	270 13.1%	140 47.3%	140 24.5%	9 1.6%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答



※小5, 中2, 高2の子どもが回答

進学について、全体で「大学またはそれ以上」を約半数 (51.9%) の子どもが選択した。「高校まで」と回答する割合は、全体で 8.8% であり、学年が上がるごとにその割合は低くなっている（小5では 11.3%、高2では 5.2%）（表 94）。

ひとり親世帯はふたり親世帯よりも 10%以上「大学以上」を希望する割合が少ない（ひとり親世帯では 42.5%、ふたり親世帯では 54.8%）（表 95）。

所得階層ごとにみると、上位 2 層（上位所得層、中間所得層Ⅱ）は低所得層Ⅰ～中間所得層Ⅰに比べて「大学以上」の希望が多い（上位所得層では 67.3%、中間所得層Ⅱでは 56.0%）。一方、低所得層Ⅰ～中間所得層Ⅰの各カテゴリにおいても約 4 割の子どもが「大学以上」を希望している（表 96）。

「高校まで」、「専門学校」は上記と逆のパターンを示しており、ひとり親世帯はふたり親世帯よりも「高校まで」、「専門学校」を希望する割合が多く（合わせるとひとり親世帯では 29.0%、ふたり親世帯では 16.8%）、所得階層が高い世帯よりも所得階層が低い世帯ほど「高校まで」、「専門学校」を希望する割合が多い（合わせると低所得層Ⅰでは 27.9%、上位所得層では 9.2%）。

表 97 学年とどの段階まで進学したいかという間に「高校まで」と答えた理由のクロス

合計		どの段階まで進学したいかという間に「高校まで」と答えた理由（※複数回答）														
		希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	よい仕事につけないから	親もその進路を選択している	勉強する意味がわからないから	学びたいことがあるから	その他	とくに理由はない	不明	
全	体	308	116	68	31	16	17	32	34	36	14	21	40	27	68	9
		—%	37.7%	22.1%	10.1%	5.2%	5.5%	10.4%	11.0%	11.7%	4.5%	6.8%	13.0%	8.8%	22.1%	2.9%
学年	小学5年生	142	49	29	7	9	3	10	15	21	7	8	30	18	30	4
	中学2年生	108	41	31	20	5	14	14	12	14	6	9	10	7	26	1
	高校2年生	58	26	8	4	2	0	8	7	1	1	4	0	2	12	4

※小 5, 中 2, 高 2 の子どもが回答（表 94～96 の間に「高校まで」と答えた人のみで集計）

どの段階まで進学したいかという間に「高校まで」と答えた子どものうちで（308 名）、一番大きな理由は「希望する学校や職業があるから」（37.7%）であった。「自分の成績から考えて」が 2 割ほどであった。また、「親がそう言っているから」、「家にお金が無いと思うから」、「早く働く必要があるから」など、家庭の経済状況を反映する理由付けも各 1 割程度見られた。

表 98 学年と授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）のクロス

		合計	授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）（小学2年生は保護者が回答）							
			まつたくしない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	わからない	不明
全体		4762	377	1104	1465	1078	489	180	3	66
		100.0%	7.9%	23.2%	30.8%	22.6%	10.3%	3.8%	0.1%	1.4%
学年	小学2年生	1249	16	497	564	140	15	5	3	9
		100.0%	1.3%	39.8%	45.2%	11.2%	1.2%	0.4%	0.2%	0.7%
	小学5年生	1262	46	260	438	325	100	64	0	29
		100.0%	3.6%	20.6%	34.7%	25.8%	7.9%	5.1%	0.0%	2.3%
中学2年生	中学2年生	1132	90	152	236	362	231	48	0	13
		100.0%	8.0%	13.4%	20.8%	32.0%	20.4%	4.2%	0.0%	1.1%
	高校2年生	1119	225	195	227	251	143	63	0	15
		100.0%	20.1%	17.4%	20.3%	22.4%	12.8%	5.6%	0.0%	1.3%

※小2の保護者と小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 99 世帯類型と授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）のクロス

		合計	授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）（小学2年生は保護者が回答）							
			まつたくしない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	わからない	不明
全体		4762	377	1104	1465	1078	489	180	3	66
		100.0%	7.9%	23.2%	30.8%	22.6%	10.3%	3.8%	0.1%	1.4%
世帯類型	ひとり親世帯	615	77	168	153	127	64	17	0	9
		100.0%	12.5%	27.3%	24.9%	20.7%	10.4%	2.8%	0.0%	1.5%
	ふたり親世帯	3857	259	879	1241	886	386	151	3	52
		100.0%	6.7%	22.8%	32.2%	23.0%	10.0%	3.9%	0.1%	1.3%
その他世帯	その他世帯	28	5	7	8	4	4	0	0	0
		100.0%	17.9%	25.0%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	不明	262	36	50	63	61	35	12	0	5
		100.0%	13.7%	19.1%	24.0%	23.3%	13.4%	4.6%	0.0%	1.9%

※小2の保護者と小5, 中2, 高2の子どもが回答

表 100 所得階層と授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）のクロス

		合計	授業以外の一日あたりの勉強時間（学校がある日）（小学2年生は保護者が回答）							
			まったくしない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	わからない	不明
全体		4762	377	1104	1465	1078	489	180	3	66
		100.0%	7.9%	23.2%	30.8%	22.6%	10.3%	3.8%	0.1%	1.4%
所得階層	低所得層Ⅰ	560	73	151	158	112	46	13	0	7
		100.0%	13.0%	27.0%	28.2%	20.0%	8.2%	2.3%	0.0%	1.3%
	低所得層Ⅱ	603	59	167	203	114	38	16	0	6
		100.0%	9.8%	27.7%	33.7%	18.9%	6.3%	2.7%	0.0%	1.0%
	中間所得層Ⅰ	654	42	160	240	121	60	20	0	11
		100.0%	6.4%	24.5%	36.7%	18.5%	9.2%	3.1%	0.0%	1.7%
	中間所得層Ⅱ	1139	76	258	357	282	104	49	0	13
		100.0%	6.7%	22.7%	31.3%	24.8%	9.1%	4.3%	0.0%	1.1%
上位所得層		1104	56	192	332	293	159	57	1	14
		100.0%	5.1%	17.4%	30.1%	26.5%	14.4%	5.2%	0.1%	1.3%
不明		702	71	176	175	156	82	25	2	15
		100.0%	10.1%	25.1%	24.9%	22.2%	11.7%	3.6%	0.3%	2.1%

※小2の保護者と小5, 中2, 高2の子どもが回答

勉強時間について、学校段階が上がるにつれて「全くしない」と答える割合が高くなる（小2では1.3%、高2では20.1%）。それぞれの学校段階で最頻値は、小学生（小2・小5）が「30分～1時間未満」、中学生（中2）、高校生（高2）が「1～2時間」であった（表98）。

ひとり親世帯はふたり親世帯よりも勉強時間が短い傾向にある。例えば、ふたり親世帯と比較すると5～6%ほど「まったくしない」、「30分未満」の割合が高い（合わせるとひとり親世帯では39.8%、ふたり親世帯では29.5%）（表99）。

所得階層が低いほど「全くしない」「30分未満」のカテゴリの割合がやや高くなっている。一方、1時間以上の各カテゴリではこの傾向が逆転し、所得階層が高いほど該当する者の割合がやや高くなっている。中程度の勉強時間（30分～1時間）や長い勉強時間（3時間以上）では、それほど明確な差はみられない（表100）。

表 101 学年と成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うかのクロス

		合計	成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うか					
			よいほう	どちらかといふとよいほう	まんなかあたり	どちらかといふとよくないほう	よくないほう	不明
全体		3513	492	716	1127	575	552	51
		100.0%	14.0%	20.4%	32.1%	16.4%	15.7%	1.5%
学年	小学 5 年生	1262	228	264	463	174	105	28
		100.0%	18.1%	20.9%	36.7%	13.8%	8.3%	2.2%
	中学 2 年生	1132	121	206	328	206	258	13
	100.0%	10.7%	18.2%	29.0%	18.2%	22.8%	1.1%	
高校 2 年生		1119	143	246	336	195	189	10
		100.0%	12.8%	22.0%	30.0%	17.4%	16.9%	0.9%

※小 5, 中 2, 高 2 の子どもが回答

表 102 世帯類型と成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うかのクロス

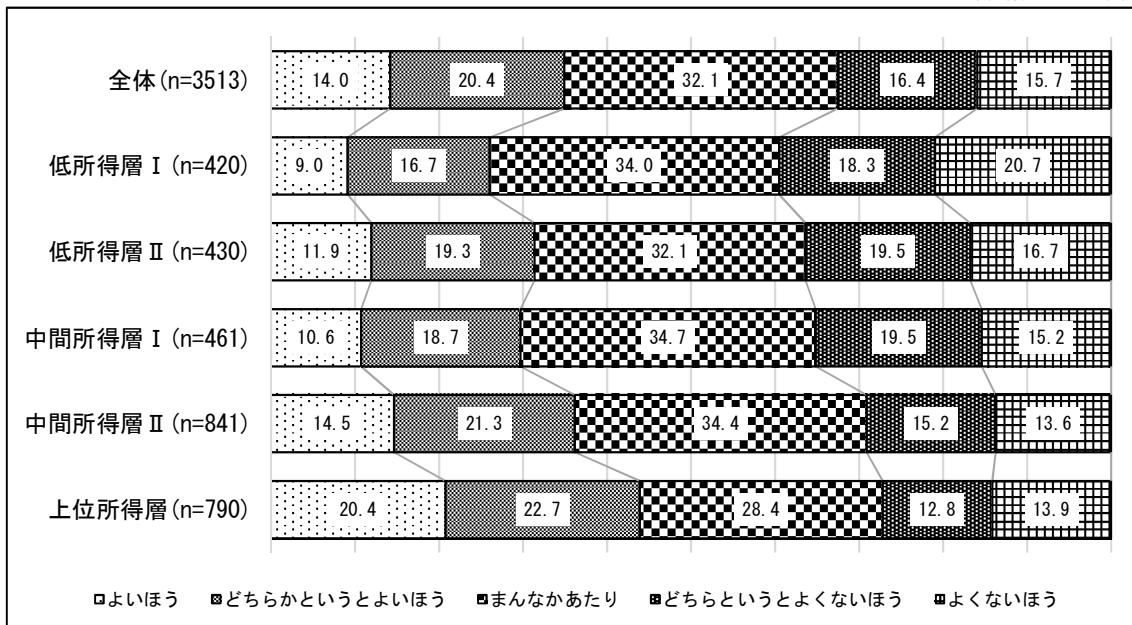
		合計	成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うか					
			よいほう	どちらかといふとよいほう	まんなかあたり	どちらかといふとよくないほう	よくないほう	不明
全体		3513	492	716	1127	575	552	51
		100.0%	14.0%	20.4%	32.1%	16.4%	15.7%	1.5%
世帯類型	ひとり親世帯	496	45	92	145	96	110	8
		100.0%	9.1%	18.5%	29.2%	19.4%	22.2%	1.6%
	ふたり親世帯	2737	418	567	892	430	393	37
		100.0%	15.3%	20.7%	32.6%	15.7%	14.4%	1.4%
その他世帯		24	1	6	9	4	4	0
		100.0%	4.2%	25.0%	37.5%	16.7%	16.7%	0.0%
不明		256	28	51	81	45	45	6
		100.0%	10.9%	19.9%	31.6%	17.6%	17.6%	2.3%

※小 5, 中 2, 高 2 の子どもが回答

表103 所得階層と成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うかのクロス

		合計	成績がクラス、学年の中でどのくらいだと思うか					
			よいほう	どちらかといふとよいほう	まんなかあたり	どちらかといふとよくないほう	よくないほう	不明
全体		3513	492	716	1127	575	552	51
		100.0%	14.0%	20.4%	32.1%	16.4%	15.7%	1.5%
所得階層	低所得層 I	420	38	70	143	77	87	5
	100.0%	9.0%	16.7%	34.0%	18.3%	20.7%	1.2%	
	低所得層 II	430	51	83	138	84	72	2
	100.0%	11.9%	19.3%	32.1%	19.5%	16.7%	0.5%	
	中間所得層 I	461	49	86	160	90	70	6
	100.0%	10.6%	18.7%	34.7%	19.5%	15.2%	1.3%	
	中間所得層 II	841	122	179	289	128	114	9
	100.0%	14.5%	21.3%	34.4%	15.2%	13.6%	1.1%	
	上位所得層	790	161	179	224	101	110	15
	100.0%	20.4%	22.7%	28.4%	12.8%	13.9%	1.9%	
	不明	571	71	119	173	95	99	14
	100.0%	12.4%	20.8%	30.3%	16.6%	17.3%	2.5%	

※小5、中2、高2の子どもが回答



成績の自己認知についての設問であるが、小5で「よいほう」と答える割合が中2、高2に比べて高い傾向が見られた(小5では18.1%、中2では10.7%、高2では12.8%)。「よくないほう」については、中2が最も高い割合を示した(小2では8.3%、中2で

は 22.8%、高 2 では 16.9%）（表 101）。

ふたり親世帯のほうが、ひとり親世帯に比べて「よいほう」に回答する割合が高く（ひとり親世帯では 9.1%、ふたり親世帯では 15.3%）、「よくないほう」ではひとり親世帯の方が高い傾向にある（ひとり親世帯では 22.2%、ふたり親世帯では 14.4%）（表 102）。

所得階層別では、「よいほう」、「どちらかというとよいほう」と答える割合が所得上位層ほど多い（合わせると低所得層 I では 25.7%、上位所得層では 43.0%）（表 103）。

#### 4 健康（精神衛生）について

表 104 学年と抑うつ尺度のクロス

		合計	抑うつ尺度		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		3513 100.0%	2427 69.1%	1052 29.9%	34 1.0%
学年	小学 5 年生	1262 100.0%	1042 82.6%	208 16.5%	12 1.0%
	中学 2 年生	1132 100.0%	750 66.3%	376 33.2%	6 0.5%
	高校 2 年生	1119 100.0%	635 56.7%	468 41.8%	16 1.4%

表 105 世帯類型と抑うつ尺度のクロス

※小 5, 中 2, 高 2 の子どもが回答した選択肢から分類

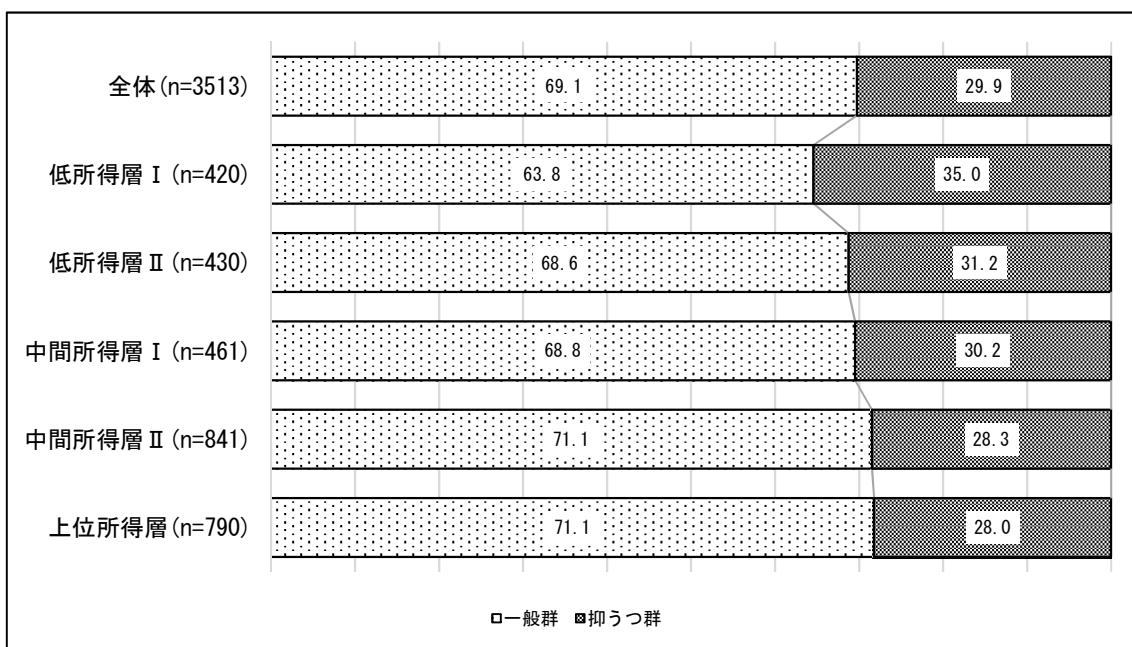
		合計	抑うつ尺度		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		3513 100.0%	2427 69.1%	1052 29.9%	34 1.0%
世帯類型	ひとり親世帯	496 100.0%	338 68.1%	154 31.0%	4 0.8%
	ふたり親世帯	2737 100.0%	1904 69.6%	808 29.5%	25 0.9%
	その他世帯	24 100.0%	16 66.7%	8 33.3%	0 0.0%
	不明	256 100.0%	169 66.0%	82 32.0%	5 2.0%

表 106 所得階層と抑うつ尺度のクロス

※小 5, 中 2, 高 2 の子どもが回答した選択肢から分類

		合計	抑うつ尺度		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		3513 100.0%	2427 69.1%	1052 29.9%	34 1.0%
所得階層	低所得層 I	420 100.0%	268 63.8%	147 35.0%	5 1.2%
	低所得層 II	430 100.0%	295 68.6%	134 31.2%	1 0.2%
	中間所得層 I	461 100.0%	317 68.8%	139 30.2%	5 1.1%
	中間所得層 II	841 100.0%	598 71.1%	238 28.3%	5 0.6%
	上位所得層	790 100.0%	562 71.1%	221 28.0%	7 0.9%
	不明	571 100.0%	387 67.8%	173 30.3%	11 1.9%

※小 5, 中 2, 高 2 の子どもが回答した選択肢から分類



※小5, 中2, 高2の子どもが回答した選択肢から分類

うつとは、気分がふさぎ込む憂うつな状態を表している。今回の調査では、子どもに對し、過去1週間どんな気持であったかを聞く設問に対する回答を点数化している。

今回、子どもを対象に使用した抑うつを測定する尺度は、7点にカットオフ値が設定されており、7点以上を取っていると、心理的な問題が生じる可能性が高くなることを意味している。今回の調査では、この尺度の得点が7点より低かった群を「一般群」、7点以上の群を「抑うつ群」と定義し分析を行った。

まず学年による違いについては、学年が上がるにつれて、抑うつ群の割合が高くなり、一般群の割合が低くなる（抑うつ群が小5では16.5%、高2では41.8%）（表104）。

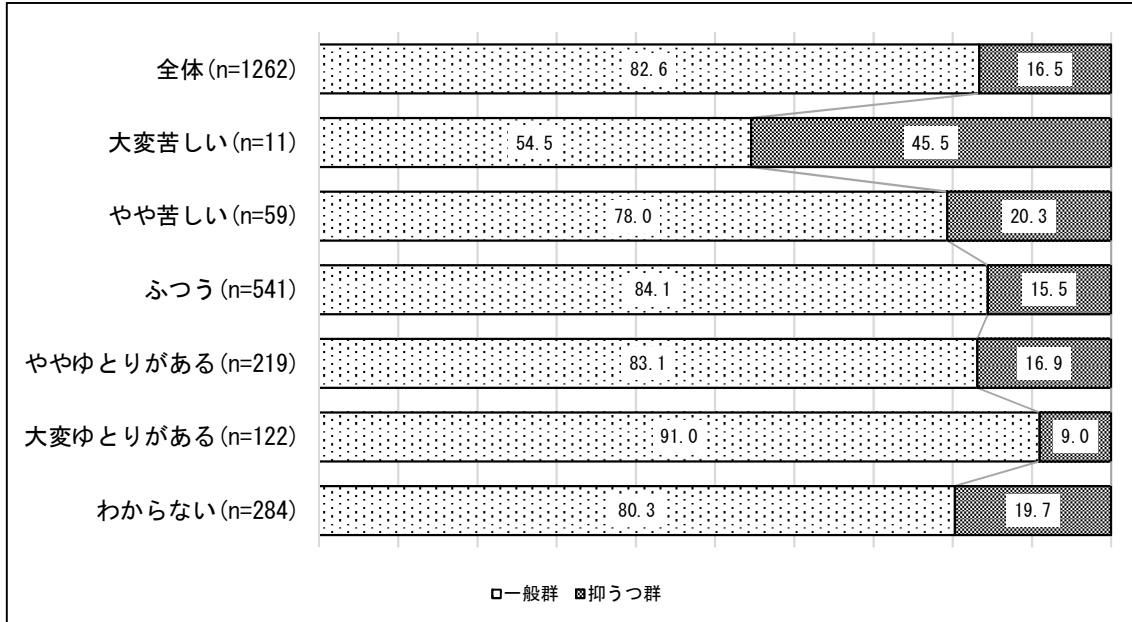
世帯類型別にみると、ひとり親世帯とふたり親世帯で、ほとんど差はみられない（表105）。つまり、世帯類型は、子どもの精神衛生にほとんど影響を与えていないと考えられる。

所得階層別にみると、所得階層が低い層において抑うつ群の割合が若干ではあるが、高くなり、一般群の割合が低くなる傾向がみられる（抑うつ群が低所得層Iでは35.0%、上位所得層では28.0%）（表106）。

表 107 自分の家の暮らし向きと抑うつ尺度のクロス

		合計	分類		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		1262 100.0%	1042 82.6%	208 16.5%	12 1.0%
自分の家の暮らし 向き	大変苦しい	11 100.0%	6 54.5%	5 45.5%	0 0.0%
	やや苦しい	59 100.0%	46 78.0%	12 20.3%	1 1.7%
	ふつう	541 100.0%	455 84.1%	84 15.5%	2 0.4%
	ややゆとりがある	219 100.0%	182 83.1%	37 16.9%	0 0.0%
	大変ゆとりがある	122 100.0%	111 91.0%	11 9.0%	0 0.0%
	わからない	284 100.0%	228 80.3%	56 19.7%	0 0.0%
	不明	26 100.0%	14 53.8%	3 11.5%	9 34.6%

※小5, 中2, 高2の子どもが回答した選択肢から分類

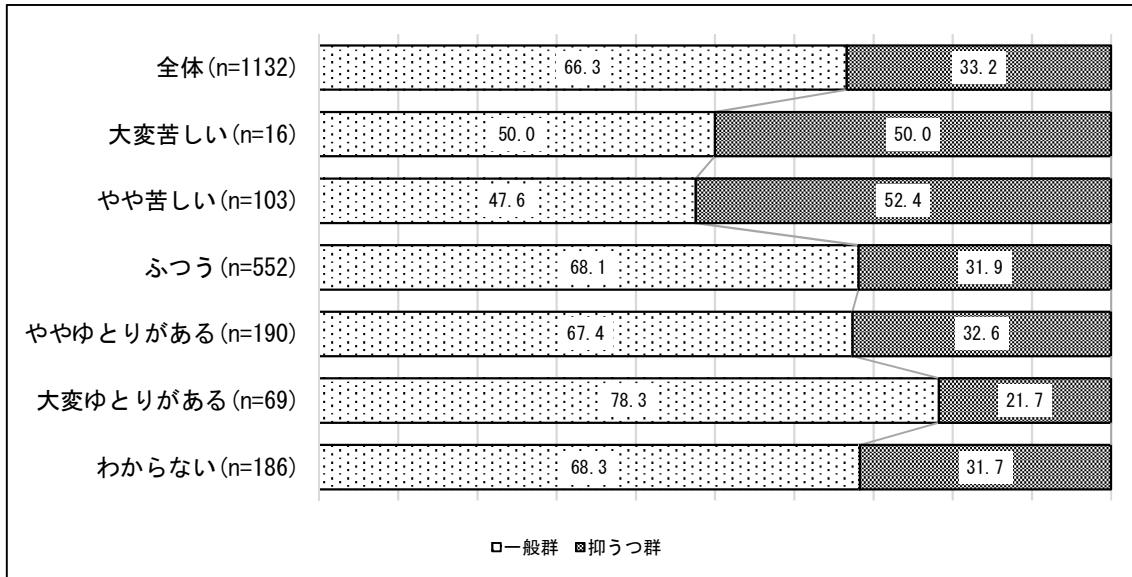


※小5, 中2, 高2の子どもが回答した選択肢から分類

表 108 自分の家の暮らし向きと抑うつ尺度のクロス

		合計	分類		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		1132 100.0%	750 66.3%	376 33.2%	6 0.5%
自分の家の暮らし 向き	大変苦しい	16 100.0%	8 50.0%	8 50.0%	0 0.0%
	やや苦しい	103 100.0%	49 47.6%	54 52.4%	0 0.0%
	ふつう	552 100.0%	376 68.1%	176 31.9%	0 0.0%
	ややゆとりがある	190 100.0%	128 67.4%	62 32.6%	0 0.0%
	大変ゆとりがある	69 100.0%	54 78.3%	15 21.7%	0 0.0%
	わからない	186 100.0%	127 68.3%	59 31.7%	0 0.0%
	不明	16 100.0%	8 50.0%	2 12.5%	6 37.5%

※小5.中2.高2の子どもが回答した選択肢から分類

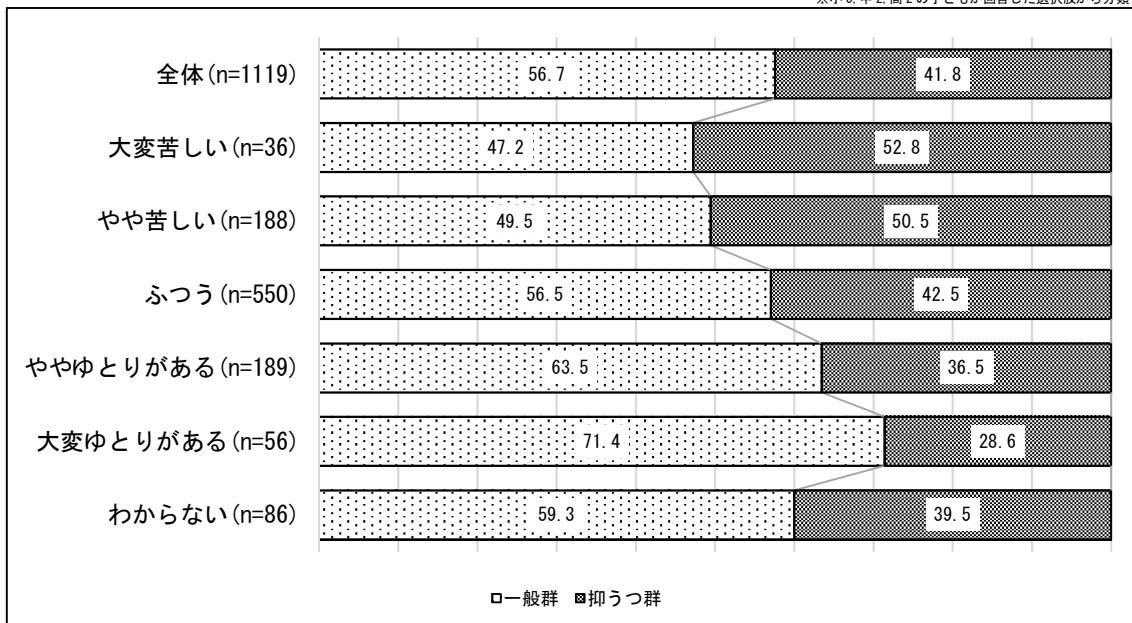


※小5.中2.高2の子どもが回答した選択肢から分類

表 109 自分の家の暮らし向きと抑うつ尺度のクロス

		合計	分類		
			一般群	抑うつ群	不明
全体		1119 100.0%	635 56.7%	468 41.8%	16 1.4%
自分の家の暮らし 向き	大変苦しい	36 100.0%	17 47.2%	19 52.8%	0 0.0%
	やや苦しい	188 100.0%	93 49.5%	95 50.5%	0 0.0%
	ふつう	550 100.0%	311 56.5%	234 42.5%	5 0.9%
	ややゆとりがある	189 100.0%	120 63.5%	69 36.5%	0 0.0%
	大変ゆとりがある	56 100.0%	40 71.4%	16 28.6%	0 0.0%
	わからない	86 100.0%	51 59.3%	34 39.5%	1 1.2%
	不明	14 100.0%	3 21.4%	1 7.1%	10 71.4%

※小5.中2.高2の子どもが回答した選択肢から分類



※小5.中2.高2の子どもが回答した選択肢から分類

表 107～109 は、学年別に自分の家の暮らし向きの認知と抑うつとの関係を見たものである。自分の家の暮らし向きを苦しいと感じている者の方が、抑うつ群に該当する者の割合が高くなる傾向が見られるが、特に中学生・高校生においてその傾向が顕著である。